

第 66 回通常総会 議案書附属資料

1. 理事会・監事会の 2022 年度開催報告	P. 02
2. 理事会委員会活動報告	P. 11
(1) 全国組織委員会	P. 12
(2) プロジェクト・政策委員会	P. 34
(3) コト政策研究会	P. 39
(4) 大学生協奨学制度推進委員会	P. 39
3. ブロック活動報告	P. 41
(1) 各ブロック報告	P. 42
(2) 各ブロック運営委員会・常任運営委員会の 2022 年度開催報告	P. 57
4. 大学生協設立運動支援状況報告	P. 71
5. 2023 年度 会費一覧	P. 74
6. 2023 年度 大学生協連への出資金増資要請、および減資	P. 83



2022 年 12 月 17 日 於／大学生協杉並会館
全国大学生生活協同組合連合会

1. 理事会・監事会の2022年度開催報告

<2022 年度 理事会開催報告>

■第1回理事会

1. 日時 2021年12月18日(土) 13:00~13:07
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム(オンライン)
3. 出席者(出席理事) 理事総数41名中、34名出席
(途中出席・途中退席) なし
(欠席理事) 7名
(出席監事) 6名
(欠席監事) なし
4. 議長 中森一朗 理事
5. 議事
【議決事項】 第1号議案 代表理事選定の件
第2号議案 会長理事、専務理事選任の件
第3号議案 業務執行理事及び執行役員選定の件
第4号議案 2022年度理事会委員会の設置及び委員長等選任の件
第5号議案 常任理事会の構成決定の件
第6号議案 顧問選任の件
第7号議案 役員報酬決定の件
第8号議案 理事以外の学生常勤及び教職員委員会副委員長の手当の額決定の件
第9号議案 専務理事に事故あるときの職務代行順序決定の件
第10号議案 臨時総会開催決定の件
第11号議案 生活協同組合連合会大学生協事業連合及び生活協同組合連合会
大学生生活協同組合中国・四国事業連合への出資金額決定の件
【報告事項】 第1号議案 理事会議事録の迅速な作成のための「代理押印承諾方式」について
第2号議案 2022年度の諸会議日程について

■第2回理事会

1. 日時 2022年2月19日(土) 12:30~17:06
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム(オンライン)
3. 出席者(出席理事) 理事総数41名中、39名出席
(途中出席・途中退席) 3名
(欠席理事) 2名
(出席監事) 6名
(欠席監事) なし
4. 議長 土屋広登 理事
5. 議事
【議決事項】
第1号議案 全国加入WEBシステムの譲受決定の件
第2号議案 大学生協共済連が保有する株式会社大学生協保険サービスの株式300株の譲受の件
第3号議案 会員生協役職員教育研修積立金によるセミナー費用等参加費用補助支給基準設定の件
第4号議案 理事会委員会「これからの学生生活をともに考え、見守る研究会」設置の件
第5号議案 ブロック特別会費決定の件
第6号議案 日本コープ共済生活協同組合連合会への出資金額決定の件
第7号議案 幹部人事決定の件
第8号議案 「大学生協事業再生の視点と構え」について

【協議事項】

- 第1号議案 コロナ禍における大学生協の対応状況について
- 第2号議案 大学生協「再生」基本方針の具体化執行状況について
- 第3号議案 全国大学生協フェスティバルのまとめと振り返りと今後に向けて
- 第4号議案 2022年度新学期活動の推進と2023年度に向けて
- 第5号議案 『2022年度組合員の運営参加で目指すこと』3-5月期のポイント

【報告事項】

- 第1号議案 旭川大学生協、山口県立大学生協の大学生協連加入に関する報告
- 第2号議案 第65回通常総会開催報告
- 第3号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第4号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第5号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第6号議案 教育ICT事業の協業化決定に伴う進捗状況について
- 第7号議案 コープイン京都の売却手続き完了について
- 第8号議案 全国事務局報告
- 第9号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第3回理事会

1. 日時 2022年5月14日（土）10:45～16:42
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム（オンライン）
3. 出席者（出席理事）理事総数41名中、36名出席
(途中出席・途中退席) 6名
(欠席理事) 5名
(出席監事) 6名
(欠席監事) なし
4. 議長 林優樹 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 第66回通常総会及び通常総会議案作成計画決定の件
- 第2号議案 これからの学生生活をともに考え、見守る研究会委員長選任の件
- 第3号議案 大学生協連会員経営支援金支給決定の件
- 第4号議案 子会社UCOM Inc.に対する経営支援実施の件
- 第5号議案 健康安全関連学会への賛助会員加入の件
- 第6号議案 大学生協共済連との各種契約等の取扱い方向等決定の件
- 第7号議案 2023年度新学期に向けた全国加入WEBシステムの改修決定の件
- 第8号議案 幹部人事決定の件
- 第9号議案 意思決定規則一部改正の件
- 第10号議案 マルチコーラブル預金の取扱い方針決定の件
- 第11号議案 京都中央信用金庫との取引の終了及び脱退決定の件

【協議事項】

- 第1号議案 コロナ禍における大学生協の対応状況について
- 第2号議案 大学生協「再生」基本方針（残余財産分配に関する基本方針含）の具体化について
- 第3号議案 SEQを活用した学生支援企画の実施について
- 第4号議案 2022年新学期活動総括案と2023年新学期活動に向けて
- 第5号議案 『2022年度組合員の運営参加で目指すこと』総会・総代会後の推進ポイント
- 第6号議案 第66回通常総会の開催と当日の運営について

【報告事項】

- 第1号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第2号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第3号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第4号議案 全国事務局報告
- 第5号議案 2022年度（第2回・第3回）全国商品事業委員会開催報告
- 第6号議案 第13回システム協議会開催報告
- 第7号議案 Z関連システムの運用終了に向けた検討状況について
- 第8号議案 2022年度旅行事業委員会開催計画について
- 第9号議案 With コロナのUS大学のフードサービス事業研究会開催報告
- 第10号議案 富士通（東京スター銀行）ATMサービスの終了について
- 第11号議案 教育ICT事業の協業化に伴う進捗状況について
- 第12号議案 全国加入WEBシステム譲受に向けた対応報告
- 第13号議案 全国洋書システムのP2K基盤移転対応方針について
- 第14号議案 株式会社大学生協保険サービスの株式の譲受に向けて
- 第15号議案 日本コープ共済生活協同組合連合会の新規加入及び、両事業連合とコープ共済連への加入報告について
- 第16号議案 八重洲監査法人からの指摘事項について
- 第17号議案 平和を考える今後の動き～ウクライナ危機に関連して～
- 第18号議案 業務委託契約職員の費用不正受給に関する報告ならびに今後の対策と監督職員の処分について
- 第19号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第4回理事会

1. 日時 2022年7月16日（土）11:00～16:10
2. 会場 大学生協杉並会館会議室およびzoomシステム（オンライン）
3. 出席者（出席理事）理事総数40名中、35名出席
（途中出席・途中退席）4名
（欠席理事）5名
（出席監事）5名
（欠席監事）1名
4. 議長 林優樹 理事、中野駿 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 全国大学生協連第66回通常総会推進体制決定の件
- 第2号議案 SEQを活用した学生支援企画実施の件
- 第3号議案 大学生協連会員経営支援金支給決定の件
- 第4号議案 全国洋書システムのP2K基盤終息に伴う対応方針決定の件
- 第5号議案 大学生協共済連が持つ共栄火災（株）の株式の譲受決定の件
- 第6号議案 幹部人事決定の件
- 第7号議案 執行役員任命の件

【協議事項】

- 第1号議案 コロナ禍における大学生協の対応状況について
- 第2号議案 大学生協「再生」基本方針（残余財産分配に関する基本方針含）の具体化について
- 第3号議案 Z関連システムの運用終了に向けた検討（P2K基盤終息に伴う対応）について
- 第4号議案 2022年度上半期振り返りと下半期に向けて

- 第5号議案 生協学生委員会の目指す姿（学生委員会マッピング）について
- 第6号議案 第66回通常総会の開催と当日の運営について
- 第7号議案 議案検討会議各地・ブロック大会・全国大学生協フェスティバルの開催について

【報告事項】

- 第1号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第2号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第3号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第4号議案 全国事務局報告
- 第5号議案 2022年度総会・総代会聞き取り調査 分析の進捗について
- 第6号議案 平和を考える今後の動き
- 第7号議案 2022年度5月全国商品事業委員会開催報告
- 第8号議案 教育ICT事業の協業化に伴う進捗状況について
- 第9号議案 2022年3-6月累計 会員決算
- 第10号議案 2022年度決算見込み及び2023年度以降の予算編成に向けて
- 第11号議案 八重洲監査法人からの指摘事項について
- 第12号議案 2023年度ブロック予算配分について
- 第13号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第1号議案 監事（会）報告

■第5回理事会

1. 日時 2022年9月24日（土）10：00～15：34
2. 会場 大学生協杉並会館会議室および zoom システム（オンライン）
3. 出席者（出席理事）理事総数40名中、36名出席
 （途中出席・途中退席）5名
 （欠席理事） 4名
 （出席監事） 6名
 （欠席監事） なし
4. 議長 濱口真帆 理事
5. 議事

【議決事項】

- 第1号議案 第66回大学生協連通常総会運営計画等決定の件
- 第2号議案 子会社等の2022年度決算見込みと2023年度事業計画承認の件
- 第3号議案 2022年度決算方針並びに2023年度予算案決定の件
- 第4号議案 日本コープ共済生活協同組合連合会の会費額決定の件
- 第5号議案 大学生協共済連解散に伴う諸課題の取扱い決定の件
- 第6号議案 大学生協連会員経営支援金支給決定の件
- 第7号議案 福岡教育大学生協同組合への融資決定の件
- 第8号議案 ブロック特別会費決定の件
- 第9号議案 教育ICT事業の協業に伴うプラットフォーム変更に関する費用負担の件
- 第10号議案 国際学生証取り扱い終了の件
- 第11号議案 図書サービスセンターの2023年度以降の運営の件
- 第12号議案 2023年度理事会委員会「新学期活動推進委員会」設置の件
- 第13号議案 一般財団法人全国大学生協連奨学財団との業務委託契約承認の件
- 第14号議案 生協インターネット事業の終了に向けての費用負担方法等に関する契約締結の件
- 第15号議案 電子書籍事業の推進にかかる費用負担の一部変更承認の件
- 第16号議案 諸規則改正の件

- 第 17 号議案 副会長理事の互選の件
- 第 18 号議案 役員報酬決定の件
- 第 19 号議案 幹部人事決定の件

【協議事項】

- 第 1 号議案 新型コロナウイルス感染対応について
- 第 2 号議案 大学生協「再生」基本方針（残余財産分配に関する基本方針含）の具体化について
- 第 3 号議案 第 66 回通常総会議案第 1 次案に関する討議
- 第 4 号議案 議案検討会議各地・ブロック大会・全国大学生協フェスティバルの開催について

【報告事項】

- 第 1 号議案 2023 年度新学期方針の具体化について
- 第 2 号議案 『2022 年度組合員の運営参加で目指すこと』方針ふりかえりおよび 2023 年度方針策定に向けて
- 第 3 号議案 大学と生協をめぐる情勢について
- 第 4 号議案 理事会・理事会委員会等報告
- 第 5 号議案 会員生協・ブロック活動報告
- 第 6 号議案 全国事務局報告
- 第 7 号議案 Z 関連システムの運用終了に向けた検討（P2K 基盤終息に伴う対応）について
- 第 8 号議案 その他

【監事（会）事項】

- 第 1 号議案 監事（会）報告

<2022 年度 監事会開催報告ならびに監査実施報告>

第1回監事会

日時 2021年12月18日(土) 13:16~13:21

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(内5名はWeb出席)

議題

協議事項1. 監事会議長互選の件

協議事項2. 特定監事互選の件

協議事項3. 監事報酬の件

第2回監事会

日時 2022年2月19日(土) 17:30~18:30

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(内5名はWeb出席)

議題

協議事項1. 2021年度期末監査意見の今後の取り扱いについて

協議事項2. 2022年度監事(会)監査活動方針と年間計画について

協議事項3. 「監事監査規則」一部改正について

協議事項4. 監事スタッフ人事について

報告事項1. 第65回通常総会監査結果報告

報告事項2. 内部監査室報告

第3回監事会

日時 2022年5月14日(土) 17:03~18:15

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(内5名はWeb出席)

議題

協議事項1. 2021年度期末監査意見への回答と今後の取り扱いについて

協議事項2. 2022年度期中監査実施計画について

報告事項1. 内部監査の状況について

第4回監事会

日時 2022年7月16日(土) 16:30~17:32

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(内5名はWeb出席)

議題

協議事項1. 2022年度期中監査(6月27日実施)について

協議事項2. 今後の監事(会)活動計画について

協議事項3. 2023年度監事定数と選任について

第5回監事会

日時 2022年9月24日(土) 16:00~16:46

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(内5名はWeb出席)

議題

- 協議事項1. 2022年度期末監査(11月21日)について
- 協議事項2. 意思決定書の閲覧による監査の実施について
- 確認事項1. 2023年度監査費用(監事会)予算について

第6回監事会(予定)

日時 2022年11月21日(月)

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

議題

- 確認事項1. 2022年度監査報告書について
- 協議事項1. 監事候補者を総会に付議することにつき同意いただけるかどうかの協議

第7回監事会(予定)

日時 2022年11月26日(土)

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

議題

- 協議事項1. 意思決定書の閲覧による監査結果の対応について
- 協議事項2. 2022年度期末監査の振り返りと期末監査意見書について
- 協議事項3. 大学生協連総会監査実施計画について

2022年度期中監査

日時 2022年6月27日(月) 11:00~17:00

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

出席 監事全6名(全員Web出席)

主な監査内容

1. 八重洲監査法人による監査報告に関する説明と意見交換
2. 2022年度上期決算概況報告ならびに財務・資金管理状況について
3. 大学生協「再生」基本方針の具体化について
4. UCOMへの経営支援後のリスク回避等について

代表理事と監事との会合

協議テーマ

ワークフローの電子化について

その他(5月14日理事会報告事項~費用不正受給に関する報告について)

2022年度期末監査（予定）

日時 2022年11月21日（月） 11：00～17：00

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

主な監査内容

1. 八重洲監査法人による報告と質疑応答
2. 2022年度事業報告書・決算関係書類等について
共済連残余財産分配金の処理方法について
3. 教育 ICT 事業の協業に伴うプラットフォーム変更に関する費用負担について
4. 共済事業がコープ共済連となったあとの大学生協連の共済事業への関わり方について
5. 意思決定書監査結果への回答について（未確認事項等があった場合）

代表理事と監事との会合

第66回通常総会監査（予定）

日時 2022年12月17日（土）

場所 大学生協杉並会館会議室 及び Web 会議システム「Zoom」

主な監査内容

1. 総会受付・資格審査
2. 総会運営全般

以上

2. 理事会委員会等活動報告

(1) 全国組織委員会

- 1) 全国学生委員会
- 2) 全国教職員委員会
- 3) 全国院生委員会
- 4) 全国留学生委員会

全国組織委員会

【全国学生委員会】

全国学生委員会 2022 年度活動方針総括

各ブロック・エリアの学生委員長と学生常勤で構成される全国学生委員会は、第 65 回通常総会で議決した活動テーマ及び活動方針に基づいて活動して参りました。今年度の成果と来年度に向けた検討事項をまとめ、2022 年度の活動のまとめとします。

0. 全国学生委員会の位置づけ

理事会規則第 13 条及び、全国組織委員会に関する規則第 2 条に基づき、学部学生で構成される全国組織委員会である。連合会の目的である、組合員の生活改善・向上および豊かな学園生活の実現のために、理事会で提起された事項を軸に、学部学生等の組織として活動する。

1. 全国学生委員会の役割

全国組織委員会に関する規則に基づき、以下の役割を担う。

第 3 条 各委員会は、総会及び理事会の決定にもとづき、次のことを行う。

- (1) 総会、理事会等が決する政策や、代表理事、業務執行理事、執行役員による会の業務執行に、
会員の各階層の組合員や役職員の生活・実態・要望等を反映させる
- (2) 会の政策や決定を、各会員の理事会や階層別の役職員等に伝達するとともに、各委員会及びブロックにおいて具体化する
- (3) 会員の実践や課題等を集約し、各会員に普及すべき事例を紹介する
- (4) その他、各委員会委員長が必要と認めた事項

2. 全国学生委員会の活動軸について

全国学生委員会は、当委員会の目的である「組合員の生活改善・向上及び豊かな学園生活の実現」を達成するために、今年度大切にしたいこととして以下の通り設定します。

(ア) 全国理事会で協議・決定された内容を、ブロック・会員生協を通じて実現できるように具体化する委員会

全国大学生協連理事会のもとに設置された階層別委員会として、大学生協グループ全体で議論されている内容を、学生組合員の視点で分析・提案し、組合員の声や生活実態を踏まえた活動を会員生協ができる全国政策を実現していきます。また、ブロックを中心とした会員生協への支援を通じて、会員生協学生委員会が積極的に、組合員活動に取り組めることを目指します。

(イ) 学生組合員の視点で、自らの生活を向上・改善できる仲間を増やしていくために実践をする委員会

学部学生で構成される全国組織委員会として、学生の目線で自らの生活を見つめなおし、同じ学生の仲間や上級生・教職員・生協職員など多様な階層の仲間とともに、生活の向上・改善できることを目指します。また、よりよい大学生活の実現を目指す中で、学部学生としての主体的な参加や学びと成長を大切に、委員会として具体的な行動を実践していきます。

(ウ) 全国のブロック学生事務局活動の機能向上を実現するために具体化する委員会

各ブロック・エリアの学生委員長と学生常勤で構成される委員会として、ブロックの在り方やブロック運営の視点でブロック学生事務局活動の機能向上やブロック学生委員会等の機関会議について協議します。全国学生委員会間の学びあい・励ましあいを通じてよりよいブロックづくりを目指します。

3. 全国学生委員会の活動方針の振り返り

2022 年度の全国学生委員会では、「全国学生委員会の活動軸」を具体化する形で 3 つの活動方針と、それぞれの方針で目指す具体的な事柄を掲げました。活動軸(ア)について「2022 年度全国の大学生協の活動方針」の視点で 3 つの具体的な事柄、(イ)について「大学生協「再生」基本方針」の具体化として 1 つの具体的な事柄、(ウ)について 3 つの具体的な事柄を設定しました。

全国学生委員会では、全国の大学生協で取り組む活動方針を学生組合員として実現していくために、全国・ブロックの連帯や事務局機能を最大限発揮し、各会員生協での実践をサポートしていくことを目指し活動して参りました。

新型コロナウイルスの影響はまだありますが、ブロック学生事務局は少しずつ会員生協への出張や対面でのセミナー開催等ができるようになりました。実際に会って感じた“温度感”や学生の様子を報告しあい、今の学生委員会に必要なことを旺盛に議論できた 1 年間となりました。2022 年度は全国方針に基づき 3 つのチーム(組合員が参画する場づくりチーム・学びと成長チーム・広報チーム)を設けました。チーム制度を取り入れることで、その時に必要なことにスピード感を持って取り組むことができました。

3-1. 2022 年度全国学生委員会の活動内容について

◇ 1 月、2 月、4 月、5 月、7 月、9 月、11 月の計 7 回全国学生委員会を実施しました。7 月は対面で実施しました。

各回の協議内容等はこちらの全国大学生協連 HP をご覧ください。

https://www.univcoop.or.jp/activity/action/holding_report_list.html

◇ 3 つのチームは、それぞれ年 3~4 回会議を行いました。会議に限らず適宜 teams で連絡を取り、必要なことを協議し、進めました。

3-2. 2022 年度全国学生委員会方針に基づいた振り返り

<p>「全国理事会で決めたことを階層別(学生)の視点から具体化します」</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 活動方針 1 : 全国の大学生協の活動方針の具体化を行います。➤ 活動方針 2 : 「新学期活動で目指すこと」を具体化します。➤ 活動方針 3 : 「組合員の運営参加で目指すこと」を具体化します。
<p>到達状況</p>
<p>○ <u>会員生協の総会・総代会開催状況の聞き取り調査を実施し、179 生協から集約シートを回収することができました。前年度より 50 生協多く回収することができました。</u></p> <ul style="list-style-type: none">✓ 全国学生委員会でも総(代)会集約シートの分析を行い、各ブロックの連帯企画の参考や、次年度のブロックの推進につなげられるよう、協議しました。 <p>○ <u>全国学生委員会が主管で運営している「全国学生事務局合宿」にて、2022 年度の活動方針のまとめと 2023 年度の活動方針について協議し、各ブロックの現状や担当会員生協の現状から目指すべき方向性を考えることができました。</u></p> <ul style="list-style-type: none">✓ これまでの活動を振り返るとともに、大学生協の経営問題や協同組合間協同、ブロック機能などを振り返ったうえで、検討することができました。 <p>○ <u>全国の大学生協で取り組むべきことについて、全国学生委員会の 3 つのチームで協議し推進しました。</u></p> <p>〈学びと成長チーム〉</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 全国の学生事務局に向けて、SEQ の学生支援事業がどのような内容か、今後学生事務局としてどのような行動が求められるかをまとめたニュースを発信しました。✓ 読書について交流できるバーチャル背景を作成し、全国学生委員会の会議で実践しました。全国学生委員会の実践をもとに、全国の学生委員会や他の全国組織委員会に広げました。

<p>〈組合員が参画する場づくりチーム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 22年度の総(代)会前後に、総代とのつながりをつくれるよう、総(代)会の事前事後の取り組みや実践事例をまとめて会員生協に発信しました。 ✓ ひとことカードの推進をするためにひとことカードの各地の現状や展望について協議しました。 ✓ 23年度、組合員の運営参加をより広げるために、「組合員の運営参加で目指すこと」の具体化協議をしました。23年度の理事会での提案の方法やその後のブロックでの推進について考えました。 <p>〈広報チーム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各大学生協が組合員に向けての広報を強められるよう、「この時期こんな発信してみませんか？」という情報発信のススメを会員生協に提案しました。 ✓ 全国大学生協連のスタッフオンリーページ内にある「A2サイト」がより見やすいサイトになるよう協議し、改修を進めました。(2022年末～2023年始にリニューアル予定です。) <p>○ <u>新学期方針の達成を目指すために、年間を通じて新学期の取り組み集約や推進に向けた協議し、推進しました。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 23年度新学期方針策定のために、「組合員をど真ん中に」とはどのようなことか、新学期の活動と事業で求められることは何か、23年度新学期に必要なことは何かなどを全国学生委員会で協議しました。 ✓ 新学期の早期化に合わせ、全国学生委員会でもオープンキャンパスや受験生に向けた新入生応援サイトの更新など、早期の取り組みに目を向け23年度新学期方針の推進状況を確認しました。 <p>○ <u>全国理事会で確認した「組合員の運営参加で目指すこと」を各ブロックで推進するために、各ブロックではいつどのような提案をするのか、どのような現状があるのかを全国学生委員会で協議しました。</u></p>
2023年度への送り事項
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全国方針の具体化、全国の大学生協で取り込まれることの推進をスピード感を持って行えるよう、次年度もチーム別の体制を検討しましょう。 ◇ 総(代)会集約シートは、ブロックごとの集約と全国大学生協連での集約が重複している可能性があります。会員生協にとっても、連帯組織にとっても有意義なものにするために改良していく必要があります。 ◇ 「組合員の運営参加で目指すこと」は、各ブロックで、各ブロックの現状に沿った具体化がされるよう、推進方法を整理しなおしました。全国理事会の協議と全国学生委員会の協議を経て、各ブロックで活発に全国の大学生協の活動方針①の取り組みが行われるよう進めていきましょう。

<p>「全国の学生委員会の活動に貢献し、組合員の生活・会員生協の発展につなげます」</p> <p>➤ 活動方針1：全国の学生委員会/組織部の組織の再建・活動の再生・創造に取り組みます。</p>
到達状況
<p>○ <u>組合員活動研修セミナー2022の実施</u> (2022年2月51日～61日/63会員211名の参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 学びの中で重視していた「一人の組合員」という視点・意識が全国で広がりました。 <p>○ <u>全国学生委員長セミナー2022の実施</u> (2022年8月27日・28日/67会員147名の参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 21年度全国学生委員長セミナーで作成した提起動画を活用し、正副学生委員長が大学生協学生委員会の正副学生委員長としての行動を考える機会をつくることができました。 ✓ オンラインセミナーとして開催し、“つながり”や“連帯”を実感できました。 ✓ 「議論まつり」という形で、参加している正副学生委員長が“語り合う”ことを大切にしていた時間を設けました。

- 「学生委員会の再建」に向けて、様々な取り組みを行いました。
 - ✓ 再建重点支援会員を該当生協の専務理事、学生委員長、担当学生事務局との話し合いをもとに設定し、全国学生委員会とブロック学生事務局で力を入れて支援しました。再建重点支援会員に設定した、36 生協のうち 28 生協で学生委員会の仲間が増えました。
 - ✓ 再建重点支援会員生協への支援について、全国の学生事務局で学びあえる場をつくりました。
 - ✓ 全国の学生委員会が仲間を増やせるよう、学生委員募集ポスターの FM を配布しました。
- 「学生委員会の再建・再生・創造・挑戦」に向けて、「学生委員会マッピング」を作成し全国の大学生協へ配布しました。
 - ✓ 取り組むことで、自大学生協学生委員会の強みや伸びしろを考えることができるツールです。
 - ✓ マッピングの項目や、取り組み方について全国学生委員会で議論し、作成しました。
 - ✓ 現在全国の多くの大学生協で取り組まれています。

2023 年度への申送り事項

- ◇ 学生委員会の再建・再生・創造・挑戦は 2023 年度も継続課題です。大学生協再生がさらに具体化されていく 2023 年度、学生委員会の存在はさらに重要になります。2022 年度の経験をもとに 2023 年度はどのように全国の学生委員会の再建・再生・創造・挑戦の実現を目指すか、引き続き検討していきましょう。
- ◇ 「学生委員会マッピング」実施生協が増えてきています。自大学生協学生委員会の強みや、自分たちの興味関心をもとに展望を考えられるツールです。今後も夏合宿、引継ぎなど様々な場面での活用されるよう、推進していきましょう。

「全国のブロック学生事務局活動の会員支援・分野推進をサポートします」

- 活動方針 1：全国学生事務局会議でブロック学生事務局同士が学び合い・励まし合う機会をつくります。
- 活動方針 2：分野別ミーティングを開始し、分野推進をサポートします。
- 活動方針 3：Teams を活用した学生事務局同士の交流を進めます。

到達状況

- 1 月・4 月・9 月に全国学生事務局合宿を開催しました。
 - ✓ 1 月、4 月はオンラインで開催、9 月は対面で開催しました。オンラインでも学生事務局として必要なことを学ぶ機会、学生事務局同士のつながりをつくる機会を設けることができました。
 - ✓ 対面で開催した 9 月の全国学生事務局合宿では、引継ぎに向けて学びあうだけでなく、大学生協や学生委員会、学生事務局活動について語り合う時間を設けました。これまでの学生事務局活動から学んだことを言葉にし、交流の中で考えを深めることができました。
- 新学期分野や組合員交流・組織運営分野、学びと成長分野では、各ブロックの分野担当の事務局が集う場として、「しんがっきーずミーティング」「くみくみーずミーティング」「まなせーずミーティング」を実施し、開催しました。
 - ✓ 各地からの取り組みの持ち寄りも行い、学生事務局同士が情報交換・連携することができました。
- 分野別の Teams グループを作成し、情報共有を図りました。
 - ✓ 分野によってはブロック事務局員から情報共有や情報交換が自発的に行われました。
 - ✓ 一方で、多くの分野では常勤学生委員からの一方的な発信で終わってしまい、チャットを活用した情報交換を促進することが求められます。
- 全国学生事務局ニュース(全事務ニュース)を発刊し、全国の学生事務局の頑張りを共有しました。

2023 年度への申送り事項

- ◇ オンラインツールを活用し、全国の学生事務局がブロック事務局としての役割を発揮できるように工夫することが必要です。
- ◇ オンラインミーティング・Teams・SharePoint などを活用し、全国の事務局同士が学び合い・励まし合いを行えるように工夫しましょう。
- ◇ 全国の学生事務局が一同に介し、全国で頑張る仲間がいることを実感できる機会が、学生事務局のモチベーションにもつながります。2023 年度も一同に介せる機会をつくっていきましょう！
- ◇ 常勤学生委員が中心となり、全国学生事務局ニュースの発行を強化し、全国の学生事務局の頑張りを見える化する取り組みを広げていきましょう。

【全国教職員委員会】

全国教職員委員会 2022 年度の活動のまとめ及び 2023 年度活動方針（委員長案）

全国教職員委員長 高本 雅哉

I 2022 年度の活動のまとめ

2022 年度メインテーマ：「コロナに負けない大学生協と学生支援」

(1) 教職員の生活や教育・研究を支援する活動

毎週 Web 高円寺（Web による教職員委員同士の交流会）を開催し、各大学での学事や生協店舗の状況、その他教職員を取り巻く諸問題について交流した。東京ブロックの教職員委員や他階層からも参加していただき、活発な交流を行った。昨年引き続き Web 開催の教職員委員会の午前中に学習交流会を行った。

(2) ブロック教職員委員会の活性化と組合員加入推進

各ブロックにおいて教職員や理事長を対象とした会議・交流会などをオンラインで開催した。オンライン開催の強みを生かし、他ブロックのセミナーへの参加も見られた。新歓パンフなどを用いた教職員の生協加入促進や教職員委員の発掘は限られた会員生協にとどまった。東北ブロックで、教職員委員会が立ち上がり、9月に教職員理事交流会を行った。

(3) 学生の生活や学びを支援する活動

大学生協において学生支援の活動を進める意義について、理解を広めるとともに、学生支援活動の実践例のさらなる掘り起こしを行い、共有することで、活動のさらなる広がりを目指した。多くの会員において、学生の学びや生活の実態の大きな変化が認識される一助ともなった。学生の講義以外での学びについても論議された。

大学生協奨学財団について、全国セミナーの場で報告を行い、参加者の所属する会員生協理事会などでの共有を呼び掛けた。

(4) プロジェクト活動の目指す方向とセミナーへの取り組み

2021 年度に引き続き「学びと成長、読書+α」「食と安全」「平和と民主主義」「協同組合」「環境と防災」の5つのプロジェクトで活動した。各プロジェクトが（「平和と民主主義」「協同組合」は合同で）、9月の全国セミナーで分科会を準備し滞りなく開催した。

フードサービス事業研究会参加に「食と安全」プロジェクトよりメンバーが参加した。

(5) 2022 全国教職員セミナーの成功に向けた取り組み

9月2日（金）～3日（土）に横浜国立大学で対面形式にて「2022 全国教職員セミナー」を

開催した。メインテーマを「コロナ禍を経験した大学と学生の今とこれから」とし、内容・分科会の持ち方について論議をすすめた。直前まで、対面開催か Web 開催かの判断を先送りしたうえで、対面開催に踏み切った。目標の参加者数には届かなかったが、140 名（事務局含む）の参加者を集めることができた。（概要については略）

●2022 全国教職員セミナーin 横浜 実行委員会

第 3 回 6 月 16 日（木）Web 開催

第 4 回 7 月 17 日（土）杉並会館

実行委員長：上野（横浜国大）

委員：高本、今山、只友、加賀美、北見、澤田

現地事務局：伊藤、平野、小野（東京ブロック）、疋田（横浜国大）

連合会事務局：藤江、守屋、杉原、森

(6) 広報委員会を通じた HP の整備と教職員活動の活性化

広報委員会を通じて HP に定期的に情報を掲載した。（コロナ禍における大学生協らしい学生支援の活動の実践例の中から、各ブロックにおいて教訓的な活動を選んで紹介した。）

●広報委員会 委員長：佐々木（代理：只友） 委員：高橋、只友、玉井、横畑

★2022 年度紹介記事★

東京：2021 年 教職員交流セミナー（オンライン）を実施しました。

中国・四国：第 15 回 ブロック教職員交流&研修会 開催報告 オンライン

(7) 委嘱委員の活動

社会的課題委員会に只友副委員長、朴委員を選出した。これからの学生生活をともに考え見守る研究会には松坂委員を派遣した。

会議開催・ブロック活動

1. 全国教職員委員会

第 1 回：2022 年 2 月 20 日（日）Web 開催

企画「18 歳成人について、新大学 1 年生が注意すべきこと」

第 2 回：2022 年 5 月 15 日（日）Web 開催

企画：「歴史の中のウクライナポーランドとロシアのはざままで」

第 3 回：2022 年 7 月 17 日（日）大学生協杉並会館 Web 併用開催

第 4 回：2022 年 9 月 2 日（金）横浜国立大学

第 5 回：2022 年 11 月 27 日（日）Web 開催

2. 広報委員会

3. 各ブロック（略）

II 2023 年度活動方針（案）

2023 年度メインテーマ：未定（☆☆☆☆○●○●☆☆☆☆○●○●☆☆☆☆○●○●）

例示

「コロナに負けない大学生協と学生支援」（2022 年度）

「ウイズ・コロナ時代の大学生協再生と学生支援」

2022 年度メインテーマは、「コロナに負けない大学生協と学生支援」でした。2023 年度テーマは、2022 年度全国総会にて、全国教職員委員会からの呼びかけ「第 65 回全国大学生生活協同組合連合会・通常総会に際し、大学生協の再生に向けて会員大学生協の理事長・教職員理事に呼びかけます（以下、第 65 回総会呼びかけ）」も一つの方針文書として扱い、その後の情

勢の変化等を踏まえて、審議決定します。

2020年から始まったコロナ禍で、大学生協は組織存続の危機に瀕しました。一時期の大学生協そのものの存続の危機は脱しつつあるものの、今なお経営の苦しい会員も多数あり、大学生協全体で経営の再建と組織活動の再建が求められています。2023年度もウイズ・コロナの状況は続くものと見込まれ、コロナで変わった教職員と学生のキャンパスライフの充実のために、私たち教職員にできることを考えていきましょう。教職員の組織活動が活発になることで、大学生協のガバナンスを高め、協同組合としての意義と本質を見失わない大学生協づくりをすすめていきましょう。

2022年2月24日に、ロシアがウクライナに侵攻を開始し、国際秩序は大きな転換期に入っています。ロシアのプーチン大統領は核兵器の使用もちらつかせるなど核戦争の危機も現実のものとなりかねない状況にあります。日米の金融政策の違いから日米の金利差が開き、高金利の米国に資金が流れることで、円安が進んでいます。ウクライナ侵攻による資源価格の高騰に加えて、円安の進行など様々な要因から、2022年は値上げラッシュの年となり、消費者物価の上昇が続き、消費者に大きな影響を与えています。物価上昇の傾向は当分続くと考えられ、不況とインフレーションの同時進行のスタグフレーションに突入する虞もあります。今、キャンパスを基盤とする協同組合である大学生協への期待は高まっています。

こうした情勢の中で、学生の学びと成長を支え、全ての組合員の暮らしを守り、平和の問題を考え、大学生協の経営再建と組織活動の再生の先頭に立つべく、全国教職員委員会の2023年度の年間活動テーマを「☆★☆☆○●○●☆☆☆☆○●○●☆☆☆☆○●○●」と定めます。

(1) 教職員の生活や教育・研究を支援する活動

～教職員の生活や教育・研究の支援をすすめ、大学生協の意義を教職員層に広めていきましょう～

私たち教職員もコロナ禍により、オンライン授業対応やコロナ流行下での学生指導など、教育・研究において大きな変化が求められています。ウイズ・コロナの時代の新たな変化に応じて、教職員同士の交流や講義方法の学び合いを積極的にすすめます。

(2) ブロック教職員委員会の活性化と組合員加入推進

～ブロック教職員委員会活動の活性化を支援してゆきます～

下記の3つの目標を達成するために、全国教職員委員会とブロック教職員委員会の連携を深め、ブロック教職員委員会活動の活性化を支援してゆきます。

① 新歓パンフレットなどを用いた教職員の生協加入促進

② 教職員ニーズの把握と交流活動

③ 教職員委員の発掘と次世代の担い手づくり

教職員の交流を目的とした活動を、各会員生協・ブロックなどで取り組み、大学生協の意義を広めます。とりわけ、ブロックにおいて、理事長・教職員を対象としたセミナー・交流会などを企画開催します。ブロックの教職員向け各種企画の広がりから、全国セミナーへの参加につなげます。

大学生協の再生・発展には教職員の積極的な参加が不可欠です。会員生協における総代・理事における教職員の比率を高めます。「第65回総会呼びかけ」の内容について、会員生協の理事長・教職員理事に継続的に呼びかけるとともに、再生の具体化の議論に加わります。

(3) 学生の生活や学びを支援する活動

～大学生協らしい学生支援の活動を推進してゆきましょう～

大学生協において、学生支援の活動をすすめる意義について、理解を広めるとともに、学生支援活動の実践例のさらなる掘り起こしを行い、共有することで、活動のさらなる広がりを目指します。特にコロナ禍で大きく変化した学生の学びや生活の実態を把握し、実態にあ

った支援を考えていきます。学生が大学の成果以外での学びも保障できるよう呼びかけます。

大学生協奨学財団についても周知をすすめ、教職員組合員などに対する個人賛助会員への呼びかけを財団と協力しながらすすめます。

(4) プロジェクト活動の目指す方向とセミナーへの取り組み

～教職員の専門性を発揮してプロジェクトの活動をすすめます～

(プロジェクトの設定)

2022年度に引き続き、「学びと成長、読書+α」「食と安全」「平和と民主主義」「協同組合」「環境と防災」の五つのプロジェクトの活動を推進します。2024全国セミナーの開催準備の議論の中で、効果的なプロジェクト運営のためにプロジェクトの再編を行うことがあります。

(プロジェクト活動)

プロジェクトでは、それぞれのプロジェクトの実情やメンバーの専門性に応じて、工夫を凝らした活動をすすめます。定例の委員会以外にもオンライン開催などでプロジェクト活動を活性化させます。全国委員以外のメンバーにもオブザーバー参加を呼びかけます。また、理事会設置の他の委員会などとも緊密な連携を進めます。プロジェクト活動を全国に発信するために、広報委員会が情報を取り纏めをおこない、連合会ホームページ、SNSを通じて発信します。

各プロジェクト単位で、全国委員会で取り上げるべきテーマ・課題などについても議論します。プロジェクトごとに、活動目標を定め、2024全国セミナー、理事会設置の他の委員会、各ブロック主催のセミナー等と連動した取り組みを進め、教職員委員会の活動を広め、活性化する方策を議論します。全国教職員委員会のプロジェクトが先頭に立ち、全国の関連する活動のネットワークの結節点となるよう努めます。

(5) 2024全国教職員セミナーの成功に向けた取り組み

～大学生協らしい学生支援の活動をすすめ、2024年全国教職員セミナーの成功に向けて準備を進めましょう～

2022年9月、「コロナ禍を経験した大学と学生の今とこれから」をテーマに「2022全国教職員セミナー」が横浜国立大学で開催されました。全国教職員委員会では、2年に一度全国教職員セミナーを開催してきました。この2年に一度開催する全国セミナーを大学生協の教職員活動活性化のハブとして位置づけ、大学生協運動の推進力にしましょう。2023年度は、2024全国セミナー開催に向けた準備の年として位置づけます。2024全国セミナーの開催に向けて、全国教職員委員会はブロック教職員委員会と連携しながら準備を開始します。全国教職員委員会としては、全国委員会の各プロジェクト単位、全国委員が所属するブロック教職員委員会単位の2つの局面から準備を進め、全国委員会とブロック委員会の連携を深めます。2023年度は、ブロック教職員委員会企画によるブロック教職員セミナーを開催することを呼びかけます。また、ブロック内で設立準備の動きがある場合は、ブロック教職員セミナーに設立準備校の関係教職員を招待して協同組合の設立が、大学の福利厚生に留まらない意義があることを実感してもらいましょう。2024全国教職員セミナーは、全国委員会のプロジェクト活動とブロック教職員委員会の活動の成果など全国の優れた取り組みを結集して、成功させましょう。

(6) 広報委員会を通じたHPの整備と教職員活動の活性化

広報委員会を通じて全国教職員委員会のホームページの充実を図ります。全国教職員委員会のプロジェクト活動、ブロック教職員委員会の活動、全国の優れた取り組みなどを紹介し、教職員活動の活性化を図ります。ブロック輪番の活動報告、プロジェクト輪番の活動報告を継続します。

2023 年度主要会議予定

1. 全国教職員委員会

- 第 1 回：2023 年 2 月 19 日（日）大学生協杉並会館
- 第 2 回：2023 年 5 月 日（日）大学生協杉並会館
- 第 3 回：2023 年 7 月 日（日）大学生協杉並会館
- 第 4 回：2023 年 9 月 日（日）大学生協杉並会館
- 第 5 回：2023 年 11 月 日（日）大学生協杉並会館

【全国院生委員会】

全国院生委員会 2022 年度活動総括・2023 年度活動方針

2022 年度全国院生委員長 矢間裕大

【1】 全国院生委員会の位置づけ

全国院生委員会では、全国理事会のもとに設置され意思決定や推進を行う「理事会委員会」としての性質と、大学院生を代表して取り組むべきことを検討する「階層別組織委員会」としての性質を鑑み、全国の大学生協の活動方針を大学院生の目線で具体化することに重きを置いて活動しています。2022 年度の全国院生委員会では、院生が日常生活で感じる課題や問題意識を全国レベルで解決し、全国の大学生協で取り組む方向性を院生の目線で検討していくことが全国院生委員会の活動スタイルであることを第 1 回委員会で確認しました。

●全国院生委員会の機能

1. 院生組合員のつながりを通じて、院生の生活向上を目指す。

院生生活実態調査によると、悩みやストレスが「ある」大学院生は 61.8%となり、研究活動や進路についておよそ「3 人に 2 人」の院生が悩みを抱えている状況にあります。そうした状況下で、大学院生の生活拠点は研究室やゼミなど限られた人間関係に留まることが多く、相談できる相手が少ないことや自身の生活をより良くするための方法に気付く機会が少ないといった課題が挙げられます。

また、研究活動で多忙な院生にとって、一人で生活をよくするために行動することは負担が大きく、他者との協同を通じて生活向上を目指すためにも、院生同士のつながりを生み出していくことが必要となります。

2. 階層を超えたつながりを生み出し、大学コミュニティと大学生協の活動の活性化を目指す。

大学院生は、大学生活を熟知した存在として上級生の視点から大学生協の活動を元気にする力を持っています。長年のキャンパスライフを通じて、大学生活をより良くしていくための視点を持つと同時に、学部生としての経験をもとにしたアドバイスを後輩に伝えることもできる存在です。また、大学院生は日常的に教員からの指導を受け、学部生以上に教員と近い距離で研究生活を行う存在でもあります。幅広い世代・階層とつながり、大学生協の活動を活性化させていくポテンシャルを秘めた存在であると考えます。

特に、2022 年度はコロナ禍からの復興が課題となる中で、コロナ前後のキャンパスライフを把握する院生の存在は重要となります。階層や立場を超えたつながりを生み出し、大学生協の活動を活性化させることで、より豊かなキャンパスライフを実現できるように取り組みます。

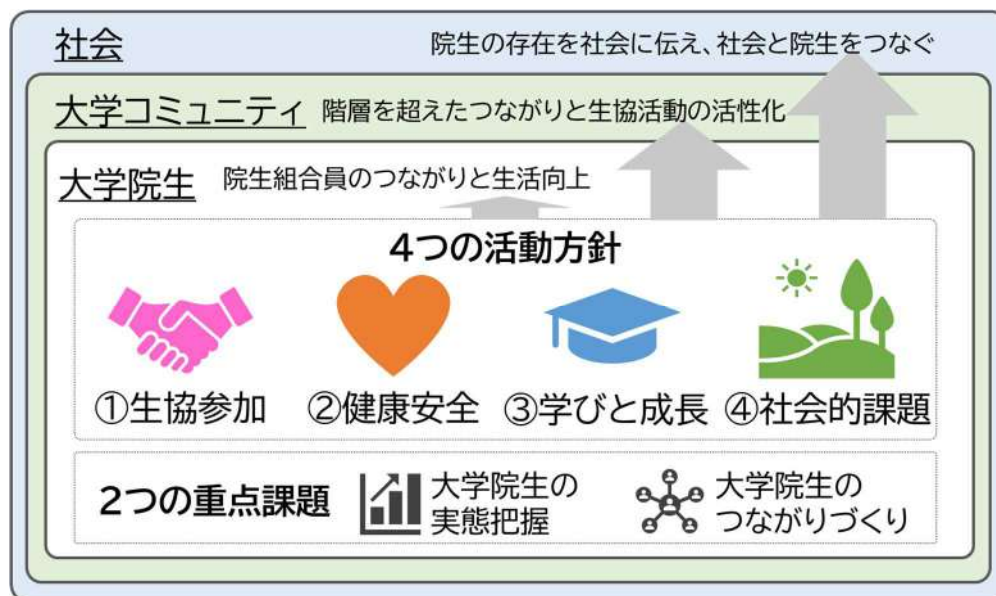
3. 院生の存在を社会に広げ、社会と院生をつなぐ。

日本における大学院進学率は11%(令和2年度・内閣府調べ)と少数派であり、他の先進国と比較しても大学院進学率が低いことが特徴です。「大学院」という言葉にイメージが湧く人も決して多いとは言えない中で、大学院や院生に対しての認知を広げていくことは重要です。

その中でも、大学進学を目指す受験生に向けて大学院の存在も認識した上で進路選択をしてもらうことや、その保護者に大学院の位置づけについて認識してもらうことは特に重要です。大学院に対する不安やネガティブな認識を払拭し、正確な情報を社会に届けることが、大学院の価値を高め、ひいては学術界に貢献することにもつながると考えます。さらには、大学院生の実態について社会に認知を広げることで、進路選択の幅が広がる可能性や、社会全体で大学院生を支える制度拡充も期待できると考えます。

【2】 2022年度の活動方針

2022年度の全国院生委員会では、「2022年度全国の大学生協の活動方針(全国総会第1議案)」に基づいた全国院生委員会の機能と活動方針を設定し、各グループに分かれて活動しました。



●全国院生委員会の活動方針

方針①組合員が参加する場づくり

大学院生が大学生協に参画する場面をつくり、大学院生にとって必要とされ、参画したくなる大学生協をつくります。

大学院生の暮らしを向上させるためには、大学生協の活動や運営への参加・参画を通じて、院生のリアルな実態と要望を伝えることがスタートになります。大学生協が院生にとって参加・参画したい場となるように、全国院生委員会では、大学院生の生活実態を踏まえ、院生の声で作るお店・生協づくりの取り組み提案を進めます。また、お店づくりや総代会の取り組みに関しては、学生委員会と連携した取り組みを進め、院生だけでは難しい規模での活動を実現することで、幅広い参加を目指します。

また、大学生協の組織・仕組みの中に大学院生が参加できる体制を目指します。特に、大学院生が一定数存在する会員生協においては、院生理事・総代を選出できるように提案・支援していきます。また、理事就任後にどのような役割発揮が期待されているかを検討し、院生理事が活動しやすい環境づくりを進めます。

方針②大学院生の暮らし・健康安全

大学院生の生活実態を把握し、つながりづくりやたすけあう活動を通じて健康で安全な大学院生活を実現します。

大学院生の生活実態・ライフステージに沿った活動提案を目指します。大学院生が抱える生活上のリスクは、実験やフィールドワークといった研究活動に際したリスクが増えるとともに、インターンシップや就職活動などの場面で他者に危害を加える可能性も増えてきます。一方で、学部生と共通する病気やケガのリスクも存在しており、幅広いリスクに備えるための呼びかけが重要となります。大学院生特有の生活環境とリスクについて、給付事例や院生生活実態調査の分析などを通じて明らかにし、予防活動を進めていきます。

また、学部生と比較し大学院生は入学時に保障制度についての説明を受ける機会が少なく、共済・保険への加入率も低いという課題もあります。そうした、情報が届きづらい院生に目を向けてもらえる情報の伝え方を検討していくことも重要です。さらに、卒業生・修了生に向けた「出口支援」の取り組みにおいても、健康安全に関する情報を伝えることは重要です。大学生協の学生総合共済の制度から派生した「CO・OP 学生総合共済 新社会人コース」の提案活動とリンクさせた情報提供を進めていきます。

方針③変化する上級生・大学院生の研究活動や進路選択の実態について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行います。

院生生活実態調査によると、大学院進学を大学3年生の時に決めた院生が37.6%と最も多いことが分かっており、専門的な学びが始まるにあたって大学院進学に対する興味を持ち始める人が多いです。一方で、大学院の生活について学部生が知る機会が限られており、情報が得られないまま他の進路を選択する人や不安を抱えて院進学を決断する人も多いため、学部生に向けて大学院への進学を支援・情報提供を行う取り組みは重要です。大学院に進学することでどのような研究ができるのか、実際にどのような日常生活を送っているのか、院進学に向けてどのような準備をしてきたのかといった院生に関する情報を収集し、分かりやすく学部生に届けることも重要となります。

また、大学院生が抱える不安の一つとして、「進路選択」が挙げられます。大学院修了後になりたい姿が見つからず悩んでいるケースや、やりたい姿を目指すための行動が分からないといったケースがあると考えられます。一方で、大学のキャリアセンター等や大学生協の学び支援事業等のメインターゲットは学部生であり、大学院生の進路選択やキャリア形成を支えるための情報提供については手薄です。大学院の進路選択は研究室・ゼミのコミュニティで支えるという従来のスタイルから、大学全体で支えるための仕組みを生協が中心となり作っていくことが重要となります。また、書籍事業や公費(校費)利用といった生協の事業を通じて、大学院生の研究活動を支える取り組みも重要となります。

方針④持続可能な社会の実現に向けて、大学院生の興味・関心を出発点に、知り、知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけづくりを行います。

大学院生の強みは、興味や関心を持った一つのテーマに対して、様々な形で探求を続け、考察することができる点であると考えます。また、大学院生は日頃から世の中に対してアンテナを張ることに長けている人が多いことも特徴といえます。このような探求心や考察力を発揮し、大学院生の強みを生かした社会的課題の取り組みを展開していくことが重要となります。昨今では、社会全体でSDGsの達成に向けて機運が高まる中で、大学院生の研究テーマや興味関心を持つテーマは、密接に関連しているものが多いといえます。日頃の研究や学修の成果を活かし、社会に目を向ける活動を進めていくことが重要です。

また、この間発行してきた「社会的課題通信」についても、合計発行数が60通を超えており執筆したものを多くの人に読んでもらうための工夫が必要となるフェーズにあります。Web ページ

の更新や見せ方の工夫、通信を活用したワークショップの展開等、新たな活用方法について検討することが重要です。

●全国院生委員会の重点課題

全国大学生協連に設置された理事会委員会としての役割を果たすために重点課題を設定します。

①大学院生の実態把握

大学院生の生活実態を定量的・定性的に把握する取り組みを展開し、大学生協内外に情報を発信します。

(例：第 12 回院生生活実態調査の調査設計・参加呼びかけ、座談会・インタビューなどの声を集める活動)

②大学院生のつながり・ネットワークづくり

大学生協で活躍する大学院生同士のつながりを構築し、全国レベルでの活動強化を目指します。

(例：第 26 回全国院生セミナーの内容具体化・実施、各ブロックでの交流会開催などの提案)

【3】 2022 年度の活動振り返り

●全国の院生活動の振り返り（総論）

22 年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生事務局とのつながりが増え、学部学生に向けた院生の紹介などの機会を設けることができた。（各ブロックにおいて連携していく動きが強まった。／東北・関西北陸・中四国 BK など） ● 連合会 HP の「読書マラソン Web 版」を定期的に発信できた。また、「院生到達記」や「院生の日」など、大学院生の暮らしについて理解が深まる資料を多く発信し、大学院生の考えや存在を広く伝えることに成功した。 ● 第 12 回院生生活実態調査の参加会員生協が 34 会員となり、過去最高・前回対で 9 会員生協増加することができた。参加呼びかけに際しては、全国の専務理事に向けて調査活動の重要性や院生の存在の認知を合わせて伝えることができた。 ● 「院生生活研究会」の開催を通じて、院生や学部上級生だけでなく、生協職員や教員にも参加を広げることができ、参加者が増加した。特に、事業連合を中心に生協職員の参加が拡大し、院生の暮らしについて職員とともに考えることができた。 ● Twitter を活用し、大学院生にとって役立つ健康情報や生活情報について定期的に配信することができた。リアルタイムの活動への参加が難しい委員にとっても、SNS などを通じて手軽に情報を得る機会を作ることができた。 ● ここ数年は院生組織が低迷していた地域から新たに全国委員を輩出することができ、地域の活動を盛り上げることに繋がっている。新たに出た委員が中心となり、ブロックの夏のセミナー等で院生について伝えることができた。（中四国ブロック） ● 院生活動の主軸を全国委員会だけではなく、各地域や各大学生協で取り組むことで、モデルケースを作り、院生活動のノウハウを全国に拡大させていくことができている事例が増えている。 ● 委員会の組織運営については、班とタスクの制度を導入することで、それぞれの委員が担当する活動内容が明確になり、取り組みを考えやすくなった。また、活動が見えるようになったことで、班の垣根が低くなり、新たな取り組みにつながった。
22 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合会 HP や Twitter などを通じて広報を行っているが、広く伝えることに成功できていない。すでに関心を持つ人に情報が届くだけで留まっており、幅広く院生に情報を届けることには課題が残る。 ● 多忙な院生が多く、院生委員会の活動に時間を割くことが難しいことが多い。結果的に、長期的・継続的な取り組みの実現が難しく、単発企画や情報発信の取り組み

	<p>で終わってしまうことが多いため、他の階層との連携を通じて、活動の継続性・発展性について考慮していくことが重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 院生がメインターゲットの活動は限られており、学部生の活動に院生が関わる・サポートするという位置づけが付加されている事例が増えている。今後、院生が主導する取り組みが増えるようにノウハウの蓄積と教訓の発信が求められる。 ● 地域によって院生活動の広がりには差が生じている。院生がたくさんいることが予想される地域で、院生委員の存在が見られない状況が生じている。各地域の院生組織との連携が上手くできていないことが課題と考えられるため、全国院生委員から各地域の活動状況を把握する取り組みを強化していくべきである。 ● 全国学生委員会や全国教職員委員会、全国留学生委員会の活動について互いに認識し合う機会が少なく、新たな取り組みを行う際の障壁となっている。 ● 会員生協レベルでは、大学院生の存在に目を向けることの重要性を認識していないケースが見られる。一方で、日中は多忙な院生が多く、生協職員の労働時間帯に、大学院生は研究をしているために、コミュニケーションを取れないという課題もある。
23年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学院生の生活実態を捉え、社会に発信する取り組みの強化は、2022年度を踏襲しさらなる強化を目指す。また、「院生生活研究会」の形式もさらに発展させ、院生同士が生活実態に基づいた議論を展開できるような場づくりを進める。 ● 全国の大学生協で院生理事・総代を増やし、大学生協の日常的な運営に大学院生の声が反映される環境を実現する。また、院生理事の役割や振る舞いについて考えるための支援を行い、全国で院生活動のネットワークを拡大させる。 ● 学生委員会との連携を強化することで、今ある大学生協の取り組みに院生目線をプラスアルファできるようにする。また、留学生委員会・教職員委員会との連携を強め、活動の可能性を広げていく。 ● 大学院生だけではなく、将来的に院生になる層である学部上級生に対しても早期のアプローチを行うことで、上級生・院生の活動の発展を目指す。 ● 広報活動や渉外活動（大学生協以外の院生団体や教職員組織などとの連携）の強化し、大学院生の存在認知を社会全体に広げていくための取り組みを行う。 ● 院生が主体となり活動できる環境を各会員生協で実現する。その一環として、院生委員会の設置支援活動や、院生理事が理事会外でも活躍できるようなサポート活動を進める。 ● ブロック事務局長との連携を強化し、各地域での院生ネットワークづくりを効果的に広げていく。また、各ブロックにおいて院生担当専務を設置し、専務の目線から院生の組織活動への助言が得られる環境をつくる。

●テーマ別での院生活動の振り返り（各論）

各方針・各重点課題に関して、各会員生協と全国院生委員会の取り組みについて振り返りました。

方針① 院生の生協参加に関して

会員生協での取り組み	
22年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生の理事・監事を設置する会員生協が増えており、日常的な運営において院生の声を反映する取り組みが増えている。 ● 総（代）会への参加および発言。（大阪大学生協での院生委員会報告） ● 院生の声を集めるための座談会やアンケート活動など（九州工業大学生協・北海道大学生協・大阪大学生協など）

22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規に活動に取り組むことができていない。 ● 生活習慣の変化に伴い、学部生に比べて生協を利用する頻度が低下している。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 各大学生協での院生が集まる場の基盤づくり（院生委員会ほどのものでなく、小規模なものから拡大させていく。）
全国院生委員会での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生委員会内での、院生理事・監事の促進。 ● 身近な委員への生協参加の促し ● 全国院生委員会での議論を通じて、生協参加の取り組み強化を図る。
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規に活動に取り組むことができていない。 ● 「院生が生協参加することの重要性」の認識不足（？） →学部生が生協参加することとの違い、院生ならではの視点。 ● 活動量の少なさ、次期を見据えた活動への課題。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地域で、全国院生委員でない院生への生協参加の呼びかけ。 →そのための新規の活動案の掲示。 ● 院生理事・総代を各大学生協で増やすための呼びかけを行う。

方針② 大学院生の暮らし・健康安全に関して

会員生協での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 水道管凍結事故防止のため、室蘭工業大学生協では水落としの呼びかけが行われ、北見工業大学生協では不凍液の配布が行われた。 ● 北海道大学生協では、毎月の給付事例報告としてTwitter企画【生協へGO🚌～共済給付事例編～】が8月から実施された。給付事例の報告に加えて予防のための一言を加えてツイートしている。 ● 金城学院大学生協では、健康的にキレイになることを目的とした取り組み「びようフェス」が実施された。肌水分量チェックや美容に関するポスター掲示が行われ、学生委員会と共に院生もこの実施に取り組んだ。 ● 関西北陸ブロックでは、共済推進委員会に院生が委員として参加した。 ● 新学期の新入生サポートセンターに院生も参加した。
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生がメインターゲットの活動はまだ少なく、院生の実態がまだ広く知られていないことが原因のひとつとして考えられる。 ● また、院生が主体となって活動する取り組みはまだ少ない。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 各会員生協で院生の存在・実態を把握し、院生の健康や安全に注目した活動を展開していく。 ● 院生が学生委員会や生協職員と協力して活動することで、院生の健康で安全な院生生活の実現につながるような関係を構築する必要がある。 ● ブロックの共済推進委員会のような場に積極的に院生が参加し、院生の存在を継続的にアピールすることが重要である。
全国院生委員会での取り組み	

22 年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国院生委員会の Twitter アカウントにて、4 月から継続的に暮らし・健康安全に関する情報を発信した。季節に合わせた内容（梅雨の不調や熱中症対策等）や、院生ならではの内容（肩こりや目の疲れ等）に関する情報を発信できた。 ● 全国院生委員から全国共済委員として 2 名が全国共済委員会に参加した。また、その他のメンバーからオブザーバーとして参加もあった。地域報告では院生の取り組みを紹介することができ、GW 等では院生としての経験を踏まえて議論に参加することができた。 ● CO・OP 学生総合共済 新社会人コースが新たに誕生したことを受け、「新社会人コース」の内容を盛り込んだ卒業生・修了生ツールの作成に取り組んだ。 ● 第 3 回全国院生委員会にて、学生総合共済の給付事例および学生生活無料健康相談テレホンの大学院生の事例を抜粋したデータを用いて給付事例学習会を行った。 ● 給付事例の分析を通じて、メンタルヘルスに関する課題を抱える院生が多いことから、院生が研究生生活の中で抱えるストレスに対して解決を図ることが重要であると分かった。
22 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● Twitter での「暮らし・健康安全」に関するツイートは、発信はしているが、多くの人に届いているとは言えない。 ● 新たにスタートした「新社会人コース」について、精力的に取り組むことができなかった。 ● 大学院生のメンタルヘルスの課題にどう対応していくべきかについては検討が進んでおらず、院生が抱える多様なストレスに対してどのような手が有効か議論し、具体的な取り組みに展開することができていない。
23 年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● より多くの人に有用な情報を届けるためにも、Twitter などでの情報発信を強化していくことが求められる。発信内容がニーズに沿っているのか、発信時期・方法は適切かなどを見直していく必要がある。 ● 院生に注目した給付事例学習会は、院生の実態を把握してより有効な共済活動につなげていくための機会として重要である。この“院生に注目した”給付事例学習会の実施をブロックや会員生協へ広めることで、院生の健康で安全な大学院生活を実現したい。 ● 地域生協と連携して CO・OP 学生総合共済を広めるだけでなく、健康的な生活の実現に向けて共に取り組んでいく必要があるだろう。

方針③ 大学院生の学びと成長に関して

会員生協での取り組み	
22 年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 書評誌「ほんでないかい」発行（北海道大学生協） ● 大学生活スタートアップ講座&宮城大学交流会（宮城大学生協） ● 院生交流企画「あつまれ!研究生の森」（岐阜大学生協） ● 新入院生向け動画発信（奈良女子大学生協） ● 新入院生向け質問会&交流会（奈良女子大学生協） ● 機関紙 HandaiWalker における院生記事掲載（大阪大学生協） ● 進路選択支援冊子（大阪大学生協） ● 新入生サポートセンター（大分大学生協） <ul style="list-style-type: none"> ● 4 年間の学び提案の面で院生が活躍できている ● 学内の院生同士が交流できる取り組みがみられた ● 大学生協全体でやっていることに院生も参加することができた

22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 学部生に還元する活動が多く、院生自身の自己実現は弱い ● 院生だけでの活動は忙しさと兼ね合いで難しい
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数でもできるノウハウを共有し、持続可能な組織にする ● 大学生協や学生委員会とつながり、院生の活躍の機会を増やす
全国院生委員会での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフステージ分析を実施し、院生の実態を把握した上で、学部生から院生になるまでを発信するための「院生到達記」を提案した。 ● 院生ならではの取り組みをすることができた ● お互いの生活を知り、院生生活の学び合いができています ● 連合会 HP で展開している「読書マラソン Web 版」に全国院生委員が 8 月から毎月寄稿している。前年に引き続き、“院生 select”のマークがついており、Web ページの訪問者に大学院生の存在が感じられるようになっている。
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路選択などの実態把握はできたが、機会作りまでは至っていない ● 定期的な「読書マラソン Web 版」への寄稿はできているが、HP での掲載に留まっている。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 「院生到達記」を広く知ってもらえるよう普及する →Twitter、HP で公開したり、新学期活動など活用事例の横展開をする。 ● ライフステージ分析を他の場所でも活用 ● 「読書マラソン Web 版」の寄稿に加え、今後は活用方法について検討・実施していくことが求められる。

方針④ 社会的課題に関して

会員生協での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 間伐材の割りばしの仕入れ先変更（北海道ブロック） ● 選挙企画（大阪大学） ● 防災交流会への参加（東北ブロック）
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動の量が少ない ● +α の感じがある。（どうしても後回しにしてしまいがち） ● 活動が難しい。（会員生協で取り組むのが難しい）
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロックなどからフォローアップがあればいい。 ● 院生の研究課題とつながりやすいので、院生だからという目線を強調出来るといい。
全国院生委員会での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎回の院生委員の中で社会的課題通信のあり方を深められた。 ● 選挙前のツイッター ● 社会情勢に合わせた情報発信 ● 全国社会的課題委員会への参加

22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員生協に対して取り組みを横展開出来なかった。 ● 取り組みの幅が狭かった。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的課題通信の発信を頻繁に行う。 ● 社会的課題に囚われない新たな呼びかけ・活動展開を考える。

●重点課題 院生の生活実態把握に関して

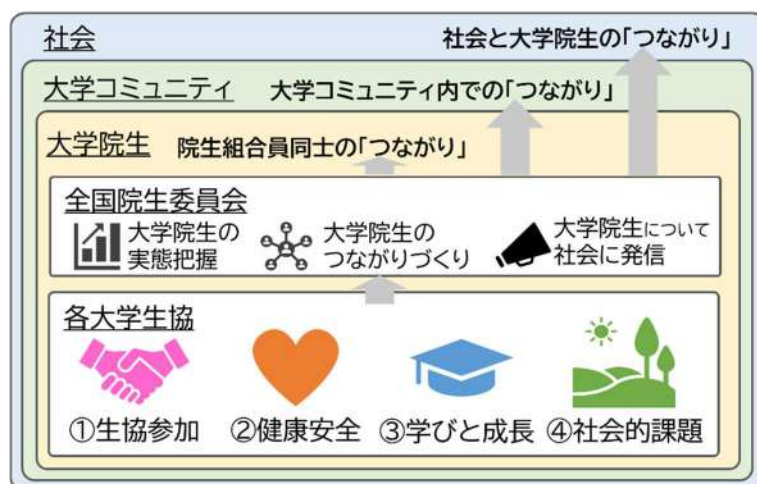
会員生協での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去最高の34会員生協において院生生活実態調査が行われた。 ● 院生生活実態調査のデータを活用し、新学期の提案を行う生協（奈良女子大学・北海道大学など）が見られた。 ● 座談会や丸ごとアンケートなどの取り組みを通じて、院生のリアルな声を掴む試みが行われた。（大阪大学生協・名古屋大学生協・北海道大学生協など）
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生の実態について把握する余裕がある大学生協は少なく、学部生の実態把握で精一杯となってしまう会員生協もあった。 ● 院生生活実態調査を行うことが目的化してしまい、その先のより詳細な院生の実態を、各大学において聞く活動はできていなかった。特に、定性的な声を聴く活動は広がりできておらず、今後実施に向けての支援が重要となる。 ● 院生が多く在籍している会員生協においても、院生生活実態調査を行わないケースがあり、実態を捉える重要性を認識してもらえていなかった。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生生活実態調査を活用し、院生や理事会などでしっかりと分析する意識を広げる。また、大学への報告を強化し、大学生協が院生の生活を把握し支えていることを認識してもらう。 ● 定性的な調査活動についても挑戦し、各大学生協で院生を集めた座談会や、院生総代による実態共有等を行うことで、大学生協の事業と活動の見直しを図りたい。
全国院生委員会での取り組み	
22年度 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去最高の34会員生協が院生生活実態調査に参加した。 ● Twitter企画や座談会企画・インタビュー企画など、これまで行われていなかった定性的な調査活動に挑戦することができた。
22年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 院生生活実態調査の活用提案や各大学生協における分析活動の広がりを作ることはできなかった。また、上手く活用できている事例について把握することも不十分であった。 ● 定性的な声を集める活動については、下半期で短期集中な取り組みとなってしまう、その活動の意義や目的について会員生協に広く理解してもらえていない可能性が高い。年間を通じて計画的な取り組みをすべきである。
23年度 の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023年度は分析と活用の年として位置づけ、院生生活実態調査を各大学生協でしっかりと活用してもらうための取り組みを拡大させていく。また、教訓的な活用事例については全国院生委員会として取材を行い、全国にその教訓点を広げていく。 ● 定量調査に限らない、定性的な院生の実態把握の活動を強化する。Twitter企画や座談会など、2022年度の実施した新たな取り組みの効果について検証し、定性的な実態把握も強化する。

●重点課題 院生同士のつながり・ネットワークづくりに関して

会員生協での取り組み	
22年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> 北海道大学生協、奈良女子大学生協、九州工業大学生協では新入院生歓迎会が開催され、新入院生がつながる機会が設けられた。 北海道大学生協の院生フェスタや大阪大学生協の院生座談会など院生同士が自分の研究や生活について意見を交わせる機会が設けられた。 東北ブロックでは院生と話そうの会が開催され、ブロックで広く集まる機会が定期的に設けられた。
22年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ院生同士がつながる機会がない大学生協もあり、いろんな大学生協からそのような機会に参加できるようにすることが求められる。 院生同士がつながる機会があっても、院生在籍数を考慮するとまだまだ参加者数は少なく、開催の周知が全員にいきわたっていないと考えられる。
23年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> ブロックや全国で院生同士がつながることができる機会を知ることができ、参加のハードルを下げられるコンテンツを各大学生協で展開する。 東北ブロックでのTwitterのリツイートから新たな院生同士がつながったことをヒントに様々な方法で院生につながる機会を周知する。
全国院生委員会での取り組み	
22年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの院生が自分の院生生活を他の人と比べることによって目標を新たに設定してよりよい生活を目指すという「院生生活研究会 2022」を開催した。大学生協と関わりが浅い人の参加のハードルを従来よりも下げる施策を打って、参加者数は昨年度全国院生セミナーの28名を超える43名だった。また、院生以外の様々な階層の人が一緒になって院生生活の場を考える機会となった。 院生生活研究会への参加促進を各ブロックの会議を中心に展開したことで、大学院生のネットワーク作りの重要性について専務や会員生協役員層、学生委員に認知してもらうことができた。
22年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 通年でブロックを軸とした院生同士の繋がりを作る機会は不十分であった。各ブロックによって状況が異なるが、それぞれの地域に応じた広げ方ができなかった点が課題であると考えられる。 院生生活研究会の開催の周知が不十分であり、つながりを求めている大学院生が参加できていなかったことが考えられる。
23年度の展望	<ul style="list-style-type: none"> 院生と社会、院生同士、院生とコミュニティのつながりなど、多様なつながりに対してアプローチしていくべきである。 院生生活研究会の開催を通して、さまざまな階層と協力しあいながら、院生の生活を検討することの重要性を再認識した。引き続き院生だけでなく、さまざまな階層とつながる機会を創出していきたい。 ブロックの状況に応じて、各地域の全国院生委員が中心となり院生の繋がりを構築していける体制を作ることが重要。また、積極的に院生向けの取り組みを展開している会員生協と連携し、院生のネットワークを拡大させることが必要である。 全国院生委員会として取り組むべきこと、各ブロック単位で取り組むべきこと、各会員生協が取り組むことの整理をおこない、それぞれが相互に影響を与えられる活動スタイルを作ることが重要となる。

【4】 2023 年度の活動方針(案)

2022 年度の活動方針を踏襲し、以下の 4 つの方針と 3 つの重点課題を設定します。



●4 つの活動方針 — 全国の大学生協で目指すこと

活動方針 1:大学院生が参画する場づくり

大学院生の生協利用と参加を広げ、自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めましょう。

活動方針 2:大学院生の暮らしと健康安全

院生組合員の生活実態を把握し、大学生協全体で組合員の健康で安全な大学生活を支えましょう。

活動方針 3:大学院生の学びと成長

大学院生の学修や研究活動の実態を掴み、仲間とともに自己実現・成長する機会をつくりましょう。

活動方針 4:社会をつくる

SDGs 達成に向けて、大学院生の興味・関心と探究力を活かし、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくりましょう。

●全国院生委員会が大切にしたい「3 つのつながり」

1. 院生組合員同士の「つながり」

院生組合員同士のつながりを通じて、自分たちの生活向上を目指す。

2. 大学コミュニティ内での「つながり」

階層を超えたつながりを生み出し、大学コミュニティと大学生協の活動の活性化を目指す。

3. 社会と大学院生の「つながり」

社会に大学院生の実態を伝え、社会と院生をつなぐことで、院生の地位と生活の向上を目指す。

●3 つの重点課題 — 全国院生委員会で目指すこと

重点課題① 大学院生の実態把握

大学院生の生活実態を定量的・定性的に把握する取り組みを展開し、大学生協内外に情報を発信します。

重点課題② 大学院生のつながりづくり・ネットワークづくり

大学生協で活躍する大学院生同士のつながりを構築し、全国レベルでの活動強化を目指します。

重点課題③ 大学院生について社会に発信

大学院生の存在や生活実態を社会に発信し、院生の地位向上や認識拡大を目指します。

【全国留学生委員会】

全国留学生委員会 2022 年度活動の振り返り及び 2023 年度活動方針

全国留学生委員長 イ ジェヨン

次期全国留学生委員会委員長 生長さやか

【2022 年度振り返り】

(1) 全国留学生委員会の使用言語をバイリンガルに

留学生委員会は留学生が主軸となって活動をしており、中には日本語が不自由な委員も多いため、主な使用言語が英語であることが特徴である。ところで、全国留学生委員会の活動に関わるためには日本語も自由に話せないといけないというハードルが存在した。今年からは日ごろの委員間のコミュニケーションは英語で、委員会は日本語・英語の2言語で行うことで、意思疎通へのハードルを下げた。委員会では話されている日本語もしくは英語の議事録を取るとともに、自動翻訳サービスにより相手言語に翻訳して見せながら会議を行うことで、言語によらず誰もが会議に参加できるようにした。使用言語が主に英語となっている地域の留学生委員会と全国留学生委員会との協力関係もより密接になることを期待できる。

(2) Slack を活用した日頃のコミュニケーション・地域報告

委員会内で Slack を導入することで、全国留学生委員会での公式な会議・地域報告のほかにも、日頃のコミュニケーションも取れるようにした。Slack に大学ごとのチャンネルを設けることで気軽に地域報告ができるようになったが、未だに十分活性化されていないという課題も残る。

(3) 留学生フォトコンテスト 2022

日本がコロナ禍から回復しつつある現在、コロナ禍における留学生の生活の実況を知るとともに、留学生のコミュニティを盛り上げるために、「コロナ禍前後の留学生の生活」をテーマとした写真コンテストを開催した。宣伝には会員生協に協力をもらいながら SNS での宣伝にも力を入れていき、最終的には約 120 作品が提出され、中には非常に質が高く、留学生が共感・関心できるようなものも多くあった。12 作品が内部審査により本戦に進出しており、現在全国留学生委員会の SNS に投稿されている。また、これら 12 作品を含めた、コンテストのテーマに適切に沿っている約 75 作品を大学生協の Web などに投稿する予定である。日本人・留学生ともに、より多くの人に留学生の生活を知って・共感してもらえることを期待する。

(4) 留学生委員会の立ち上げへの呼びかけ

現在全国に留学生委員会は 4 つ大学（広大、名大、京大、東京学芸大）にしか存在しない。全国の留学生に生協の輪を広げるために、留学生委員会の存在しない会員生協に留学生委員会の立ち上げを呼びかけるポスターの作成や、留学生委員会を立ち上げたいという意志を持った組合員ができたときの支援案などに取り組んだ。しかし、留学生フォトコンテストの準備のために人手が足りなくなり、実際に実行はできなかった。

【2023 年度活動方針】

今年度は新型コロナウイルスで一度弱体化した留学生委員同士の繋がりを強化することに重きを置いた。具体的には、オフラインイベントに加えたオンラインイベント実施、委員の発言のハードルを下げるために進行言語で英語の使用、ミーティングでアイスブレイクを毎回取り入れる点などである。次年度以降も留学生委員同士の繋がりを更に強固なものにすることを主

軸としていきたい。また、現在の委員会は様々な国にルーツを持つ委員が所属している。このことを生かしたイベントも是非行いたい。一方で、議論が加熱すると日本語同時翻訳システムが追いつかず、議論に追いつかない人もいたことも事実である。反省を踏まえて、議論では定期的に(一トピックごとなど)に日本語でのまとめスムーズな組織運営に努めたい。

また、対外的にも広報の強化を継続する他、生協全体における影響力の向上を目指す。

(2) プロジェクト・政策委員会

- 1) 全国社会的課題委員会
- 2) 新学期活動推進委員会
- 3) 国際活動委員会
- 4) 再生具体化プロジェクト

プロジェクト・政策委員会

全国社会的課題委員会

<2022 年度理事会委員会活動の自己評価>

社会的課題の統合的解決を目指すとともに、SDGs の達成を大学生協として目指すための委員会として「全国社会的課題委員会」を設置しました。2022 年度は、コロナ禍で落ち込んでいた社会的課題の取り組みを増やすために、委員会内で取り組み方を検討し、各大学生協に広げていくことを目指しました。

- ① 大学生協総体としての社会的課題に対する姿勢を検討し、広く社会へ発信します。
 - ・ウクライナ危機の際は委員会では大学生協における平和について協議し一致点を確認したうえで、本問題に関する声明を発表し、大学生協の平和に対する姿勢を広く社会に発信することができました。
 - ・一方で理事会委員会として大学生協としての社会的課題に対する姿勢を検討し、具体的な中長期課題の設定を行ったり全国理事会への提案・提言をしたりすることは不十分でした。
- ② 社会的課題の取り組みをより一層広げるため、全国の大学生協に向けた行動提案について検討します。
 - ・環境セミナー・Peace Now!・ふくしま被災地スタディーツアーを開催し、社会的課題の取り組みをより広げていくための事前の取り組みや事後の広がりについて考えることができました。
 - ・委員会内での提案資料を活用した各地での推進及び年間を通じて発行した全社委 NEWS を通じて、各大学生協が社会的課題に取り組むきっかけを創出することができました。
 - ・新型コロナウイルス禍 3 年目での変化として、2019 年以前に行っていた取り組みに再度挑戦したり、社会的課題の部局を新たに作って社会的課題に取り組んだりという様子も見られました。一方で大学生協ごとに取り組み状況の差は広がっています。より各大学生協に広げていくために各ブロックの基幹会議、社会的課題推進委員会等のスケジュールや強めたい事柄と協調させた行動提案・活動推進が求められます。

<2023 年度設置目的>

全国の大学生協における社会的課題への向き合い方・姿勢を検討することを主眼とします。その目指す姿を実現するためには、各ブロックや階層別委員会、そして各大学生協での具体的な取り組みの実践が必要となります。全国的に社会的課題に関する取り組みや社会貢献活動を増やすことを本委員会の目的とします。

- ✓ 組合員が広く社会に目を向け、知り・知らせ・考え・話し合い・行動できる機会づくりについて考える。
- ✓ 組合員の生活を取り巻く社会的課題について、事例や知恵を結集させ、どうよりよくしていけるかを考える。
- ✓ 社会的課題についての取り組みが、各大学生協でより一層おこなわれるための行動提案・活動推進を検討する。

<2023 年度の主要なテーマ>

2023 年度全国の大学生協の活動方針④を具体化し、大学生協全体で実現・実践するための委員会として設定します。

- ① 【政策討議】大学生協としての社会的課題に対する向き合い方・姿勢を検討します。
- ② 【政策執行】社会的課題の取り組みを一層広げるため、全国の大学生協に向けた行動提案について検討します。

<分野・テーマ>

平和・国際貢献、環境、激甚災害支援・防災、消費者、SDGs、大学生協 2030Goals 等

※なお、具体的なゴールイメージやテーマは22年度年間の総括及び第1回委員会の議論をもとに設定します。

<運営上のポイント>

- 会員生協、ブロック、連合会など、様々な角度・視点から議論されることを大切にします。
- 「全国の大学生協での向き合い方・姿勢」と「具体的な実践方法」の双方を意識して協議します。
- 各地(ブロック)と全国階層別委員会(学生・教職員・院生・留学生)での実践や議論状況を持ち寄ります。

新学期活動推進委員会

<2022年度理事会委員会活動の自己評価>

- ・推進委員会としては6回開催し、理事会等における「2022年度の新学期活動方針」ならびに、会員生協の実践における方針の具体化事例の共有を行った。
- ・6月11日に開催した「新学期の事業と活動の全国交流会」は、オンラインにて開催し約1000人の参加で豊かな交流を行った。
- ・今年度設置した「広範囲な受験生に大学生協の情報を届けるタスク」では、大学生協の事を知っていただくために、受験生の保護者に向けたオンラインセミナー「保護者のための大学生協入門セミナー」を7/24に開催した。参加申し込みは1300人になり当日セミナーに参加した保護者は約800人となった。初めての取り組みでもあったが、参加者アンケートからは「好評」をいただいた。
- ・このセミナーの開催に関連して、高校生の段階から大学生協のことを知っていただく取り組みとして「高校訪問活動」が全国的にもクローズアップされることになった。先行して「高校訪問活動」に取り組んでいた東北・中四国・九州からは、様々な活動事例が寄せられ、取り組んでいなかった地区や会員への刺激となった。
- ・受験産業であるODKソリューションズ、KEIアドバンス、フロムページとの関係も密になり、各社との連携事例も生まれだしている。
- ・「大学進学ガイドブック」や新入生保護者調査などの高次化に見られるように、新学期に関わる広報活動及び調査活動についての具体的な活動を推進した。
- ・新学期活動が会員生協の事業活動において大きなウエイトを占めることは、認識されていることもあって、先進的な新学期活動への学びが広がっており、会員での新学期活動にもさまざまな工夫が見受けられる。事業の構築を新学期活動の中からとらえなおす会員も増えており、新学期活動推進委員会からの発信の受け止めが深くなってきた。

<2023年度の主要なテーマ>

1. 大学生協連としての「2023 新学期活動の起案」(学生常勤との連携のもと)
2. 「事業と新学期政策タスク」を立ち上げ、事業構築の起点となる新学期活動を整理し位置付ける。・・・理事会への答申作成
3. 2023 年度「新学期の事業と活動の全国交流会」を開催し、各地区(会員)の新学期活動の交流と学びあいを推進する。
4. 2022 年度開催した「保護者のための大学生協入門セミナー」を2023 年度も引き続き開催し、広範囲な受験生・保護者に大学生協のことを知っていただく活動を継続する。
5. 新学期に関わる広報及び調査活動の具体化。・・・受験生・保護者向け冊子(秋・春号)ならびに新入生保護者調査。

国際活動委員会

<2022 年度の到達>

- (1) 本年度は委員会を3回(2月・7月・9月)開催しました。
- (2) コロナ禍を受け、昨年に引き続きオンラインでの交流を行ってきました。
 - ✓ 日韓学生交流セミナーは、オンライン・SNSを活用した開催を模索してきましたが、コロナの影響による韓国側の体制の問題があり、8月開催を見送り現在今後の進め方について協議をしています。
 - ✓ 国際協同組合デーに合わせて実施された#CoopDay キャンペーンに大学生協連学生委員会として参加し、特設サイトにアップされました。 <https://www.coopday.coop/>
 - ✓ ICA-AP 教育機関協同組合委員会(ICEI)は、4月に協同組合研究委員会(CCR)と共催で、協同組合教育・研究についての対話を目的に「COOP Colloquium」を開催。9月には生協委員会との共催で「教育機関における生協の強化」「協同組合間協同」をテーマに交流を行い、中森専務が、大学生協連のとりくみについて報告しました。
 - ✓ 学生生活を支援する団体としてドイツ学生支援協会(DSW)との交流については、9月と10月にウェビナーを開催しました。コロナ禍における食堂事業の革新・学生メンタル支援の在り方について意見交換し励まし合うことができました。本年より、会員生協等の希望者にも間口を広げ、学びあえる場としても活用を開始しました。
 - ✓ アジア太平洋地域の協同組合の経験や取り組みを紹介する「COOP Dialogue」第3版には、ISO 学生委員会×千葉大学生協の『プラスチックストロー削減プロジェクト』の取り組み内容を投稿しました。
- (3) 大学生協連の英語版サイトのスマートフォン対応やコンテンツの整理・見直し業務を開始しました。
- (4) 海外の協同組合および関係機関との窓口となり来日を受け入れる活動は、コロナ禍の影響でありませんでした。

<2023 年度の主要なテーマ>

- (1) ICA-AP 教育機関委員会およびアジアの協同組合との交流・研修
 - ✓ 12月に開催される年次総会など、リアルな交流も戻り始めています。テーマに拠ったオンラインとリアルを使い分けなど研究します。
- (2) 韓国大学生協連関係
 - ✓ 日韓学生交流会について、韓国の状況を踏まえ、今後の交流の在り方や当面の進め方について検討をすすめます。
- (3) アジア地域以外の協同組合・学生支援機関との交流
 - ✓ ドイツ学生支援協会とリアルおよびオンラインでの交流を継続する。オンライン交流時は会員生協等の参加も積極的に位置づけ、学びの場としていきます。
- (4) その他
 - ✓ 大学生協連の英語ホームページの改修・更新をすすめ、海外への情報提供と併せてより留学生にあった内容にしていきます。

再生具体化プロジェクト

<2022年度の到達>

- (1) 「再生プロジェクト」は、毎月開催。(10月まで10回開催)
- (2) 「再生構想検討PJ」を引き継いで2022年度開催。理事会等への「再生基本方針の具体化や執行状況」「会員の再生計画・中期計画」づくりに関する事項について検討や必要な検討を行った。
- (3) 上記を取りまとめていくために、プロジェクトメンバーが軸となり各ブロックの場で論議を行い会員生協の意見等を繰り返し集約しまとめあげた。

<2023年度の主要なテーマ>

- (1) 設置目的と組織的な位置
 - 1) 組織的な位置：理事会規則第13条に基づき、理事会委員会として設置します。
 - 2) 設置目的：「再生基本方針」の具体化全般及び執行管理。とりわけ経営支援に関する対応や方針具体化など協議し、大学生協連理事会等へ必要な事項を提案・報告することを目的とします。
- (2) 成果物と主任務
 - 1) 成果物：大学生協連理事会に起案する「再生基本方針」執行状況や推進に関わる議案
 - 2) 主任務：「再生基本方針」の執行や推進に関わる方針起案。とりわけ「会員の再生計画・中期計画」づくりに関する事項及び「会員経営支援」に関する事項

<運営上のポイント>

- (1) 設置する「再生具体化プロジェクト」の委員長は、引き続き中森大学生協連専務理事とする。
- (2) 「再生具体化プロジェクト」委員の構成(案)
 - 1) 委員の選任の考え方
 - *大学生協連の理事・執行役員及びブロック事務局長に委嘱します。
 - 2) 具体的委員と事務局
 - 座長：大学生協連専務理事
 - 委員：ブロック副運営委員長、ブロック事務局長
全国事業を委託している事業連合の専務理事と常務理事
全国学生委員会・教職員委員会より
 - 事務局：大学生協連専務理事の指名する者
- (3) 設置期間と開催日程案
 - 1) 設置期間：2022年11月～2023年2月(月1回程度)
 - 2) 開催日程：月1回程度のペースを想定 <Web会議を軸として運営>

(3) コト政策研究会

これからの学生生活をともに考え、見守る研究会

(4) 大学生協奨学制度推進委員会

コト政策研究会

これからの学生生活をともに考え、見守る研究会

<2022年度理事会委員会活動の自己評価>

- 2月理事会で設置を確認し、以下の内容で、4回の研究会を行った。
 - 第1回4月：学生生活実態調査から見える学生生活の深掘り（委員のみ）
 - 第2回7月：就職活動の今～ガクチカなど学生の困り事、生協や社会でできる事（公開）
委員報告：山形大学准教授松坂暢浩先生
 - 第3回9月：with/after コロナ授業の現在地～コロナ禍の変容と今後の展望（公開）
委員報告：京都大学教授喜多一先生
 - 第4回12月予定：学生相談から見る学生の心身の健康と支援課題（公開）
委員報告：名古屋大学教授鈴木健一先生
- 2回目以降は、大学生協と繋がりのある方にも開催案内をお送りして、参加を募った。
委員以外にも、学生・教職員、会員生協役職員のみならず、文部科学省、日本学生支援機構、大学団体、マスコミなど幅広い参加があり、報告やディスカッションを通じて、学生の実情を広く共有した。

<2023年度の主要なテーマ>

- コロナ禍は、学生生活に様々な影響を与えてきたが、after コロナを展望した学生生活を模索する時期に来ている。
- そのような中でも、学生生活においては、授業・勉学研究、キャンパスライフ・課外活動、就職活動、心身の健康は、変わらず主要なテーマであり続ける。
- そして学生の実態を把握する上で、毎年「届けよう！コロナ禍の大学生活アンケート」は、研究会での議論の基本情報としても重要な位置を占めており、23年実施も重要な課題である。
- 従って、主要なテーマと内容については、22年度を踏襲しながら、22年度研究会を踏まえて、強めたい分野などを委員会で議論して進めたい。
- 4との関連もあり、これからの学生生活について、より幅広い関係者（新たな大学教員による講演）との議論、マスコミ関係者からの問題提起や講演なども模索していきたい。

大学生協奨学制度推進委委員会

<2022年度の取り組み概括>

2022年度の成果は

- 2022年度(2021年10月～2022年9月)のたすけあい奨学制度の実績数値は、次の通りとなりました。()は前年

●応募者	509名(402名)	●給付数	412名(308名)
●給付率	80.9%(76.6%)	●給付金額	4,096万円(3,024万円)

- 寄付金額 4,651万円(3,390万円) ●賛助会費 2,287万円(2,224万円)
- 賛助会員数 大学生協174会員(161会員)、特別団体賛助会員6会員(5会員)、個人賛助会員47会員(28会員)

2. 2022年度の奨学制度推進委員会

- (1) 2020年度から新たに設置された本委員会は、大学生協奨学財団や2020年度1月からスタートした「たすけあい奨学制度」への委員として理解を深めるとともに、会員生協や組合員にいかにかこの制度を広めていくか、特に各ブロック、会員の取り組みを持ち寄り、交流することで活動促進を図る計画とし4回開催しました。
- (2) 委員会と制度推進の主な振り返りは次の通りです。
 - 1) 委員会での論議を形にし、財団では引き続き新型コロナ禍特別対応を実施し、給付率が上がり学業継続を応援することができました。
 - 2) 奨学財団の中期計画についても協議し、その意見を中計に反映させました。
 - 3) 個別生協では店頭で募金活動をしたり、卒業生寄付でもコロナ禍での工夫をして協力をひろげたり、様々な活動に取り組むところが存在します。が、運動の広がり点では課題が残ります。
 - 4) 財団では直接大学にこの制度のお知らせをして、扶養者が亡くなった学生に大学窓口で伝えていただくケースが増えています。大学生協の窓口での案内とともに制度の認知が広がっています。
 - 5) オンラインでのセミナーが常態となりつつある中で、1分動画を作成し、その普及にも取り組み短い時間でも広報ができるようにしています。
 - 6) ヘルムキャンペーンをさまざまな形で実施し、認知度向上に寄与しました。
 - 7) 委員会では、毎回「受給者アンケートを読んで感想交流」を位置付けました。寄付者の声も共有し読みこんでいます。

<2022年度の主要なテーマ>

大学生協で進めてきた勉学援助制度の役割と精神、取り組みを、大学生協奨学財団でのたすけあい奨学制度として一層強化・発展させていくためには、大学生協連とその会員生協が制度を推進し支えていくことが重要です。そのために、大学生協連では、引き続き理事会委員会として「大学生協奨学制度推進委員会」を設置することとします。

【テーマ】

- (1) 勉学援助制度から30年が経過し、奨学制度のつどい開催であらためて歴史をふまえ、制度の発展に努めます。
- (2) 大学生協奨学財団での奨学事業を、組合員や大学への紹介活動を進めます。特に、キャラクター「ヘルム」の普及に努めます。
- (3) 会員生協での取り組みを促進するため、各生協での取り組み事例の集約と普及を進めます。
- (4) そのために各ブロックでの大学生協奨学制度推進の検討や学習、取り組み交流を強めます。
- (5) たすけあいでの財源の充実促進。特に卒業生への寄付呼びかけの取り組みを一層強めます。
- (6) 大学生協奨学財団に、推進情報や意見・要望を伝え、制度発展のために連携を図っていきます。

3. ブロック活動報告

○北海道ブロック

○東北ブロック

○東京ブロック

○東海ブロック

○関西北陸ブロック

○中国・四国ブロック

○九州ブロック

○各ブロック運営委員会・常任運営委員会の
2022年度開催報告

北海道ブロック

2022年度 北海道ブロック活動報告（総括）

全体テーマ：

組合員を中心に「大学生協同組合」を実現しよう北海道ブロック

方針1. 組合員の生活、住んでいる環境・社会の実態を把握する

【成果と課題】

- 組合員の生活実態を直接聞き取る取り組みが増えました
- 大学生協連主催アンケートへ全会員が参加しました
- 会員中期計画議論が進んでいます
- 階層別総代の選出はなかなか進んでいません

方針2. 大学生協の取り組みにしっかりと組合員の実態を反映させる

【成果と課題】

- Twitter や公式 LINE による工法が根付きました
- 店舗企画が旺盛に行われています
- 先輩の声を形にすることで、多くの組合員から支持を得ることができました
- 大学と協力し、組合員の悩みに答える取り組みが見られました
- 学生と職員の協力は、まだまだ伸びしろがあります

方針3. 組合員に「自分が大学生協の組合員である」という認識を広げる

【成果と課題】

- 組合員の意見や行動が生協を変えることを伝える取り組みが見られます
- 生協を利用することが楽しみになる組合員が増えています
- 学生委員会のメンバーが増えました
- 院生・教職員の組合員加入は強くは進んでいません
- ブロックニュースはほぼ発信できませんでした

2023年度 北海道ブロックの運営について

2023年は、会員生協総代会にて中期計画の確定が決議され、理事会を中心に執行する初年目です。引き続き大学生協の事業活動を、組合員を中心に置き、実現することが、組合員に支持され、利用される生協につながります。

中期計画の執行にあたっては、理事会・理事長の強いリーダーシップを軸とし、事業の中心となる職員の生協利用を広げる取り組みと、学生委員を中心とした組織委員会の生活を支える取り組みの両輪が不可欠です。

北海道ブロックの2023年度方針は、2022年度総括を背景とし、議論が進められている全国大学生協連2023年度方針とも関連付け、上記基調に基づきながら策定を進めます。

東北ブロック

2022年度 東北ブロック活動報告（総括）

全体テーマ：人と人のつながりを大切にする大学生協

活動方針1：

組合員の利用と実感が伴う事業や組織活動を大学生協で一体となってい、**「一人一人の組合員で作りあげる大学生協」**を追求しましょう。

【成果と課題】

- 22年度から「ブロック院生委員会」・「ブロック教職員委員会」を改めて実施し、会議の中でそれぞれの利用実感から生協への期待することについて話す場面を設けました。
- コロナの影響で集まらない状況であっても総代会議、総代会において総代の意見を集約し、それに対し理事会が回答を行う場面を大切にすすめました。
- 共済活動では自大学の給付事例を確認する学習会を、数多くの会員で行いました。共済が自分たちの共済であることを認識できる場面を設けました。
- 組合員の生活を見聞きし、声に向き合う場面より大切にしていけることが課題です。連帯会議の場や会員理事会において、利用者の声が取り上げられる工夫が必要です。

活動方針2：

すべての組合員が**「学び」**や**「経験」**を得て自己成長し、お互いに高め合える機会を作りましょう。

【成果と課題】

- ブロック事務局が発信した企画として、割り箸に関する勉強会、読書交流会、防災交流会、ウクライナ学習会など、「知る」「知らせる」「考える」「行動する」きっかけとなる学びの機会を数多く実施しました。
- 昨年に引き続き、学びと成長推進委員会を実施し、学生生活における学びの場とは何かについて学生と職員が共に考える機会を作りました。
- 会員においては、新入生向け友人作り企画を全会員で実施することができました。また、社会的課題や健康安全に関する企画を組合員向けに発信し、組合員を巻き込んだ活動を行いました。
- 新入生向けの友人作り企画は多くの学生に知られ、多くの組合員を巻き込む活動となっています。一方新学期時期以外についても、学びと成長企画に参加したい学生に、確実に情報が届くように発信することが課題です。

活動方針3：

学生委員会の組織作り・活性化を図りましょう。

【成果と課題】

- 全ての会員で新入学生委員が獲得できるようブロック運営委員会で協議を行い、結果、新入学生委員会が0人の会員はありませんでした。
- ブロック事務局では新入学生委員の獲得が困難な会員を重点と定め職員も含め、総合的な支援に取り組みました。また、獲得人数が少数である会員においても専務理事を中心として粘り強く獲得活動を行いました。
- コロナ禍ではありましたが企画運営に努力を重ね、サマーアップセミナーを対面ハイブリッド型で開催しました。参加した学生委員の元気に繋がる会を行うことができました。
- 連帯会議等の場は、各会員の元気な活動状況をより交流できるようにすることが課題です。

2023年度 東北ブロック方針（案）

- 1 組合員の生活実態と実感に基づいた議論を行い、組合員の運営参加を広げます。
 - ・組合員の生活実態の分析と要望把握にとりくみ、生協事業の利用の拡大に結び付けます。
 - ・ブロックと事業連合が協力して、組合員の店舗利用の促進にとりくみます。
 - ・組合員のありたい将来像に向かい経営ができるよう、ビジョンとアクションプランが構築できる学習の場を設けます。
 - ・上記を中心として、経営的に自立する生協であり続けるようします。
- 2 つながりづくりや組合員同士がたすけあう取り組みをコミュニティのつながりで実現します。
 - ・学生組織委員・職員が総合力を発揮して共済加入者の増加にとりくみます。
 - ・学生総合共済の4本柱を意識したとりくみを行っていきます。その中でも「給付」「予防」を重視し、私たちの共済であることが認識できるようにします。
 - ・教職員や院生へ向けた生協加入のとりくみを増やしていきます。
- 3 組合員の大学での学び方や学習状況について把握し、組合員が仲間と共に自己実現・成長する機会作りを行います。
 - ・入り口支援を学びと成長の場と位置付け、生協一丸となって取り組みます。
 - ・SEQを使い組合員が自分の成長実感をつかめるようにしていきます。
 - ・ブロックと事業連合が一体となって学びと成長事業にとりくみます。
- 4 持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知る・知らせ・考え・行動するきっかけづくりを行います。
 - ・平和について知り、考えるとりくみをブロック主催で開催します。
 - ・消費者課題にとりくみます。
 - ・全国環境セミナー、会津高原森林の楽校への参加促進と間伐材割箸の普及に努めます。
 - ・防災/減災を他人事ではなく自分事、自分の大切な人を守るものと認識し、取り組みを行います。

東京ブロック

【1】東京ブロック ブロック目標 2022年度の振り返り

1. 「大学生協全体で、組合員に大学生協の魅力を実感してもらいましょう」

職員と組織委員会、各大学生協全体で協同しましょう。

大学生協の魅力を伝え、利用につなげましょう。

【成果】

- ・職員と学生の役割を明確にし、効果的に魅力を伝えることができていた。
- ・ほとんどの会員生協が新学期活動の中で、コト・モノの説明だけでなく、大学生協が組合員のための活動を行なっているという魅力を伝えることができていた。
- ・学生と職員が一体となって店舗を盛り上げる活動を行うことができていた。

【課題】

- ・職員の名前や課を知らない学生が多い。
- ・企画を行うことにとどまり、利用へとつなげる工夫を連携して行えている会員は少なかった。

2. 「組合員が『大学生協は自分たちの組織である』という認識をもち、積極的に運営に参加できるようにしていきましょう」

組合員の声を分析し、反映した活動を行きましょう。

理事会での議論を通して、組合員のよりよい生活をかんがえましょう。

組合員の声や現状によって大学生協が変化することについて知らせ、組合員参加につなげましょう。

【成果】

- ・総(代)会や前後の取り組みの中で声を集めて反映していこうという動きが多く、多くの会員で見られた。
- ・投票企画や七夕企画など組合員の声を集め、反映する企画を行っている会員が多くあった。
- ・組合員へのアンケートを行い、活動や事業などに反映する動きがいくつかの会員で行われていた。

【課題】

- ・ひとことカードで声を集めていることや、その声に沿った活動を行おうとしていることを伝えられている会員は多くはなかった。
- ・理事会での議論を基に、組合員への企画として落とし込めている会員は多くはない。
- ・総代とのかかわりを通して、組合員の現状を把握するような動きや総代自身が活発に大学生協に関わろうとしている会員はごく一部にとどまった。

3. 「大学生協を通してキャンパス内のつながりを広げていきましょう」

大学生協が身近な存在として、組合員と日常的に交流していきましょう。

大学生協の活動をきっかけに、組合員同士のつながりをつくりましょう。

【成果】

- ・ほとんどの会員で、新入生歓迎会など新入生同士のつながりの場をつくることができていた。
- ・個別相談会や入学準備説明会など新入生にとっての大学生活の身近な存在として接することができていた。
- ・食堂利用体験会などの大学生協について伝える場を設けることによって結果的に組合員のつながりづくりの場にすることができていた会員もある。
- ・生協学生委員会の企画をはじめとして、店舗での活動が活発になり、生協が一つのつながりの場となっている。

【課題】

- ・上級生同士や1年生と上級生などのつながりの場を作ることができていた会員は少なかった。
- ・組合員同士が就活や資格など目的を持って交流できるような、コミュニティとしてのつながりを作れている会員は少なかった。

4. 「組合員ひとりひとりが学びの楽しさを見つけられるようにしていきましょう」

組合員の学びたいことを選択できるように、視野や可能性を広げていきましょう。

個々に寄り添った学びを提供していきましょう。

【成果】

- ・就活や資格取得、パソコンに関する事業や講座・商品の提案が多く見られた。
- ・新歓冊子や歓迎会、入学準備説明会などの中で1年生の生活だけでなく、4(6)年間を通じた大学生活を伝えることができていた。
- ・レポート交流会や講座など、大学生活や将来を見据えた学びの提案ができていた会員があった。

【課題】

- ・生協学生委員会が積極的にかかわれている会員が少なかった。
- ・組織委員会と生協職員、大学生協全体で学びを取り扱っている会員は少なかった

5. 「組合員自身が社会をつくる一員として社会について知り、考えられるようにしていきましょう」

大学生協と社会がどう関わっているのかを伝える。

組合員が地域社会の一員であることを意識できるように地域との連携を行う。

【成果】

- ・新入生冊子や新入生歓迎会などを通して、成年年齢引き下げをはじめとして今後身近になっていく社会のリスクを伝えることができていた会員もあった。
- ・地域生協や警察、自治体など地域と一緒に組合員に対して活動を行うことができた会員もあった。
- ・店舗の活動にエコキャップやサステナブルシーフードなどの社会的な視点を取り入れ、組合員が社会に目を向けるきっかけを作ることができた。
- ・SDGs や平和など、生協学生委員会自身が社会に目を向けることができた。

【課題】

- ・社会に目を向けることができていない会員や、社会に目を向けることができていても、取り組みにまでつながっている会員は多くはなかった。
- ・地域に目を向けられるような活動を行えている会員は少なかった。

【2】2023年度 東京ブロック目標(10.28 現在)

1. 東京ブロック目標の位置づけ

- ①2023年東京ブロックの学生と生協職員、教職員など会員生協全体で目指していきたいことです。
- ②全国総会で確認される全国方針を踏まえて、現状をもとに東京ブロックで目指していきたいことです。
- ③東京ブロックではこの目標をもとに、会員の取り組みを集約し、他会員でも活かせる点を広げていき、会員同士の学び合いや取り組みの強化に繋げていきます。

2. 2023年度東京ブロックが目指していく姿

2023年度は、「つながる今、かける未来」を目標とします。 ※本文割愛

3. 東京ブロック会員生協が目指していく事柄

- ①大学生生活の身近な存在となるために、大学生協の魅力を実感してもらいましょう。
- ②組合員同士のたすけあいから安心して充実した大学生活を実現できるようにサポートしましょう。
- ③大学生協が中心となって、階層の超えたつながりを広げていきましょう。
- ④自分自身の将来を考える組合員の学びと成長を支援しましょう。
- ⑤これからの社会に目を向けて、社会をつくる組合員たちに何ができるのかを考えられるようにしていきましょう。

東海ブロック

■ 2020年度の特徴、全体総評

新型コロナの影響が未だに残る状況となっている。新学期活動については、大学との関係もありオンライン企画に急遽変更となった会員もあった。一方で、少しずつ状況が良くなり対面での企画も行われ始めている。ブロック主催のセミナーも2年ぶりに対面開催で行うことができ、よりつながりを強めることができた。

また、2会員の交流会や新歓企画の相互のリハ見学が行われるなど、会員同士の交流・連帯の様子が多く見られた。セミナーの参加者数も増加傾向にあり、ブロック全体としてつながりをつくることができている。

学生と職員の関わりについても前進している様子が見られる。企画や日常活動の観点から、さらに向上していくことができる。

ブロック事務局と会員のつながりも比較的強くなっているといえる。この間、会員から情報提供の要望が多かったり、事務局が積極的に会員を訪問したりということが盛んに行われている。また、分野ごとの学習会や交流会も数多く開催し、参加人数は課題であるものの、機会は提供されており、また参加者にとっては満足し、成長につながられている声が多く上がっている。

引き続き会員間、会員と事務局、学生と職員など様々な場面での「つながり」を大切に、より発展的な活動が見られることが期待される

■ 2020年度ブロック方針に基づく総括

活動方針①組合員が参画する場づくり

成果

- ・多くの会員で、店舗における組合員の参加活動(投票企画など)が行われた。
- ・ほぼ全ての会員で新入学生委員を獲得することができた。
- ・総代募集の広報、事前の総代交流会、議案書ダイジェストの作成、当日のグループ討議など、組合員・総代がしっかり関わる総会・総代会をつくる動きが各会員で進められた。
- ・ブロックでは「学生と職員でつくる楽しい総会・総代会を考える会」の実施や資料発信を行い、よりよい総会・総代会づくりの支援を行った。
- ・ブロック学生委員会において、「新入学生委員獲得とその後」について考える機会を設け、学生委員の入部だけでなく継続についても協議を行った。
- ・理事監事学習会を開催し、学生理事が自らの役割を認識することで実際の理事会内で理事としての役割を發揮できるようにした。
- ・ブロックでのセミナーや交流会、推進委員会などを実施し、会員同士で学び合い、つながりを作る場を設けた。
- ・事業連合と協力して井-1グランプリを開催し、多くの組合員が店舗づくり・生協運営に関わるきっかけ作りを行うことができた。

課題

- ・総代募集に関して、最終的にはなんとか集めきれたが、ギリギリまで定数を集めきれない会員があった。
- ・理事選出の工夫について、事務局内で構想はあったが支援につなげられなかった。
- ・ブロックとして、大学や他団体、地域との関わりをあまり意識して活動を進められなかった。

2023年度に向けて

- ・23年度新入学生委員の獲得に向け、早めに検討を開始し、十分に獲得できるようにしていきま

しょう。

- ・23年度の総代選出・総(代)会づくりに向けて今年度の振り返りなどを進め年間を通して総代とつながり続け、積極的な組合員としての役割発揮ができる機会を設けましょう。
- ・セミナーや交流会、推進委員会などを実施し、会員同士で学び合い、つながりを作る場を設けます。

活動方針②健康安全

成果

- ・地域共済推進委員会を開催し、会員の現状からブロックとしての推進を考えることができた。
- ・共済基礎学習会をブロックで開催し、会員で学習会を開催できない会員を中心に参加してもらうことができた。
- ・共済ボード・給付ボードを掲示し、共済に関する発信を行った会員も見られた。
- ・組合員が健康で安全な大学生活を過ごすために、自身の健康を見つめ直す取り組みを行った会員も見られた。

課題

- ・学生の推進委員を選出できていない会員もあった。
- ・共済の活動に関する活動の集約と事例発信をブロックで十分に行うことができなかった。
- ・人と人とのつながりについて考えを深められる場を提供することができなかった。
- ・組合員に健康促進の呼びかけを行う会員は見られたものの、ブロックとして健康を意識することができる機会を提供することができなかった。

2023年度に向けて

- ・各種学習会を開催し、学びを深め自大学での推進につなげられる場を提供する。
- ・東海共済セミナーを開催し、自分の言葉で共済の想いについて語れるようになる場を提供する。
- ・ブロックとして、組合員が自信の健康安全について考える機会を提供する。

活動方針③これからの学びと成長

成果

- ・各会員でスタートアップ講座を実施し、学びの場を設けることができた。
- ・アンケートの結果をもとに、その大学の学生に応じた学びの場を提供することができた会員もいた。
- ・ブロックおよびセミナーでの会員実委にてSEQを実施し、会員でも実施して自己分析・組織分析に繋げることができた。
- ・新入生以外を対象とした学びに関わる企画を実施し、継続的な学びのサポートにつなげるために取り組んだ会員も見られた。

課題

- ・学びの場を設けることができたものの、その講座の魅力を伝えきれずに、参加の促進ができなかった。また、講座を会員の現状に合わせた内容として提案することができなかった。
- ・ブロックも含め、東海として学びと成長に関わる活動に力を入れることができなかった。
- ・大学生活の終わりまでの継続的なサポートという視点での学びの場の提供があまり推進されなかった。

2023年度に向けて

- ・学びの講座に関して、その大学の実態に合わせた大学オリジナルの学びの場を設けることに繋がっていきたい。
- ・ブロックとしても、学びと成長に関わる取り組みや意識付けを少しでも多く広めていき、東海

として学びと成長に関わる活動も展開できるように促進する。また、学びと成長における活動の在り方を発信し、大学生活の終わりまでの継続的なサポートという視点も示すことで、大学ごとに活動を展開できるようにしていきたい。

- ・今年の方針として盛り込めなかったが、先輩と後輩の縦のつながりを強固にしたキャリア形成の視点を2023年度では取り入れたい。

活動方針④社会をつくる

成果

【SDGs 他】

→社会的課題に興味のある学生に参加を呼びかけ、社会的課題推進委員会を設立しました。4月にはお試し版の「社会的課題に触れる会」（参加者3人）も開催しました。

第1回：プラスチック問題と防災袋について取り扱い、身近な問題から社会的課題について学び、考えるきっかけとしました。

第2回：激甚災害支援・防災について災害・防災対策の2つの視点から学びを深め、MottaCaの使い方や広め方について考えることができました。

第3回：「Peace Now!Tokai」として、社会的課題推進委員以外のオキナワの旅やPeace Now!各地の参加者にも参加を呼びかけ、東海地方の戦禍の歴史を学び、平和について自分事としてかんがえるきっかけを作ることができました。

第1回、第2回は学生委員だけでなく院生委員や専務を含め7人の参加者が集まり、様々な考えの交流の場となりました。また、いずれも開催案内としてブロックニュースを発行し、全国に向けた発信を行いました。

→6月に社会について考えるワーク会を実施しました。2日程合わせて6人の参加者が集まりました。参加者の満足度や学習会も雰囲気は良かったですが、もう少し参加者を増やしていきたいです。

→5月にはコープあいち主催の、若者が集まって自分たちの活動について語り合うクロストーク企画に、学生事務局から1人参加しました。そこでは、学生事務局としての活動を紹介し、他の登壇者の方がお話しした課外活動の経験談に耳を傾け、若い世代、学生の中に、社会へ向けて積極的に活動している様子を実感しました。また、自分たちの生活についても語り合い、その中で、「私たちの生活の中には、社会について語り合う機会が少ない、もっと語り合える機会が欲しい」という意識を確認しました。

→上記のクロストーク企画終了後、「若者の社会について語り合う機会を作る」目的で第2回のクロストーク企画を立ち上げました。

【平和】

→講師を招いてウクライナ学習会を行い、世界の情勢や歴史的背景を学ぶ機会を設けました。

東海ブロック以外の地域からも参加者が集まり約100人の参加者が集まりました。

→ブロック運営委員会にて、Peace Now!に対しての認識や想いについて協議を行い、東海ブロックとしてどのような意識を持っているかを把握することができました。

→東海ブロックオリジナルスタディツアー「オキナワの旅」を開催し、組合員が現地で平和について学び・考え・交流する機会を作ることができました。

→SNSでPeace Now!の過去の参加者のメッセージなどを掲載し、参加促進を行いました。

【環境】

→リ・リパックのポスターを発信し、各会員に回収することの意味や方法を伝えました。

【激甚災害支援・防災】

→新学期に防災カード『MottaCa』を発信・配布することによって、主に新入生へ防災の呼びかけをしました。東海ブロック全体で約2万2千人の組合員に配布しました。

【消費者】

→ブロック運営委員会で成年年齢引き下げについて取り扱い、専務と学生委員で問題点や活動について話し合うことができました。

課題

- SDGs と東海ブロックの活動との結びつきをつくることができていません。
- 社会的課題推進委員会の参加者を持続的に集めることができませんでした。また、途中で推進委員が増えることもありませんでした。
- 学生委員を活動に巻き込むことはできて、一般の組合員に活動が届いていないのが現状です。
- 学習会などの連帯企画の参加者が思うように集められておらず、参加者の持ち帰りの行方も追えていません。
- 特に上半期において、Peace Now!に関わる部分の目立った活動ができませんでした。
- 食品ロス削減に向けた具体的な行動の提案ができませんでした。
- Mottaca の配布後の活動や活用方法を考えることができていませんでした。

2023年度に向けて

- Peace Now!に関して、より多くの参加者を募るための推進を考えていきます。
- 社会的課題推進委員会を大きくしていくため、様々な場面で活動の周知を行っていき、参加者が行動できる内容を展開していけるよう考えていきます。
- Mottaca について、在校生にも知ってもらえるよう社会的課題推進委員会にて扱います。新学期の時期にて、再度配布したいと思っています。
- 活動と SDGs とのつながりを認識してもらえるような推進をしていきます。
- セミナーや委員会の持ち帰りに関して、社会的課題に限らずブロック全体で、より具体的な内容や手法を提案していきます。

関西北陸ブロック

■ 2022 年度関西北陸ブロック活動報告

1. 組合員が大学生協に参画する場面をつくり、組合員・大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりを進めました。
 - (1) 総会・総代会などをはじめとした各種の事業・活動を対面で行う会員生協が増え、「対面でつながれる場」を作ることができました。
 - (2) 昨年に引き続きオンラインを有効に活用し、「手軽に交流できる場」を作ることができました。
 - (3) 新学期活動をはじめとしたさまざまな取り組みとともに発信するといった、組合員により効果的に伝わるような工夫を用いて、SNS を運用することができました。
 - (4) 新学期活動において他団体と連携して企画を行うこと取り組みができました。
2. 組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員同士がたすけあう取り組みを通じて健康で安全な大学生活を実現しました。
 - (1) 共済や健康安全に関する SNS での発信が多く見られました。
 - (2) 新型コロナウイルスの影響により実施されていなかった「自転車点検会」などの対面での取り組み が復活してきました。
 - (3) 今年度から始まる共済の新制度や事業譲渡について、学生事務局内部や推進委員会向け

の講習会を実施した。

(4) 推進委員会内で所属する大学生協内での活動を報告する機会を設けることができ、関西北陸ブロック以外の取り組みを共有し学び合いが広がった。

3. 変化する組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行いました。

(1) 新入生同士をつなげる活動は多くみられ、他団体との協力活動も増えました。

(2) キャリアプランについて考える機会を作る取り組みが多くみられました。

(3) WEB 講義などの新しい学びが行われるようになり、新入生のニーズに沿った講座を企画することができるようになっていきます。また、先輩の学びの一つとして、パソコン講座が位置付けられていた。

4. 持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り、知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけづくりを行いました。

(1) SNS での発信等を通じ、組合員が社会的課題に目を向けるきっかけづくりが多数行われました。

(2) ブロック社会的課題推進委員会にて、社会的課題について学び、議論することで学生委員や職員が社会的課題に目を向ける機会を作ることができました。

(3) 社会的課題推進委員会において、学びの場を作り実践について考えることができました。

■ 2023 年度関西北陸ブロック活動方針（案）

ブロックで大切にしたいポイント①店舗・食堂で運営に参加する

（全国活動方針の大切にしたいこと①組合員どうしがつながるに対応）

ブロックで大切にしたいポイント②ささえあい、たすけあう

（全国活動方針の大切にしたいこと②組合員が運営に参加するに対応）

ブロックで大切にしたいポイント③大学や地域と連携する

（全国活動方針の大切にしたいこと③「学生支援」のための大学との連携に対応）（全国活動方針の大切にしたいこと④幅広い連帯で組合員のよりよい生活を創るに対応）

中国・四国ブロック

■ 中四国ブロックのスローガンと目指すこと

モットー 「自立した個性輝く連帯」 継続して連帯へ参加しよう！

スローガン 「楽しくなければ続かない。まじめでなければ広がらない」

2022 年度目指すこと

「つながり」の中で、大学生協の想いや魅力を広めることのできる組合員になりましょう

■ 2022 年度活動報告 （活動方針をもとに）

① 組合員の参画する場づくり

すべての大学生協で組合員の生活の実態と実感に基づいた議論を行い、組合員の運営参加を広げましょう

- ◆ 全ての会員生協で新入生歓迎企画を開催しました。2022 年度は工夫を重ね、対面での交流会の開催も増えました。ウオークラリーなど取入れ 1000 名を超える参加も実現して

います。

- ◆ ここ2年間は書面議決中心の総代会でしたが、2022年度は対面での総代会を開催した会員や、オンラインでの視聴参加・意見交換の場を設けた会員が複数登場しています。
- ◆ また、総代を集めることの困難が続く中、総代との年間を通じた関係づくりに一歩踏み出す会員も増加しました。
- ◆ 一声カードの取組も継続されていますが、インスタやアプリの活用などSNSを使つての工夫が進んでいます。
- ◆ コロナで対面でのつながりが激減しましたが、改めて「会うこと」の大切さを学び、一方でオンライン活用で「つながり方」を増やし広げることができるようになりました。

② 健康安全

私たちは、組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしが助け合う取り組みを通じて、健康で安全な大学生活を実現します。

- ◆ 加入推進に全会員で奮闘しました。加入率は65.6%から66.3%と伸長しました。引き続き過去最高の加入率を目指します。
- ◆ コロナ感染が広がる中、大学との協力が一段と進み、給付活動だけでなく、保健管理センターとの協力など、学生の生活改善に向けた取り組みも広がりました。
- ◆ ブロックでも「中四Night企画」や「BA-RUNの会」を通じて、給付事例学習会の実施・推進などを進め、「わたしたちの共済」・たすけあいの志を広げました。

③ 学びと成長

組合員の学び方や大学の学習支援について把握し、組合員が仲間ともに自己実現・成長する機会づくりを行いましょ。

- ◆ コロナ禍で中止されていた企画が復活し始めました。田植え企画・農地での収穫作業の手伝いなど、地域や農協などの協力も得ながら、地域社会への参加・食文化に触れるなど貴重な体験の場になりました。留学生が参加する企画もありました。
- ◆ 学生委員会の活動も対面での活動に移っており、合宿ができた会員もあります。セミナーやブロックの会議などはまだオンラインが主流ではありますが、4月開催のブロック学生委員長会議はハイブリッド開催ができました。
- ◆ ブロック主催の「春のセミナー」「夏のセミナー」もオンラインで開催しました。大学を越え、お互いの活動や想いを学びあい励ましあえるセミナーになりました。
- ◆ 中四事業連合主催の「大学生生活スタートアップセミナー」は、オンラインでもここまでできる！を感じることができたセミナーでした。ブロックも積極的に参加し学びました。

④ 社会をつくる

持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動する きっかけづくりを行いましょ。

- ◆ 「ピースナウ！ヒロシマ」が3年ぶりに現地開催になり、現地で学べる貴重な機会を得たこと・参加できたこと自体が大きな成果です。中四ブロックも積極的に参加しました。
- ◆ 2022年4月から事業開始となった山口県立大学生協では、学生委員会の主要な取り組みとして「リリパックの回収」に取組み、学生委員会活動・組合員活動のスタートを切りました。開始にあたっては山口大学生協での取組みを学ぶなど、会員間の学びあいがありました。
- ◆ 社会的課題は様々です。会員の取組も多岐にわたりました。エシカル消費やフェアトレードを呼びかけた島根大生協の「バレンタイン一揆」、SDGsにそつて定期発行される、下関市立大生協の「平和新聞」、徳島大生協の「トンガ沖噴火・津波募金」等々、多様

な取り組みが行われました。

- ◆ また、島根大学生協や広島大生協の食堂では、食品ロス削減の取組も行われています。

⑤ その他トピック

- ◆ 新しい仲間が増えました。2021年11月16日 山口県立大学生協の創立総会が開催されました。2022年4月～事業開始をしています。
- ◆ 2022年は、複数の大学から生協設立の問い合わせを受けています。現在、1大学が継続して設立に向けた活動を進めようとしています。
- ◆ コロナ禍はまだまだ続いています。大学の対面授業も再開され、少しずつキャンパスへの学生の登校が戻りつつあります。地域・大学での状況はまちまちで、生協利用状況は依然厳しい会員も多い状況です。会員では、中期計画策定に向けた取り組みが続いています。

■ 2023年度計画

全国2023テーマは「つながる元気、ときめきキャンパス。～協同で広がる、組合員の元気！～

中四ブロックでは2023年度の新学期のテーマを

「**生協でつながる**」ワクワクがとまらない！共に創ろう！笑顔あふれる「大学生活」としました。まさに今こそ、キャンパスに組合員の元気を取り戻したい！中四ブロックの想いも同じです。

大学生協という協同の場と力で、組合員の笑顔と元気を広げ、ワクワクするようなキャンパス・大学生活を全国の仲間たちとつながりながら進めていくことを目指して、下記4つの視点を軸に中四ブロックらしい活動を進めていきます。

- 組合員どうしがつながる場をたくさんつくろう。
- 組合員が、出資・利用・参加する・したくなる大学生協になろう。
- 組合員の生活を軸とした大学との連携を深めよう。
- 会員～地域～全国と、幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくっていこう。
- 。

九州ブロック

■ 2022年度活動のまとめ

1. 2022年度方針の振り返り（成果）

夢 × 九州 15 万人 = 協える ～ひらいて！つないで！一緒に

活動重点 【再生から創造・挑戦へ】

- ・大学に生活協同組合が存在することの価値を確認し、組合員・大学コミュニティに必要とされる大学生協づくりを進めましょう。

活動方針① 【生協運営】すべての大学生協で組合員の生活の実態の実感に基づいた議論を行い、組合員の運営参加を広げましょう。

<成果>

○連帯参加促進：

- ・4-6期から継続して参加会員・参加者数が増加。対面＋オンラインのハイブリッド開催時でも双方満遍なく参加者を獲得することができた。
- ・会員間連帯について、実際に会員の学生委員から要望の声があったこともあり、フローやフォーマットの策定を検討。事務局内で協議することができた。

○夢現セミナー

- ・参加者同士の交流を経て、参加者自身が組合員として、学生委員として何ができるかを考えられる場を作ることができた。

○店舗・食堂

- ・フェアや新メニュー考案など、食堂・店舗から生協を盛り上げていく動きがみられた。またSNSを活用して組合員に情報を発信する動きが活発であった。

<課題>

- ・理事会に関して集約や支援が不足していた。
- ・夏休み中ということもあり店舗・食堂に関する動きは会員全体で鈍るが、長期休業中の運営に関わることは協議する必要がある。
- ・ブロックで開催しているセミナーと各会員の日程がうまくかみ合わず、参加が難しくなることがあった→23年度のスケジュールを見直し、会員にとって適切な連帯企画を形成し、共有を徹底する

活動方針② 【暮らし・健康安全】組合員の暮らしの実態を把握し、つながりづくりや組合員同士がたすけあう取り組みを実現しましょう。

<成果>

○事務局として

- ・九州共済セミナーを通して共済の基礎知識を楽しく学ぶとともに、全国共済セミナーの事前準備を行う場を設けた。
- ・事務局内で「わたしたちの共済」について考える時間を作った。
- ・全国共済セミナーの参加促進を通してブロック8会員26人に参加してもらった。
- ・共済パワーアップ大会を通して生協職員やアドバイザー、学生委員が23新学期に向けた共済の加入提案や共済活動を考える機会を作った。

○会員として

- ・全国共済セミナーに向けて、会員ごとに共済勉強会を行ったところも見られた。
- ・九州共済セミナーを通して共済の基礎知識を楽しく学び、全国共済セミナーの事前準備をおこなった。
- ・全国共済セミナーに参加し、共済やたすけあいの想いについて深く学び、考えることができた。
- ・各大学で共済加入率目標を立てることができた。

<課題>

- ・自分や他の人のもしもを意識しながら生活を送ることができる。
- ・学生、生協職員、教職員など、様々な立場の組合員同士で食生活を考えることができる。
- ・健康について日常的に考えることができる。

活動方針③ 【学び】組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行いましょう。

<成果>

- ・学修支援では、保護者向けセミナーにて大学生の学修などについて保護者に伝えることで入学時の学修サポートについて考えてもらう機会を作った。会員でも留学や語学力向上に関する事業などを組合員に広く周知していった。

- ・キャリア形成支援では、第3回ブロック学生委員会内の企画としてグループディスカッション形式のGWを行い、就職活動の練習に繋がる機会を提供してきた。会員では公務員講座などを通して組合員の進路実現をサポートしている会員が増加した。
- ・読書推進活動では、夏休みに際し、通常よりも高い率での書籍割引などを行う会員生協も見られた。第3回ブロック学生委員会で、実際に読書推進にまつわる企画を考える時間を設け、各大学生協での実践に繋がるような提案を行った。

<課題>

- ・直接的に組合員の学修に関わる支援は出来なかった。大学によって最も現状が異なる分野である以上、組織委員を中心として各大学生協で活動しているメンバーを巻き込むような活動を行っていきたい。
- ・民間就活予定者へのサポートなどはほとんど見られなかった。
- ・読書推進では会員生協での活動の広がりや学生が主体となって行う活動などにつなげていない。

活動方針④【社会をつくる】持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけを作りましょう。

<成果>

- ・全国環境セミナーでは九州の会員から2名が参加し、質問を積極的に行うなど良い姿を見ることができた。また、事務局としても実委、GLとして参加し、環境問題について知識を深めることができた。
- ・Peace Now!にあわせて九州ブロックで#未来へのバトンを行ない、九州ブロックのTwitterでPeace Now!についての案内チラシを作成し、参加促進を行なった。
- ・台風に合わせて注意を促す情報を会員でLINEなどを使って発信していた。
- ・第3回のブロック学生委員会で「社会をつくるとは」、「防災」について扱い、『社会をつくる』を学生委員に知ってもらうことができた。

<課題>

- ・『社会をつくる』について知ってもらえたが、活動に取り入れられるように、もっと身近に感じられる場で一緒に考えられることを引き続き設ける。
- ・国際貢献のところは、何も活動することができなかつた。九州は国際貢献に関する取り組みが少なく、TFTなどもあまり知られていないため、積極的な情報発信を進める。
- ・原爆の日や終戦の日に合わせてSNSの投稿はみられたが、地域の戦争や、平和についての情報を発信している会員はあまりみられなかつた。九州ではPeace Now!が2地域開催されることもあり、積極的に平和について考える組合員を増やしていくための取り組みを行う。

2022年度新学期活動の成果と課題

1. コロナ禍で得た経験や各所との連携を活かし、新入生をはじめとする組合員のニーズに沿った支援をしていきましょう。

<成果>

- ・新入生の授業面の不安解消・友達作りに貢献できた。また、学生委員の獲得につながった。
- ・サポートセンター運営で昨年を上回る新入生のお部屋探しができる。取り組みが具体的に新入生の役に立てた。
- ・キャンパスツアーなどをおこなって、アドバイザーのやる気がでてきて、来年度の飛躍につながる。

<課題>

- ・PC利用や講座などの申し込みが伸びなかった。
 - ・入学準備説明会を終えて、その後の新入生へのサポートの機会が少ないと感じる
2. 新学期活動を日常期につなげるために、各会員生協での学生と職員の結びつきを強めましょう。

<成果>

- ・理事会内での「再生論議」を行うことの共有を実施し、組合員の声を集めていった。
- ・授業がオンラインになっていったなかで、コロナ禍の新入生の気持ちに寄り添った企画をつくった。
- ・学生事務局の支援があり再始動・再開ができた。また生協職員（学生委員会OB）のフォローがとても重要でした。

<課題>

- ・対面での新入生説明会の回数を増やし、来場者は増えたが、コロナ禍で対面での開催は厳しかった。
- ・対面での学生委員会の会議をおこなうことが難しく、オンライン開催となり、意思疎通がなかなかできなかった。

■ 2023年度活動計画

夢 × 九州 15 万人 = 協える ～ひらいて！つないで！一緒に

1. 2023年度九州ブロック方針

方針① 【 組合員が参画する場づくり 】

- ・組合員が利用・参加し、自分や自分達の生活向上を実感できる大学生協づくりを進めましょう。

方針② 【 健康安全 】

- ・組合員の生活実態を把握し、大学生協全体で組合員の健康で安全な大学生活を支えましょう。

方針③ 【 これからの学びと成長 】

- ・組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会を行いましょう。

方針④ 【 社会をつくる 】

- ・SDGs達成に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくりましょう。

各ブロック運営委員会・常任運営委員会の2022年度開催報告

【北海道ブロック】

■ ブロック運営委員会 (27名、第2回より29名、第3回より30名)

第1回 2021年11月13日 12:35~12:47 15名

議題：1) 2022年度ブロック学生事務局任免の件 2) 運営委員交代の件 3) 2022年度ブロック常任運営委員互選の件 4) 2022年度全国組織委員推薦の件 5) その他

第2回 2022年2月5日 10:00~12:58 17名

議題：1) 運営委員交代の件 2) 全道共済委員会運営の件 3) 全国委員推薦・委嘱の件 4) 2022年度北海道ブロック方針承認の件 5) 2022年度北海道ブロックセミナー運営承認の件 6) 2022年度総代会運営の件 7) ブロック第一四半期決算承認の件 8) その他

第3回 2022年4月16日 10:00~13:00 20名

議題：1) ブロック運営委員交代の件 2) 生協スクール開催要項承認の件・セミナー等運営計画の件 3) 2022年度新学期総括案の件 4) 共済連臨時総会・アピール文章協議の件 5) Peace Now! 代表派遣の扱いの件 6) 北大生協・札大生協経営支援承認の件 7) その他

第4回 2022年7月2日 9:35~12:30 16名

議題：1) ブロック運営委員交代の件 2) 22 新学期総括垂下・23 新学期方針案の件 3) 22 総代会まとめと今後の動きの件 4) 共済連臨時総会・アピールの今後の扱いの件 5) 社会的課題の地域内推進について 6) その他

第5回 2022年9月2日 14:25~14:31 17名

議題：1) 北海道大学生協・大学生協連経営支援申請の件

第6回 2022年10月29日 10:00~13:00 22名

議題：1) ブロック運営委員交代の件 2) 22年度決算見直し・総括作成、23年度予算・方針作成の件 3) 全国総会・大学生協フェスティバルの件 4) ブロック大会運営計画の件 5) その他

■ ブロック常任運営委員会 (委員10名、第3回より9名)

第1回 2022年1月24日 17:00~18:30 8名

議題：1) 2022年度北海道ブロック方針承認の件 2) 2022年度北海道ブロックセミナー運営承認の件 3) 2022年総代会運営の件 4) 全道学生委員会の運営について 5) ブロック第一四半期決算承認の件 6) その他

第2回 2022年3月28日 16:00~17:30 7名

議題：1) 生協スクール開催要項承認の件 2) セミナー等運営計画承認の件 3) 2022年度新学期総括案の件 4) 共済連臨時総会・アピール文章協議の件 5) その他(ブロック院生委員会からのブロック運営委員選出について・Peace Now! 代表派遣の件)

第3回 2022年6月20日 16:00~17:30 7名

議題：1) ブロック常任運営委員退任の件 2) 22 新学期総括・23 新学期方針案の件 3) 22 総代会まとめと今後の動きの件 4) 社会的課題の北海道内推進について 5) 共済連臨時総会・アピールの扱いの件 6) その他(大学生協連・経営支援金申請について)

第4回 2022年10月17日 18:00~19:25 8名

議題：1) 第6回ブロック運営委員会運営計画確認の件 2) 22年度決算・総括案、23年度予算・方針策定の件 3) 全国総会・UNIV TALK・大学生協フェスティバルの件 4) ブロック大会

運営計画の件 5) その他 (23 年度全国役員選出について・23 年度学生事務局選出状況について)

第 5 回 2022 年 11 月 7 日

議題：1) 全国理事推薦の件

■ 北海道ブロック 地区共済委員会 (委員 27 名)

第 1 回 2020 年 11 月 14 日 11:00~11:08 18 名

議題：1) 2021 年度北海道共済委員会委員長、北海道共済推進委員会正副委員長決定及び全国共済委員推薦の件 2) 2021 年度共済業務検討委員推薦の件

【東北ブロック】

■ ブロック運営委員会

第 4 回 2021 年 10 月 16 日 (土) 15:45~17:00 Zoom による WEB 開催 WEB 出席 28 名/38 名
理事会での組織委員の位置づけとこれからについて / 2021 年度東北ブロック大会内容の件 / 防災推進委員会報告の件 / 2022 年度東北ブロック事務局諸手当の件 / 2022 年度東北ブロックスケジュールの件 / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第 5 回 2021 年 12 月 11 日 (土) 13:00~16:00 Zoom による WEB 開催 WEB 出席 26 名/38 名
今年度の総括について / 東北ブロック教職員委員会設立の件 / 東北ブロック意思決定規準の件 / 2030GOALS を受けて東北ブロックとしての動きの件 / 2021 年度東北ブロック決算と予算の件 / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第 1 回 2022 年 1 月 29 日 (土) 10:00~13:00 Zoom による WEB 開催 WEB 出席 26 名/38 名
2022 年度東北ブロック方針の件 (分野推進計画協議含む) / 新入学生委員獲得に向けて / ブロック特別会費について / 教職員委員会について / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第 2 回 2022 年 4 月 23 日 (土) 10:00~13:00 Zoom による WEB 開催 WEB 出席 30 名/39 名
私たちの共済の発展に向けて / 学生委員会再建に関して / ウクライナ学習会に関して / 成人年齢引下げに関して / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

第 3 回 2022 年 8 月 26 日 (金) 10:00~13:00 Zoom による WEB 開催 WEB 出席 25 名/39 名
2023 年度東北ブロック事務局任命の件 / 東北ブロック特別会費の件 / 2022 年度東北ブロック上半期総括と下半期行動計画の件 / 総代会の運営について / 大学生協再生議論に関して / 階層別委員会・推進課題・全国会議報告

■ ブロック常任運営委員会

第 1 回 2022 年 1 月 14 日 (金) 18:00~20:00 Teams による WEB 開催 出席 11 名
・第 1 回ブロック運営委員会議題について

第 2 回 2022 年 4 月 8 日 (金) 18:00~20:20 Teams による WEB 開催 出席 10 名
・第 2 回ブロック運営委員会議題について

第 3 回 2022 年 8 月 5 日 (金) 18:00~20:00 Teams による WEB 開催 出席 10 名
・第 3 回ブロック運営委員会議題について

第 4 回 2022 年 9 月 30 日 (金) 18:00~20:00 Zoom による WEB 開催 出席 9 名
・第 4 回ブロック運営委員会議題について

【東京ブロック】

■ ブロック運営委員会

<2021年度 第4回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：10月30日（土）13：00～16：53

議題：新学期準備状況共有/ ブロック大会について/ 東京ブロック予算、ブロック特別会費について/ 次年度ブロック運営委員について/ 連合会理事の推薦と共済連理事の理事候補確認の件/ インターカレッジコープとの業務委託契約更新

<2022年度 第1回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：1月29日（土）13：00～17：00

議題：2022年度ブロック目標、年間計画、推進ポイント/ 生協スクール2022について 社会的課題ミーティングについて/ 2022年度共済推進委員選出について

<2022年度 第2回運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：4月17日（土）13：00～17：00

議題：新学期状況の交流、総代会準備の交流、5月以降のセミナーについて 会員再生計画策定の交流と学習

<第3回 運営委員会> Web 開催

開催日時：7月31日（土）13：00～17：00

議題：ブロック上半期総括・会員状況交流/ 大学生協再生について/ 新学期スタート交流会と生協スクール総括/ 東京ブロック大会とスタートアップ総代会 ブロック運営委員長交代

<第4回 運営委員会> Web 開催

開催日時：10月29日（土）13：00～17：00

議題：各種セミナー報告、新学期パワーアップ交流会報告、新学期準備状況交流
ブロック上半期総括・会員状況交流/ 大学生協再生について/
22年度振り返りと23年度への具体化の協議、22年度共済総括と23年度共済推進委員
員
ブロック2023予算案の議決

■ ブロック経営（常任）運営委員会

<9月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：9月27日（月）

議題：エリア報告、事務局報告、<大学生協「再生」基本方針第1次案について

<10月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催

開催日時：11月5日（金）

議題：エリア報告、事務局報告

2021年度総括・見込、2022年度計画・予算編成の進め方/ 東京ブロック2021年度決算ならびに2022年度予算/ 2022年度 東京ブロック特別会費について/ インカレ業務委託

<11月常任運営委員会> 杉並会館 Web 会議

開催日時：11月30日（火）

議題：エリア報告、事務局報告、東京ブロック事務局 今後の役割と体制の提案

- <1月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催
 開催日時：1月7日（金）
 議題：エリア報告、事務局報告、総括の特徴と予算調整会議
- <2月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催
 開催日時：2月4日（金）
 議題：エリア報告、事務局報告、予算調整会議のまとめ
- <2月第2回常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催
 開催日時：2月25日（金）
 議題：エリア報告、事務局報告、会員再生計画策定の協議
 2022年度教育研修互助規定について
- <3月常任運営委員会> 杉並会館 Web 開催
 開催日時：3月28日（月）
 議題：エリア報告、事務局報告、
- <5月常任運営委員会> Web 開催
 開催日時：5月17日（火）
 議題：エリア報告、事務局報告
 連合会5月理事会「2021年度決算の評価」再生計画策定と共済連譲渡について
- <6月常任運営委員会> Web 開催
 開催日時：6月20日（月）
 議題：エリア報告、会員報告（桜美林）、事務局報告
 基幹会議の運営変更について
- <7月常任運営委員会> Web 開催
 開催日時：7月19日（火）
 議題：エリア報告、会員報告（武蔵大、東薬大）、事務局報告
 経営支援金支給の確認、経理業務の再確認
- <8月常任運営委員会> Web 開催
 開催日時：8月29日（月）
 議題：エリア報告、会員報告（横浜市大、信州大）、事務局報告
 ブロック運営委員長交代、「残余財産の分配金」活用を検討する際の指針
- <9月常任運営委員会> Web 開催
 開催日時：9月26日（月）
 議題：エリア報告、会員報告（法政大）、事務局報告、東京ブロック2023予算案
 共済連9月30日解散：事業譲渡・共済連解散準備状況に関する報告
 連合会の事業（図書サービス事業の事業終了、国際学生証の取り扱い終了

【東海ブロック】

■ ブロック運営委員会

第3回ブロック運営委員会（全国総会議案検討会を含む）

日時 21年10月23日（土）10：00－17：00

場所 東海会館 地下第1会議室、Zoom 併用

成立 40名中23名の出席で成立

議題 愛知県ユニセフ協会設立について／2021年度総括／よりよい東海ブロック・ブロック事務局に向けて／東海ブロックフェスティバルの開催について／学生事務局の承認／2022年度予算／東海新学期キックオフデイ開催報告／ブロック学生委員会開催報告／地域共済推進委員会開催報告／サマーセミナー開催報告／ピースナウ開催報告／全国総会議案検討会

第4回ブロック運営委員会

日時 21年12月04日(土) 11:00-11:30

場所 愛知県立大学長久手キャンパス H005 教室

成立 40名中28名の出席で成立

議題 2021年度東海ブロック年間総括と2022年度東海ブロック方針

第1回ブロック運営委員会

日時 22年4月23日(土) 13:15-17:00

場所 大学生協東海会館

成立 40名中21名の出席で成立

議題 ブロック定例報告／東海新学期セミナー2022／専務理事・学生委員長合宿／ロシア・ウクライナ問題の今後について／共済連臨時総会議案及び総会アピールの提案／組合員の運営参加で目指すこと／成年年齢引き下げ／ピースナウに向けて／スプリングセミナー2022について／社会的課題推進委員会設置について／国際協同組合デー2022in愛知

第2回ブロック運営委員会

日時 22年7月2日(土) 13:35-15:40

場所 蒲郡荘

成立 40名中31名の出席で成立

議題 ブロック定例報告／組合員の運営参加／上半期総括／東海ブロック新学期方針／東海共済セミナー2022／地域共済推進委員会#3開催について／2023 新学期共済推進重点会員について／オキナワの旅推進について／サマーセミナー2022／推進分野別ブロック定例報告

■ ブロック常任運営委員会

第1回ブロック常任運営委員会

日時 22年2月24日(木) 17:15-18:45

場所: 東海会館 地下第1会議室、Zoom 併用

成立 10名中10名の出席で成立

議題 交通費の平準化基準の修正について／スプリングセミナー進捗状況について／新学期セミナーの検討状況について／学生委員会再建／Mottaca の普及について／発信メールについて／ブロック推薦の連合会委員

第2回ブロック常任運営委員会

日時 22年3月18日(金) 17:30-19:00

場所: 東海会館 地下第1会議室、Zoom 併用

成立 10名中10名の出席で成立

議題 4/23(土) ブロック運営委員会・理事長会議・ブロック学生委員会の運営について／新学期セミナー／教職員理事監事交流会の開催について／SpringSeminar2022 参加費と開催の承認／味噌蔵見学／ウクライナ情勢学習会の開催／社会的課題推進委員会の設立／ブロックホームページ改修について／「社会的課題に触れる会」開催について／Mottaca 推進について／

第3回ブロック常任運営委員会

日時 22年5月20日(金) 16:30-18:30

場所: 東海会館 地下第1会議室、Zoom

成立 9名中9名の出席で成立

議題 組織運営分野報告/社会的課題分野報告/新学期活動分野報告/健康安全活動分野報告/サマーセミナー2022について/ブロックHPについて/オキナワの旅について

第4回ブロック常任運営委員会

日時 22年9月16日(金) 17:00-19:00

場所: 東海会館 地下第1会議室、Zoom

成立 9名中9名の出席で成立

議題 23年東海ブロック学生事務局選出について/東海ブロックフェスティバル2022について/10/22ブロック陰影委員会・UNIVTALKについて/秋の東海けんこうあんぜんセミナー2022について/パワーアップ共済月間について/2023年度東海ブロック新学期方針について/オキナワの旅開催報告/ブロック予算の考え方について/「広報・調査委員会」の設置について/「SEQを活用した学生支援企画実行委員会」の設置について/東海ブロック事務局員の配置について/「全国総会代議員集会(仮称)」の開催について/ブロック企画開催報告/推進分野活動報告

【関西北陸ブロック】

1. 10月2日土曜日 10:00~11:40 場所: 大阪会館 会議室・ZOOM

【ブロック常任運営委員会・ブロック運営委員会】

- ・ブロック常任運営委員会 16名中16名出席
- ・ブロック運営委員会 40名中32名出席

- ① 全国役員ブロック区分推薦決定の件
- ② 大学生協『再生』基本方針1次案について《分散協議》
- ③ ブロックセミナー開催の是非と今後
- ④ ブロック三者懇談について
- ⑤ 各種報告

2. 11月6日土曜日 10:00~13:50 場所: 大学生協大阪会館 会議室・ZOOM 【ブロック運営委員会】

- ・ブロック常任運営委員会 16名中16名出席
- ・ブロック運営委員会 40名中27名参加

- ① 共済連役員ブロック区分推薦決定の件
- ② ブロック学生事務局追加について
- ③ ブロック学生委員長の推薦
- ④ ブロック方針について
- ⑤ 次期ブロック共済推進委員会について
- ⑥ 各種報告

3. 12月4日土曜日 10:00~11:45 場所: 大学生協大阪会館 会議室・ZOOM 【ブロック運営委員会】

- ・ブロック運営委員会 40名中27名出席

- ① 学生総合共済事業譲渡計画の件
- ② 全国総会議案書についての報告

- ③ ブロック年間計画について
 - ④ ブロック共済推進委員会について
 - ⑤ ブロック方針について
 - ⑥ 2022年度学生事務局紹介
 - ⑦ 各種報告
4. 12月25日土曜日 10:00～11:30 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】
- ・ブロック運営委員 40名中27名参加
 - ① 2022年度関西北陸ブロック年間スケジュールの件
 - ② トレー広告について
 - ③ 各種報告
5. 2月5日月曜日 10:00～11:00 場所:大学生協大阪会館会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】
- ・ブロック常任委員会 17名在中17名参加
 - ・ブロック運営委員会 40名中22名参加
 - ① 次年度のブロック運営委員会の会議の持ち方とメンバーシップについて
 - ② ブロック年間スケジュールについて
 - ③ 22年度ブロック共済推進委員会について
 - ④ 各種報告
6. 2月24日木曜日 10:00～12:03 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】
- ・ブロック運営委員会 40名中14名参加
 - ① トレー広報について
 - ② ブロック再建重点会員について
 - ③ 企画書フォーマット作成提案
 - ④ 春のセミナーについて
 - ⑤ ブロック院生委員会の21年総括と22年方針
 - ⑥ 各種報告
7. 4月24日土曜日 10:30～12:00 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック常任運営委員会・ブロック運営委員会】
- ・ブロック常任運営委員 16名中16名参加
 - ・ブロック運営委員 40名中32名参加
 - ① 阪南大学生協支援要請について
 - ② 大学生協「再生」についての会員討議に向けて
 - ③ 理事・監事学習会について
 - ④ キックオフセミナー2次案
 - ⑤ 学生事務局の役割について
 - ⑥ 22年度学生事務局選出について
8. 5月7日土曜日 10:00～12:00 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】
- ・ブロック運営委員 12名中12名参加
 - ① 地区協議会報告
 - ② 学調・院調実施計画について
 - ③ 各種報告
9. 6月4日土曜日 10:00～12:37 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】
- ・ブロック常任運営委員 7名中7名参加
 - ・ブロック運営委員 12名中12名参加

- ① ブロック常任委員の交代について
- ② 地区協議会報告
- ③ 富山大学生協 連合会経営支援申請について
- ④ 対面セミナー・研修会等の運営について
- ⑤ 保護者のための大学生生活準備入門セミナー関西北陸版の実施について
- ⑥ SNS 研修実施の件
- ⑦ 京都学生祭典後援名義について
- ⑧ 各種報告

10. 7月2日土曜日 10:00～12:00 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】

・ブロック運営委員 12名中 12参加

- ① 地区協議会報告
- ② 2023年度共済加入冊子ブロックひな形の作成方針（案）について
- ③ セミナー交流会の申し込み状況と参加促進のお願い
- ④ 関西北陸版保護者セミナーについて
- ⑤ 院生委員会報告
- ⑥ 各種報告

11. 8月6日土曜日 10:00～12:00 場所:大学生協大阪会館 会議室・ZOOM【ブロック運営委員会】

・ブロック運営委員 12名中 12参加

- ① 地区協議会報告
- ② 教職員セミナー費用補助の件
- ③ 学調費用補助の件
- ④ 2023年度共済推進方針の件
- ⑤ 2023年度共済重点支援会員について
- ⑥ 2023年度ロードマップ・工程表および加入目標集約について
- ⑦ 「再生」計画進捗状況
- ⑧ 各種報告

【中国・四国ブロック】

■ ブロック運営委員会

第4回運営委員会

日 時	2021年10月16日（土）13:00～17:00
会 場	Web会議（Zoom会議）
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度ブロック区分役員の選出について ・2022年度ブロック地域共済委員会正副委員長の選出について ・2022年度学生事務局の委嘱について ・2021年度決算と2022年度予算及び特別拠出金について ・会員経営支援金制度 申請の件 ・大学生協連合会・共済連 議案検討会議 開催

第5回運営委員会

日 時	2021年12月4日（土）13:00～17:00
会 場	Web会議（Zoom会議）
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度中四ブロック学生事務局の委嘱について（追加） ・22年度役員・地域共済委員他 事務局長一任事項について ・2021年度ブロック総括

- ・2022年度ブロック方針とブロック会議日程について
- ・2021年度ブロック大会

第1回運営委員会

- 日 時 2022年1月29日(土) 13:00～16:30
- 会 場 Web会議 (Zoom 会議)
- 主な議題
- ・2022年度中四ブロック院生委員の委嘱について
 - ・2022年度のブロック運営委員の選出について
 - ・2021年度総括と2022年度方針の最終確認と年間計画
 - ・総会・総代会：組合員と一緒に！～総代の参加・組合員の参加～
 - ・新学期：すべての新入生を大学生協一体となって歓迎しよう
～ワクワクする大学生活を一緒に創ろう～
 - ・2021年度ブロック学生事務局の卒業セレモニー

第2回運営委員会

- 日 時 2022年4月23日(土) 13:30～16:30
- 会 場 Web会議 (Zoom 会議)
- 主な議題
- ・ブロック常任運営委員 交代の件
 - ・新学期の時間 ～振り返ろう 新学期、繋げよう想いの輪～
 - ・運営参加の場を作ろう ～みんなで魅力あふれる大学生協に～

第3回運営委員会

- 日 時 2022年6月25日(土) 13:00～16:30
- 会 場 Web会議 (Zoom 会議)
- 主な議題
- ・全国教職員委員 選出の件
 - ・「つながり続けるパワーアップ交流会」開催と新学期の総括と方針
 - ・総会・総代会からつながる運営参加
 - ・ブロック活動の半期総括 ～わたしたちのブロック！をみんなでつくろう～
 - ・「わたしたちの共済」を未来につなげよう

第4回運営委員会

- 日 時 2022年10月15日(土) 13:00～16:30
- 会 場 Web会議 (Zoom 会議)
- 主な議題
- ・2023年度ブロック区分役員の選出について
 - ・2023年度ブロック地域共済委員会正副委員長の選出について
 - ・2023年度学生事務局の委嘱について
 - ・2022年度決算と2023年度予算及び特別拠出金について
 - ・UNIV-TALK (大学生協連合会 議案検討会議) 開催

■ ブロック常任運営委員会

第5回常任運営委員会

- 日時 2021年10月8日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催
- 議案 第4回運営委員会の議題内容確認、役員推薦委員会の開催

第6回常任運営委員会

- 日時 2021年11月25日(金)
- 会場 Web (Zoom) 開催

議案 第5回ブロック運営委員会の議題内容確認、ブロック事務局の諸手当について
第1回常任運営委員会

日時 2022年1月21日(金)

会場 Web(Z00m)開催

議案 第1回ブロック運営委員会の議題内容確認
第2回常任運営委員会

日時 2021年4月15日(金)

会場 Web(Z00m)開催

議案 第2回ブロック運営委員会の議題内容確認
第3回常任運営委員会

日時 2022年6月17日(金)

会場 Web(Zoom)開催

議案 第3回ブロック運営委員会の議題内容確認
第4回常任運営委員会

日時 2022年8月17日(金)

会場 Web(Zoom)開催

議案 2022年度決算見通しと2023年度予算案の件、8月ブロック専務理事会議の議案検討

理事長会議(理事長懇談会)

第1回理事長会議(理事長懇談会)

日時 2022年5月28日(土)

会場 Web(Zoom)開催

参加 理事長10名、会員専務理事7名、教職員委員長1名、ブロック職員1名、合計19名

議案 ・協議：①理事長としての役割と大学との関係づくり ②脱コロナ時代の生協運営

・各会員の状況を会員理事長から 他

【九州ブロック】

■ ブロック運営委員会

<第3回ブロック運営委員会>

開催日時：2021年10月23日(土) 13:00~17:00

開催場所：大学生協事業連合九州地区(福岡市博多区千代)およびWEB

出席委員：29名/50名、オブザーバー参加8名議題：

1. 大学生協連総会・共済連総会議案の事前検討について
2. 九州ブロック21年度振り返りと22年度活動方針および予算について
3. 22年度全国委員委嘱の件
4. 22年度ブロック学生事務局について
5. その他

<第4回ブロック運営委員会>

開催日時：2021年11月20日(土) 13:00~14:25

開催場所：大学生協事業連合九州地区(福岡市博多区千代)およびWEB

出席委員：24名/50名、オブザーバー参加18名

議題：

1. 九州ブロック21年度振り返りと22年活動方針課題および予算について

2. 22年度ブロック役員選任の件
3. 21年度全国委員委嘱の取り扱いについて
4. 21年度九州ブロック学生事務担当と課題について
5. その他

<第1回ブロック運営委員会>

開催日時：2022年1月29日（土）10:00～13:00

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

出席委員：23名/50名、オブザーバー参加11名

議題：

1. 2022年度九州ブロック方針および課題推進について
2. 2022年度 総会・総代会を軸とした組合員の運営参加を広げるための方針
3. 2022年度理事会委員会委嘱について
4. 全国専務理事会を経ての『会員再生計画』について
5. 大学生協連『会員支援策』について
6. その他

<第2回ブロック運営委員会>

開催日時：2022年5月29日（土）10:00～12:50

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

出席委員：24名/50名、オブザーバー参加15名

議題：

1. 2022年度九州ブロック上半期振り返りと下半期重点課題について
2. 会員『再生』計画策定に向けた取り組みについて
3. 大学生協連『会員支援策』について
4. その他

■ ブロック常任運営委員会 *事業連合常任協議会と同時開催

<第10回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員10名/11名

開催日時：2020年10月14日（木）14:00～18:00

場所 大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. 第2回教職員役員会議開催の件
2. 第3回ブロック運営委員会開催の件
3. 森林の楽校2021
4. 九州PCカンファレンス鹿児島
5. 会員経営状況、会員支援について
6. 福岡インカレについて
7. 全国大学生サミットの件
8. 全国総会関連

<第11回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員10名/11名

開催日時：2021年11月11日（木）14:00～18:00

場所 大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. 九州PCカンファレンスについて
2. 福岡インカレについて
3. 共済関連事項

4. 会員経営状況、会員支援について
 5. 森林の楽校 2021
 6. 全国総会関連
 7. 2022 年ブロック役員推薦の件
 8. 全国委員委嘱確認および追認の件
 9. 11 月 20 日 ブロック運営委員会&ブロックフェスタ
- <第 12 回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10 名/11 名
 開催日時：2021 年 12 月 9 日（火）14：00～18：00
 場所 大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）および WEB
 議題：
1. 会員経営状況、会員支援について
 2. 福岡インカレ状況
 3. 組織戦略推進部・九州ブロック 21 振り返りと 22 方針（一次案）
 4. BK 常任運営委員および協議会委員一部変更の件
 5. 全国委員委嘱確認および追認の件
 6. 1 月 29 日 ブロック運営委員会の件
 7. 全国総会および全国大学生協フェスティバル他
- <第 1 回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10 名/11 名
 開催日時：2022 年 1 月 7 日（木）14：00～18：00
 開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）および WEB
 議題：
1. コロナによる会員状況
 2. 学生総合共済事業譲渡に伴う総（代）会に向けた定款変更およびコープ共済連加入等準備の
 お願い
 3. 大学生協連臨時総会
 4. その他
- <第 2 回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10 名/11 名
 開催日時：2022 年 2 月 10 日（水）14：00～18：00
 開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）および WEB
 議題：
1. コロナによる会員状況
 2. 学生総合共済事業譲渡に伴う総（代）会に向けた定款変更およびコープ共済連加入等準備
 のお願い
 3. その他
- <第 3 回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10 名/11 名
 開催日時：2022 年 3 月 11 日（木）14：00～18：00
 開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）および WEB
 議題：
1. コロナによる会員状況
 2. 会員再生計画に向けた取り組み
 3. 集まれ 23 卒！就活生交流会（学び事業支援 G と協力して開催）
 4. その他
- <第 4 回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10 名/11 名
 開催日時：2022 年 4 月 8 日（木）14：00～18：00
 開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）および WEB

議題：

1. コロナによる会員状況
2. 会員再生計画に向けた取り組み
3. 共済連臨時総会
4. スプリングセミナー
5. ブロック運営委員会
6. 22年度九州 PC カンファレンス

<第5回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 11名/11名

開催日時：2022年5月11日（金）14：00～18：00

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. コロナによる会員状況
2. 会員再生計画に向けた取り組み
3. 共済連臨時総会
4. 第2回ブロック運営委員会
5. スプリングセミナー
6. 22年九州 PC カンファレンス
7. その他

<第6回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10名/11名

開催日時：2022年6月10日（水）14：00～18：00

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. 22年度ブロック学生事務局選出について
2. スプリングセミナー報告
3. 7月のセミナー等について
4. 会員再生計画に向けた取り組み
5. コープ共済連加入手続き
6. 22年保護者に聞く新入生調査について
7. 専務・業務責任者引継ぎの実施
8. 九州 PC カンファレンス
9. コロナによる会員状況
10. その他

<第7回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10名/11名

開催日時：2022年7月8日（金）14：00～18：00

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. 北九州地区大学生協包括連携協定について
2. 22年度ブロック学生事務局選出について
3. 22年保護者に聞く新入生調査について
4. 専務・業務責任者引継ぎの実施
5. 理事長会議・教職員役員会議
6. 会員再生計画に向けた取り組み
7. コロナによる会員状況
8. その他

<第8回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員 10名/11名

開催日時：2022年8月5日（金）14：00～18：00

開催場所：大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

1. 22年度ブロック学生事務局選出について
2. 専務・業務責任者引継ぎの実施
3. 会員再生計画に向けた取り組み
4. 大学との懇談実施について
5. 共済PU大会
6. その他

<第9回ブロック常任運営委員会> 出席常任運営委員10名/11名

開催日時：2022年9月9日（金）14：00～18：00

開催場所 大学生協事業連合九州地区（福岡市博多区千代）およびWEB

議題：

1. 22年度ブロック学生事務局選出について
2. 教職員役員会議およびブロック運営委員会（議案検討会議）開催について
3. 会員再生計画に向けた取り組み 今後の動き予定
4. 大学との懇談実施について
5. 23年新入生調査について
6. 共済PU大会
7. その他

■ ブロック活動交流会

開催日時：2022年12月3日（土）13：00～18：00（予定）

開催場所：パピヨン24ビル 12号会議室（福岡市博多区千代）ほか

内容：2022年度会員生協活動報告、ポスターセッションと交流会、階層別交流、職員と学生での時間

4. 大学生協設立運動支援状況報告

2022年度 大学生協設立運動の支援状況報告

「大学生協設立支援金」運用規則により、2022年度の支援状況を次のとおり報告する。
2021年10月1日から2022年9月30日までの間の理事会に報告したものは以下の通り。

1. 2021年11月27日 第6回理事会

(1) 旭川大学

申請期間：2021年9月-2021年10月

支援額：606,685円

主な支援項目：支援者の訪問交通費、創立総会運営に係る費用

2. 2021年12月17日 第7回理事会

(1) 山口県立大学

申請期間：2021年11月

支援額：554,920円

主な支援項目：支援者訪問交通費、創立総会議案書印刷費

(2) 徳山大学

申請期間：2021年11月

支援額：20,110円

主な支援項目：支援者訪問交通費

3. 2022年2月19日 第2回理事会

(1) 山口県立大学

申請期間：2021年12月-2022年1月

支援額：497,410円

主な支援項目：支援者訪問交通費

(2) 徳山大学

申請期間：2021年11月

支援額：15,820円

主な支援項目：支援者訪問交通費

(3) 豊橋技術科学大学

申請期間：2021年11月

支援額：10,080円

主な支援項目：支援者訪問交通費

4. 2022年5月14日 第3回理事会

(1) 山口県立大学

申請期間：2021年2-4月

支援額：1,276,400 円

主な支援項目：生協準備室水光費 12 月分、山口大生協からの支援人件費相当

(2) 旭川大学

申請期間：2022 年 2-4 月

支援額：1,750,000 円

主な支援項目：大学生協事業連合 NR 北海道からの支援人件費相当

5. 2022 年 7 月 16 日 第 4 回理事会

(1) 山口県立大学

申請期間：2022 年月 5 月

支援額：26,620 円

主な支援項目：支援者の訪問交通費

6. 2022 年 9 月 24 日 第 5 回理事会

(1) 周南公立大学

申請期間：2022 年 8 月

支援額：68,780 円

主な支援項目：訪問交通費等

(2) 広島市立大学

申請期間：2022 年 8 月

支援額：32,020 円

主な支援項目：支援者の訪問交通費

4. 2023 年度 会費一覽

大学生協連2023年度会費について

- 定款第8条および会員規約の定めにより、2023年度の会費を別紙の通りとします。

215 会員 / 652,607,000 円となります。（前年差 39,044 千円）

[定款]（会費）

第8条 会員は、この会の事業に必要な経費にあてるため、別に定める会員規約による会費を負担しなければならない。

○会費の算定方法（会員規約より）

- (1) 会費の積算方法は、次の通常会費Ⅰ+通常会費Ⅱの合計です。

通常会費Ⅰ・・・ 会員の組合員数および供給高に規約に定める係数を各々乗じた合計

通常会費Ⅱ・・・ 会員の組合員数に規約に定める係数を乗じた合計 と

会員の供給高に規模に応じて規約の定める係数を乗じた額の合計

新規加入会員には、加入年度およびその翌年度には、回避の軽減措置があります。

- (2) 2023 年度の算定基礎数値

会員の組合員数………… 「会員基本調査」により2022年9月末日現在で報告のあった数

会員の供給高………… 2021年12月31日を含む事業年度末の決算書類より(RGデータ)

- (3) 特記事項

なし

○会費の納付時期

納付月	会費種別	該当月	金額
2023年 1月末	通常会費Ⅰ	2022年10月～2023年2月分	5.0ヶ月分
2023年 3月末	通常会費Ⅰ	2023年3月～2023年6月分	4.5ヶ月分
2023年 6月末	通常会費Ⅱ	2023年度	年間一括
2023年 7月末	通常会費Ⅰ	2023年7月～2023年9月分	3.0ヶ月分

○会員規約(1992年施行/2016年一部改正) 抜粋

(通常会費Ⅰの算定基準)

第7条 通常会費Ⅰは、第8条に定める基礎数値をもとに、別表Ⅰによって算定した額の合計を年額、年額を12.5で割った額を月額と呼び、会員は3月分として月額に1.5を掛けた額を、それ以外の各月の分として月額を支払うものとする。

2 通常会費Ⅰの月額に50円以上の端数がある場合500円に切りあげる。

3 通常会費Ⅰの月額の最低額は500円とする。

4 新規加入会員の当該年度の通常会費Ⅰは月額500円とし、翌年度の会費のうち別表Ⅰ第1号については当年計画供給高の2分の1を基準として算出する。

5 定款第6条第2号及び第3号の会員の通常会費Ⅰの月額は次に定める額とする。

(1) 事業連合500円

(2) 前号以外の会員 理事会で定めた額

(第7条の通常会費Ⅰに関する別表Ⅰ)

次の(1)と(2)との合計に、12分の12.5を掛けた額

(1) 会員の組合員数に5円を掛けた額

(2) 会員の供給高に、1000分の1.50を掛けた額

(通常会費Ⅱの算定基準)

第7条の2 通常会費Ⅱは、次条に定める基礎数値をもとに、別表Ⅱによって算定した額の合計とする。

2 前条第2項、第3項及び第4項の定めは、通常会費Ⅱにおいて準用する。

3 定款第6条第2号及び第3号の会員には、通常会費Ⅱを課さないものとする。

(第7条の2の通常会費Ⅱに関する別表Ⅱ)

(1) 会員の組合員数に85円を掛けた額

(2) 会員の供給高に、その供給高の区分に応じた次の数を掛けた額

ア 2億円未満の会員 1000分の0.65

イ 2億円以上10億円未満の会員 1000分の0.85

ウ 10億円以上20億円未満の会員 1000分の0.90

エ 20億円以上40億円未満の会員 1000分の0.85

オ 40億円以上の会員 1000分の0.70

(会費算定基礎数値の報告)

第8条 会員は、会費算定に必要な資料として、毎月10月31日までに当該年9月30日現在の組合員数及び前年12月31日を含む事業年度末日現在の事業報告書及び決算関係書類並びにこれらの附属明細書を、会長理事に提出しなければならない。ただし、会長理事が認めたときは、会員基本調査票及び経営概況調査票を援用することができる。

2 事業年度変更時の会費算定の供給高は、その年度の基点から12ヶ月分の供給高とする。

(通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの決定及び通知)

第9条 会長理事は、毎年11月(これと異なる月に算定すべき事情が生じたときはその月)に、通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの額を算定し、通常総会の議案書に掲載して会員に通知する。

(通常会費Ⅰ及び通常会費Ⅱの納付方法)

第10条 会員は通常会費Ⅰを年3回に分けて納付するものとし、その支払期限等は次のとおりとする。

(通常会費Ⅰの3分割と納付月についての説明・・・略)

2 会員は通常会費Ⅱを年1回納付するものとし、6月上旬に会より請求し、支払期限は6月末日とする。

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 会費一覧

年額は月額12.5ヶ月分

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	分割納付の明細				合計年額 2023年度 (円)
			22組員数 (人)	21純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	2023年度	2023年度	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	
						月額(円)	年額(円)	会費Ⅰ×5.0ヶ月 納付1月末	会費Ⅰ×4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費Ⅰ×3.0ヶ月 納付7月末	
1	1000	北海道大学生生活協同組合	25,460	2,850,329	2,850,329	367,000	4,587,000	1,835,000	1,651,500	4,587,000	1,101,000	9,174,500
2	1001	北海学園生活協同組合	9,318	648,705	648,705	85,000	1,343,500	425,000	382,500	1,343,500	255,000	2,406,000
3	1002	北星学園生活協同組合	5,647	369,136	369,136	48,500	794,000	242,500	218,250	794,000	145,500	1,400,250
4	1003	北海道教育大学生生活協同組合	5,168	402,358	402,358	52,500	781,500	262,500	236,250	781,500	157,500	1,437,750
5	1004	札幌大学生生活協同組合	2,596	177,413	177,413	23,500	336,000	117,500	105,750	336,000	70,500	629,750
6	1030	酪農学園生活協同組合	5,083	483,844	483,844	63,000	843,500	315,000	283,500	843,500	189,000	1,631,000
7	1031	札幌学院大学生生活協同組合	3,634	256,748	256,748	34,000	527,500	170,000	153,000	527,500	102,000	952,500
8	1032	小樽商科大学生活協同組合	2,846	191,262	191,262	25,500	366,500	127,500	114,750	366,500	76,500	685,250
9	1033	室蘭工業大学生生活協同組合	4,402	685,536	685,536	87,500	957,000	437,500	393,750	957,000	262,500	2,050,750
10	1040	帯広畜産大学生生活協同組合	1,769	257,364	257,364	33,000	369,500	165,000	148,500	369,500	99,000	782,000
11	1041	北見工業大学生生活協同組合	2,293	384,926	384,926	49,500	522,500	247,500	222,750	522,500	148,500	1,141,250
12	1041	釧路公立大学生生活協同組合	1,497	160,404	160,404	21,000	231,500	105,000	94,500	231,500	63,000	494,000
13	1051	公立ほこだて未来大学生生活協同組合	1,269	125,282	125,282	16,500	189,500	82,500	74,250	189,500	49,500	395,750
14	1060	* 旭川大学生生活協同組合	750	117,232	58,616	8,000	102,000	40,000	36,000	102,000	24,000	202,000
15	2000	弘前大学生生活協同組合	9,328	1,800,507	1,800,507	229,000	2,413,500	1,145,000	1,030,500	2,413,500	687,000	5,276,000
16	2001	弘前学院生活協同組合	764	68,425	68,425	9,000	109,500	45,000	40,500	109,500	27,000	222,000
17	2010	岩手大学生生活協同組合	6,961	996,986	996,986	127,500	1,439,500	637,500	573,750	1,439,500	382,500	3,033,250
18	2011	盛岡大学生生活協同組合	2,498	232,747	232,747	30,500	410,500	152,500	137,250	410,500	91,500	791,750
19	2012	岩手県立大学生生活協同組合	2,717	371,007	371,007	47,500	546,500	237,500	213,750	546,500	142,500	1,140,250
20	2020	秋田大学生生活協同組合	6,278	883,321	883,321	113,000	1,284,500	565,000	508,500	1,284,500	339,000	2,697,000
21	2030	山形大学生生活協同組合	10,980	1,280,892	1,280,892	165,000	2,086,500	825,000	742,500	2,086,500	495,000	4,149,000
22	2040	みやぎインターカレッジコープ	4,310	345,881	345,881	45,000	660,500	225,000	202,500	660,500	135,000	1,223,000
23	2041	東北大学生生活協同組合	23,350	3,671,785	3,671,785	469,000	5,106,000	2,345,000	2,110,500	5,106,000	1,407,000	10,968,500
24	2042	東北学院大学生生活協同組合	11,556	889,748	889,748	116,000	1,738,500	580,000	522,000	1,738,500	348,000	3,188,500
25	2043	東北工業大学生生活協同組合	3,059	274,917	274,917	36,000	494,000	180,000	162,000	494,000	108,000	944,000
26	2044	宮城大学生生活協同組合	2,152	234,001	234,001	30,500	382,000	152,500	137,250	382,000	91,500	763,250
27	2045	宮城教育大学生生活協同組合	1,642	218,541	218,541	28,000	325,500	140,000	126,000	325,500	84,000	675,500
28	2046	宮城学院生活協同組合	3,892	432,204	432,204	56,000	698,500	280,000	252,000	698,500	168,000	1,398,500
29	2060	尚綱学院大学生生活協同組合	1,779	139,160	139,160	18,500	242,000	92,500	83,250	242,000	55,500	473,250
30	2070	福島大学生生活協同組合	6,213	665,271	665,271	86,000	1,094,000	430,000	387,000	1,094,000	258,000	2,169,000
31	3100	慶應義塾生活協同組合	38,188	2,682,073	2,682,073	351,500	5,526,000	1,757,500	1,581,750	5,526,000	1,054,500	9,919,750
32	3101	東京海洋大学生生活協同組合	2,483	178,691	178,691	23,500	327,500	117,500	105,750	327,500	70,500	621,250
33	3102	東京農業大学生生活協同組合	13,455	863,065	863,065	113,500	1,877,500	567,500	510,750	1,877,500	340,500	3,296,250
34	3103	東京工業大学生生活協同組合	10,995	1,216,740	1,216,740	157,000	2,030,000	785,000	706,500	2,030,000	471,000	3,992,500
35	3104	明治学院消費生活協同組合	10,167	540,479	540,479	72,000	1,324,000	360,000	324,000	1,324,000	216,000	2,224,000
36	3105	東京都立大学生生活協同組合	9,181	912,541	912,541	118,000	1,556,000	590,000	531,000	1,556,000	354,000	3,031,000
37	3106	和光学園生活協同組合	3,762	139,494	139,494	19,000	410,500	95,000	85,500	410,500	57,000	648,000
38	3107	桜美林学園消費生活協同組合	7,556	256,950	256,950	35,500	861,000	177,500	159,750	861,000	106,500	1,304,750
39	3108	麻布大学生生活協同組合	2,731	188,208	188,208	25,000	354,500	125,000	112,500	354,500	75,000	667,000
40	3109	宇宙科学研究所生活協同組合	337	203,783	203,783	26,000	202,000	130,000	117,000	202,000	78,000	527,000
41	3110	横浜国立大学生生活協同組合	8,238	747,634	747,634	97,000	1,336,000	485,000	436,500	1,336,000	291,000	2,548,500

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 会費一覧

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費 I		通常会費 II		分割納付の明細				合計年額 2023年度 (円)
			22組員数 (人)	21純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	2023年度	2023年度	10-2月分	3-6月分	通常会費 II	7-9月分			
						月額(円)	年額(円)	会費 I × 5.0ヶ月 納付1月末	会費 I × 4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費 I × 3.0ヶ月 納付7月末			
42	3111	横浜市立大学生生活協同組合	6,337	456,387	456,387	60,000	927,000	300,000	270,000	927,000	180,000	1,677,000		
43	3112	星薬科大学生活協同組合	1,930	148,474	148,474	19,500	261,000	97,500	87,750	261,000	58,500	504,750		
44	3113	東京工芸大学生生活協同組合	4,117	343,668	343,668	45,000	642,500	225,000	202,500	642,500	135,000	1,205,000		
45	3114	芝浦工業大学消費生活協同組合	8,767	702,127	702,127	91,500	1,342,000	457,500	411,750	1,342,000	274,500	2,485,750		
46	3115	日本赤十字看護大学生生活協同組合	1,075	95,696	95,696	12,500	154,000	62,500	56,250	154,000	37,500	310,250		
47	3116	神奈川大学生生活協同組合	16,791	1,093,717	1,093,717	144,000	2,412,000	720,000	648,000	2,412,000	432,000	4,212,000		
48	3117	昭和大学生生活協同組合	4,425	352,921	352,921	46,000	676,500	230,000	207,000	676,500	138,000	1,251,500		
49	3200	東京大学消費生活協同組合	50,572	4,990,954	4,990,954	645,000	7,792,500	3,225,000	2,902,500	7,792,500	1,935,000	15,855,000		
50	3201	東京理科大学消費生活協同組合	12,736	895,406	895,406	117,500	1,844,000	587,500	528,750	1,844,000	352,500	3,312,750		
51	3202	東京電機大学生生活協同組合	7,524	483,621	483,621	64,000	1,051,000	320,000	288,000	1,051,000	192,000	1,851,000		
52	3203	千葉商科大学生活協同組合	5,155	185,231	185,231	25,500	559,000	127,500	114,750	559,000	76,500	877,750		
53	3204	千葉大学生生活協同組合	13,120	1,316,507	1,316,507	170,000	2,300,500	850,000	765,000	2,300,500	510,000	4,425,500		
54	3205	東邦大学消費生活協同組合	3,592	306,199	306,199	40,000	566,000	200,000	180,000	566,000	120,000	1,066,000		
55	3206	お茶の水女子大学消費生活協同組合	3,301	299,032	299,032	39,000	535,000	195,000	175,500	535,000	117,000	1,022,500		
56	3207	東京医科歯科大学生活協同組合	6,979	430,826	430,826	57,000	959,500	285,000	256,500	959,500	171,000	1,672,000		
57	3208	武蔵学園生活協同組合	4,990	175,873	175,873	24,500	538,500	122,500	110,250	538,500	73,500	844,750		
58	3209	日本女子大学生生活協同組合	6,655	424,699	424,699	56,000	927,000	280,000	252,000	927,000	168,000	1,627,000		
59	3210	東洋大学生生活協同組合	27,932	1,177,854	1,177,854	159,000	3,434,500	795,000	715,500	3,434,500	477,000	5,422,000		
60	3211	東京芸術大学生生活協同組合	2,972	87,599	87,599	12,500	310,000	62,500	56,250	310,000	37,500	466,250		
61	3212	大東文化学園生活協同組合	9,890	379,404	379,404	51,500	1,163,500	257,500	231,750	1,163,500	154,500	1,807,250		
62	3213	埼玉大学生生活協同組合	9,439	629,298	629,298	83,000	1,337,500	415,000	373,500	1,337,500	249,000	2,375,000		
63	3214	跡見学園女子大学生生活協同組合	4,047	146,424	146,424	20,000	439,500	100,000	90,000	439,500	60,000	689,500		
64	3215	十文学学園生活協同組合	2,858	112,315	112,315	15,500	316,000	77,500	69,750	316,000	46,500	509,750		
65	3216	淑徳大学みずほ台生活協同組合	1,065	73,030	73,030	10,000	138,000	50,000	45,000	138,000	30,000	263,000		
66	3300	早稲田大学生生活協同組合	51,674	3,051,566	3,051,566	403,000	6,986,500	2,015,000	1,813,500	6,986,500	1,209,000	12,024,000		
67	3301	東京インターカレッジコープ	16,884	544,169	544,169	75,500	1,898,000	377,500	339,750	1,898,000	226,500	2,841,750		
68	3302	法政大学生生活協同組合	26,204	1,124,823	1,124,823	151,500	3,240,000	757,500	681,750	3,240,000	454,500	5,133,750		
69	3303	工学院大学学園生活協同組合	8,288	581,949	581,949	76,500	1,199,500	382,500	344,250	1,199,500	229,500	2,155,750		
70	3304	東京外国語大学生生活協同組合	5,117	335,875	335,875	44,500	720,500	222,500	200,250	720,500	133,500	1,276,750		
71	3305	東京工業高等専門学校生活協同組合	1,164	78,281	78,281	10,500	150,000	52,500	47,250	150,000	31,500	281,250		
72	3306	東京経済大学生生活協同組合	5,979	305,148	305,148	41,000	768,000	205,000	184,500	768,000	123,000	1,280,500		
73	3307	一橋大学消費生活協同組合	6,470	435,240	435,240	57,500	920,000	287,500	258,750	920,000	172,500	1,638,750		
74	3308	東京学芸大学生生活協同組合	5,785	443,167	443,167	58,000	868,500	290,000	261,000	868,500	174,000	1,593,500		
75	3309	電気通信大学生生活協同組合	4,737	356,698	356,698	47,000	706,000	235,000	211,500	706,000	141,000	1,293,500		
76	3310	東京農工大学消費生活協同組合	6,438	515,101	515,101	67,500	985,500	337,500	303,750	985,500	202,500	1,829,250		
77	3311	津田塾大学生生活協同組合	3,009	170,964	170,964	23,000	367,000	115,000	103,500	367,000	69,000	654,500		
78	3312	東京薬科大学生活協同組合	3,834	514,271	514,271	66,000	763,000	330,000	297,000	763,000	198,000	1,588,000		
79	3313	白梅学園生活協同組合	1,662	100,878	100,878	13,500	207,000	67,500	60,750	207,000	40,500	375,750		
80	3314	日本社会事業大学生生活協同組合	853	39,873	39,873	5,500	98,500	27,500	24,750	98,500	16,500	167,250		
81	3315	日本獣医生命科学大学生生活協同組合	1,890	118,253	118,253	16,000	237,500	80,000	72,000	237,500	48,000	437,500		
82	3316	明治薬科大学生活協同組合	2,448	200,497	200,497	26,500	378,500	132,500	119,250	378,500	79,500	709,750		

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 会費一覧

年額は月額12.5ヶ月分

連合会 C D	2年 目 *	会員名	基礎データ			通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	分割納付の明細				合計年額
			22組員数	21純供給高	(加入2年目) ×0.5	2023年度	2023年度	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	2023年度
						月額(円)	年額(円)	会費Ⅰ×5.0ヶ月 納付1月末	会費Ⅰ×4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費Ⅰ×3.0ヶ月 納付7月末	
			(人)	(千円)								(円)
83	3400	前橋工科大学生活協同組合	1,379	121,431	121,431	16,000	196,500	80,000	72,000	196,500	48,000	396,500
84	3401	清泉女学院生活協同組合	668	86,799	86,799	11,500	113,500	57,500	51,750	113,500	34,500	257,250
85	3402	山梨県立大学生生活協同組合	1,092	72,386	72,386	9,500	140,000	47,500	42,750	140,000	28,500	258,750
86	3403	新潟青陵大学・短期大学生生活協同組合	1,691	141,551	141,551	18,500	236,000	92,500	83,250	236,000	55,500	467,250
87	3404	長野県立大学生生活協同組合	1,016	100,786	100,786	13,000	152,000	65,000	58,500	152,000	39,000	314,500
88	3405	新潟大学生生活協同組合	14,504	1,284,138	1,284,138	167,000	2,389,000	835,000	751,500	2,389,000	501,000	4,476,500
89	3406	信州大学生生活協同組合	14,855	1,556,265	1,556,265	201,000	2,663,500	1,005,000	904,500	2,663,500	603,000	5,176,000
90	3407	長野大学生生活協同組合	1,440	133,164	133,164	17,500	209,000	87,500	78,750	209,000	52,500	427,750
91	3408	山梨大学生生活協同組合	5,064	266,673	266,673	35,500	657,500	177,500	159,750	657,500	106,500	1,101,250
92	3409	群馬大学生生活協同組合	8,750	621,065	621,065	81,500	1,272,000	407,500	366,750	1,272,000	244,500	2,290,750
93	3410	足利大学生生活協同組合	1,642	116,368	116,368	15,500	215,500	77,500	69,750	215,500	46,500	409,250
94	3411	宇都宮大学消費生活協同組合	5,772	453,278	453,278	59,500	876,000	297,500	267,750	876,000	178,500	1,619,750
95	3412	茨城大学生生活協同組合	9,323	725,112	725,112	94,500	1,409,000	472,500	425,250	1,409,000	283,500	2,590,250
96	3413	高崎経済大学生生活協同組合	4,203	383,847	383,847	50,000	683,500	250,000	225,000	683,500	150,000	1,308,500
97	3414	茨城キリスト教学園生活協同組合	2,588	217,483	217,483	28,500	405,000	142,500	128,250	405,000	85,500	761,250
98	3415	松本大学生生活協同組合	2,820	138,612	138,612	18,500	330,000	92,500	83,250	330,000	55,500	561,250
99	3416	新潟県立大学生生活協同組合	1,282	113,735	113,735	15,000	183,000	75,000	67,500	183,000	45,000	370,500
100	3417	長野県看護大学生生活協同組合	456	78,803	78,803	10,000	90,000	50,000	45,000	90,000	30,000	215,000
101	3418	太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合	1,729	96,861	96,861	13,000	210,000	65,000	58,500	210,000	39,000	372,500
102	4000	生活協同組合インターカレッジコープ愛知	4,393	258,866	258,866	34,500	593,500	172,500	155,250	593,500	103,500	1,024,750
103	4001	名古屋大学消費生活協同組合	25,442	3,118,641	3,118,641	400,500	4,813,500	2,002,500	1,802,250	4,813,500	1,201,500	9,819,750
104	4002	名古屋工業大学生生活協同組合	6,641	747,301	747,301	96,500	1,200,000	482,500	434,250	1,200,000	289,500	2,406,250
105	4003	名古屋市立大学生生活協同組合	6,055	677,402	677,402	87,500	1,090,500	437,500	393,750	1,090,500	262,500	2,184,250
106	4004	愛知県公立大学生生活協同組合	4,719	423,003	423,003	55,000	761,000	275,000	247,500	761,000	165,000	1,448,500
107	4005	中京大学生生活協同組合	16,618	733,641	733,641	99,000	2,036,500	495,000	445,500	2,036,500	297,000	3,274,000
108	4006	名城大学生生活協同組合	12,456	848,331	848,331	111,500	1,780,000	557,500	501,750	1,780,000	334,500	3,173,750
109	4007	金城学院大学生生活協同組合	4,983	379,795	379,795	50,000	746,500	250,000	225,000	746,500	150,000	1,371,500
110	4020	愛知大学生生活協同組合	9,351	636,235	636,235	83,500	1,336,000	417,500	375,750	1,336,000	250,500	2,379,750
111	4021	愛知教育大学生生活協同組合	4,949	600,704	600,704	77,500	931,500	387,500	348,750	931,500	232,500	1,900,250
112	4022	日本福祉大学生生活協同組合	7,041	440,406	440,406	58,000	973,000	290,000	261,000	973,000	174,000	1,698,000
113	4023	自然科学研究機構岡崎生活協同組合	406	170,084	170,084	21,500	145,500	107,500	96,750	145,500	64,500	414,250
114	4025	日本赤十字豊田看護大学生生活協同組合	592	64,968	64,968	8,500	92,500	42,500	38,250	92,500	25,500	198,750
115	4050	静岡大学生生活協同組合	11,461	1,452,239	1,452,239	186,500	2,281,500	932,500	839,250	2,281,500	559,500	4,612,750
116	4051	静岡文化芸術大学生生活協同組合	1,667	145,057	145,057	19,000	236,000	95,000	85,500	236,000	57,000	473,500
117	4060	岐阜大学消費生活協同組合	8,993	1,176,322	1,176,322	151,000	1,823,500	755,000	679,500	1,823,500	453,000	3,711,000
118	4061	岐阜市立女子短期大学生生活協同組合	418	72,763	72,763	9,500	83,000	47,500	42,750	83,000	28,500	201,750
119	4070	三重大学生生活協同組合	8,846	984,055	984,055	127,000	1,588,500	635,000	571,500	1,588,500	381,000	3,176,000
120	4071	三重短期大学生生活協同組合	636	91,806	91,806	12,000	114,000	60,000	54,000	114,000	36,000	264,000
121	4072	三重県立看護大学生生活協同組合	522	77,830	77,830	10,000	95,000	50,000	45,000	95,000	30,000	220,000
122	5100	富山大学生生活協同組合	9,285	1,321,735	1,321,735	169,500	1,979,000	847,500	762,750	1,979,000	508,500	4,097,750
123	5101	富山県立大学生生活協同組合	2,333	344,371	344,371	44,000	491,000	220,000	198,000	491,000	132,000	1,041,000

全国大学生協同組合連合会 2023年度 会費一覽

年額は月額12.5ヶ月分

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	分割納付の明細				合計年額
			22組員数 (人)	21純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	2023年度	2023年度	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	2023年度 (円)
						月額(円)	年額(円)	会費Ⅰ×5.0ヶ月 納付1月末	会費Ⅰ×4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費Ⅰ×3.0ヶ月 納付7月末	
124	5102	富山高専門学校生活協同組合	1,417	165,440	165,440	21,500	228,000	107,500	96,750	228,000	64,500	496,750
125	5110	金沢大学生協同組合	11,299	1,118,812	1,118,812	145,000	1,967,500	725,000	652,500	1,967,500	435,000	3,780,000
126	5111	石川工業高等専門学校生活協同組合	1,179	103,865	103,865	13,500	168,000	67,500	60,750	168,000	40,500	336,750
127	5120	福井大学生協同組合	5,430	539,391	539,391	70,000	920,000	350,000	315,000	920,000	210,000	1,795,000
128	5200	京大大学生協同組合	35,040	4,417,486	4,417,486	567,000	6,071,000	2,835,000	2,551,500	6,071,000	1,701,000	13,158,500
129	5201	同志社生活協同組合	38,558	2,949,557	2,949,557	385,000	5,785,000	1,925,000	1,732,500	5,785,000	1,155,000	10,597,500
130	5202	立命館生活協同組合	53,005	3,753,552	3,753,552	491,500	7,696,000	2,457,500	2,211,750	7,696,000	1,474,500	13,839,750
131	5203	京都府立医科大学府立大学生協同組合	8,579	630,709	630,709	82,500	1,265,500	412,500	371,250	1,265,500	247,500	2,296,750
132	5204	龍谷大学生協同組合	24,700	1,514,893	1,514,893	200,000	3,463,000	1,000,000	900,000	3,463,000	600,000	5,963,000
133	5205	京都教育大学生協同組合	1,771	174,973	174,973	23,000	264,500	115,000	103,500	264,500	69,000	552,000
134	5206	京都工芸繊維大学生協同組合	4,304	401,829	401,829	52,000	707,500	260,000	234,000	707,500	156,000	1,357,500
135	5207	京都橘学園生活協同組合	8,198	488,011	488,011	64,500	1,112,000	322,500	290,250	1,112,000	193,500	1,918,250
136	5209	京都経済短期大学生協同組合	491	33,550	33,550	4,500	63,500	22,500	20,250	63,500	13,500	119,750
137	5240	奈良女子大学生協同組合	3,991	330,569	330,569	43,000	620,500	215,000	193,500	620,500	129,000	1,158,000
138	5241	奈良教育大学生協同組合	1,322	123,777	123,777	16,000	193,000	80,000	72,000	193,000	48,000	393,000
139	5242	奈良県立大学生協同組合	666	33,042	33,042	4,500	78,500	22,500	20,250	78,500	13,500	134,750
140	5243	奈良工業高等専門学校生活協同組合	1,210	78,038	78,038	10,500	154,000	52,500	47,250	154,000	31,500	285,250
141	5250	滋賀県立大学生協同組合	3,040	366,988	366,988	47,500	570,500	237,500	213,750	570,500	142,500	1,164,250
142	5251	滋賀大学彦根地区生活協同組合	2,755	209,428	209,428	27,500	412,500	137,500	123,750	412,500	82,500	756,250
143	5252	滋賀大学大津地区生活協同組合	1,173	82,783	82,783	11,000	153,500	55,000	49,500	153,500	33,000	291,000
144	5253	滋賀医科大学生活協同組合	1,839	198,897	198,897	26,000	286,000	130,000	117,000	286,000	78,000	611,000
145	5300	大阪インターカレッジコープ	2,120	97,538	97,538	13,500	244,000	67,500	60,750	244,000	40,500	412,750
146	5301	大阪経済大学生協同組合	6,365	173,159	173,159	24,500	654,000	122,500	110,250	654,000	73,500	960,250
147	5302	大阪教育大学生協同組合	4,483	393,760	393,760	51,500	716,000	257,500	231,750	716,000	154,500	1,359,750
148	5303	大阪公立大学生協同組合	17,526	1,527,488	1,527,488	198,500	2,864,500	992,500	893,250	2,864,500	595,500	5,345,750
149	5320	近畿大学生協同組合	25,541	1,166,320	1,166,320	156,500	3,221,000	782,500	704,250	3,221,000	469,500	5,177,250
150	5322	阪南大学生協同組合	3,914	185,755	185,755	25,000	453,500	125,000	112,500	453,500	75,000	766,000
151	5323	大阪大学生協同組合	32,301	3,012,750	3,012,750	390,500	5,306,500	1,952,500	1,757,250	5,306,500	1,171,500	10,187,750
152	5324	大阪電気通信大学生協同組合	5,061	366,610	366,610	48,000	742,000	240,000	216,000	742,000	144,000	1,342,000
153	5325	大阪千代田短期大学生協同組合	268	25,628	25,628	3,500	39,500	17,500	15,750	39,500	10,500	83,250
154	5326	千里金蘭大学生協同組合	2,108	75,071	75,071	10,500	228,000	52,500	47,250	228,000	31,500	359,250
155	5327	大阪樟蔭女子大学生協同組合	2,379	145,526	145,526	19,500	297,000	97,500	87,750	297,000	58,500	540,750
156	5340	和歌山大学消費生活協同組合	4,243	361,140	361,140	47,000	668,000	235,000	211,500	668,000	141,000	1,255,500
157	5341	和歌山県立医科大学生活協同組合	1,485	205,910	205,910	26,500	301,500	132,500	119,250	301,500	79,500	632,750
158	5350	神戸大学生協同組合	22,459	1,565,049	1,565,049	205,000	3,318,000	1,025,000	922,500	3,318,000	615,000	5,880,500
159	5351	神戸市外国語大学消費生活協同組合	3,224	210,702	210,702	28,000	453,500	140,000	126,000	453,500	84,000	803,500
160	5352	甲南大学生協同組合	10,637	740,901	740,901	97,000	1,534,000	485,000	436,500	1,534,000	291,000	2,746,500
161	5353	神戸薬科大学生活協同組合	1,891	198,401	198,401	26,000	290,000	130,000	117,000	290,000	78,000	615,000
162	5354	神戸親和女子大学生協同組合	1,270	76,748	76,748	10,500	158,000	52,500	47,250	158,000	31,500	289,250
163	5355	甲南女子大学生協同組合	4,437	207,479	207,479	28,000	553,500	140,000	126,000	553,500	84,000	903,500
164	5356	神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	1,256	108,488	108,488	14,500	177,500	72,500	65,250	177,500	43,500	358,750

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 会費一覽

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			年額は月額12.5ヶ月分		分割納付の明細				合計年額 2023年度 (円)
			22組員数 (人)	21純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	
						2023年度	2023年度	会費Ⅰ×5.0ヶ月	会費Ⅰ×4.5ヶ月	年額	会費Ⅰ×3.0ヶ月	
						月額(円)	年額(円)	納付1月末	納付3月末	納付6月末	納付7月末	
165	5370	関西学院大学生生活協同組合	32,259	2,081,219	2,081,219	274,000	4,511,500	1,370,000	1,233,000	4,511,500	822,000	7,936,500
166	5371	兵庫県立大学生生活協同組合	6,559	721,740	721,740	93,000	1,171,000	465,000	418,500	1,171,000	279,000	2,333,500
167	5372	大手前大学生生活協同組合	2,708	82,913	82,913	11,500	284,500	57,500	51,750	284,500	34,500	428,250
168	5373	園田学園女子大学生生活協同組合	2,540	150,972	150,972	20,000	314,000	100,000	90,000	314,000	60,000	564,000
169	6000	岡山大学生生活協同組合	14,455	1,538,830	1,538,830	198,500	2,614,000	992,500	893,250	2,614,000	595,500	5,095,250
170	6001	就実生活協同組合	2,061	149,248	149,248	19,500	272,500	97,500	87,750	272,500	58,500	516,250
171	6010	広島大学消費生活協同組合	16,747	2,419,035	2,419,035	309,500	3,480,000	1,547,500	1,392,750	3,480,000	928,500	7,348,750
172	6011	広島修道大学生生活協同組合	6,402	413,501	413,501	54,500	896,000	272,500	245,250	896,000	163,500	1,577,250
173	6012	福山市立大学生生活協同組合	1,022	70,388	70,388	9,500	133,000	47,500	42,750	133,000	28,500	251,750
174	6020	下関市立大学生生活協同組合	2,632	294,475	294,475	38,000	474,000	190,000	171,000	474,000	114,000	949,000
175	6021	山口大学生生活協同組合	10,666	1,146,353	1,146,353	148,000	1,938,500	740,000	666,000	1,938,500	444,000	3,788,500
176	6022	水産大学校生活協同組合	998	98,475	98,475	13,000	149,000	65,000	58,500	149,000	39,000	311,500
177	6023	梅光学院大学生生活協同組合	1,558	230,400	230,400	29,500	328,500	147,500	132,750	328,500	88,500	697,250
178	6024	* 山口県立大学生生活協同組合	935	111,853	55,927	7,500	116,000	37,500	33,750	116,000	22,500	209,750
179	6030	鳥取大学生生活協同組合	6,491	876,236	876,236	112,500	1,296,500	562,500	506,250	1,296,500	337,500	2,702,750
180	6040	鳥根大学生生活協同組合	6,759	831,740	831,740	107,000	1,281,500	535,000	481,500	1,281,500	321,000	2,619,000
181	6050	香川大学生生活協同組合	7,103	911,149	911,149	117,000	1,378,500	585,000	526,500	1,378,500	351,000	2,841,000
182	6051	四国学院生活協同組合	1,125	82,561	82,561	11,000	149,500	55,000	49,500	149,500	33,000	287,000
183	6060	松山大学生生活協同組合	6,320	902,639	902,639	115,500	1,304,500	577,500	519,750	1,304,500	346,500	2,748,250
184	6061	愛媛大学生生活協同組合	10,655	1,349,680	1,349,680	173,500	2,120,500	867,500	780,750	2,120,500	520,500	4,289,250
185	6062	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学生生活	970	66,931	66,931	9,000	126,000	45,000	40,500	126,000	27,000	238,500
186	6070	徳島大学生生活協同組合	9,559	975,631	975,631	126,000	1,642,000	630,000	567,000	1,642,000	378,000	3,217,000
187	6080	高知大学生生活協同組合	6,536	571,914	571,914	74,500	1,042,000	372,500	335,250	1,042,000	223,500	1,973,250
188	6081	高知県公立大学生生活協同組合	4,130	328,937	328,937	43,000	631,000	215,000	193,500	631,000	129,000	1,168,500
189	7000	福岡インターカレッジコープ	621	4,958	4,958	1,000	56,000	5,000	4,500	56,000	3,000	68,500
190	7001	福岡教育大学生生活協同組合	2,680	297,223	297,223	38,500	480,500	192,500	173,250	480,500	115,500	961,750
191	7002	九州工業大学生生活協同組合	6,436	774,153	774,153	99,500	1,205,500	497,500	447,750	1,205,500	298,500	2,449,250
192	7003	北九州市立大学生生活協同組合	8,244	668,570	668,570	87,000	1,269,000	435,000	391,500	1,269,000	261,000	2,356,500
193	7004	福岡女子大学生生活協同組合	996	82,153	82,153	11,000	138,500	55,000	49,500	138,500	33,000	276,000
194	7005	九州大学生生活協同組合	24,313	2,377,431	2,377,431	307,500	4,087,500	1,537,500	1,383,750	4,087,500	922,500	7,931,250
195	7006	西南学院大学生生活協同組合	9,941	761,281	761,281	99,500	1,492,500	497,500	447,750	1,492,500	298,500	2,736,250
196	7007	福岡県立大学生生活協同組合	1,191	124,323	124,323	16,000	182,000	80,000	72,000	182,000	48,000	382,000
197	7008	九州国際大学生生活協同組合	1,963	87,077	87,077	12,000	223,500	60,000	54,000	223,500	36,000	373,500
198	7009	西南女学院大学生生活協同組合	1,924	131,096	131,096	17,500	249,000	87,500	78,750	249,000	52,500	467,750
199	7020	佐賀大学生生活協同組合	7,531	677,163	677,163	88,000	1,216,000	440,000	396,000	1,216,000	264,000	2,316,000
200	7030	長崎大学生生活協同組合	15,091	1,589,200	1,589,200	205,000	2,713,000	1,025,000	922,500	2,713,000	615,000	5,275,500
201	7031	長崎県立大学佐世保校生活協同組合	2,310	256,476	256,476	33,000	414,500	165,000	148,500	414,500	99,000	827,000
202	7032	純心大学生生活協同組合	1,176	92,839	92,839	12,500	160,500	62,500	56,250	160,500	37,500	316,750
203	7033	長崎県立大学シーボルト校生活協同組合	1,321	142,355	142,355	18,500	205,000	92,500	83,250	205,000	55,500	436,250
204	7040	熊本大学生生活協同組合	11,791	981,955	981,955	128,000	1,837,000	640,000	576,000	1,837,000	384,000	3,437,000
205	7041	熊本インターカレッジコープアカデミア	2,352	54,761	54,761	8,000	235,500	40,000	36,000	235,500	24,000	335,500

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 会費一覧

連合会 C D	2年 目 *	会 員 名	基礎データ			年額は月額12.5ヶ月分		分割納付の明細				合計年額 2023年度
			22組員数 (人)	21純供給高 (千円)	(加入2年目) ×0.5	通常会費Ⅰ	通常会費Ⅱ	10-2月分	3-6月分	通常会費Ⅱ	7-9月分	
						2023年度 月額(円)	2023年度 年額(円)	会費Ⅰ×5.0ヶ月 納付1月末	会費Ⅰ×4.5ヶ月 納付3月末	年額 納付6月末	会費Ⅰ×3.0ヶ月 納付7月末	
206	7050	大分大学生生活協同組合	5,893	607,043	607,043	78,500	1,017,000	392,500	353,250	1,017,000	235,500	1,998,250
207	7060	宮崎大学生生活協同組合	6,582	756,865	756,865	97,500	1,203,000	487,500	438,750	1,203,000	292,500	2,421,750
208	7061	南九州学園生活協同組合	1,259	58,154	58,154	8,000	145,000	40,000	36,000	145,000	24,000	245,000
209	7070	鹿児島大学生生活協同組合	14,198	1,231,023	1,231,023	160,000	2,315,000	800,000	720,000	2,315,000	480,000	4,315,000
210	7071	鹿児島県立短期大学生生活協同組合	724	65,372	65,372	8,500	104,000	42,500	38,250	104,000	25,500	210,250
211	7080	琉球大学生生活協同組合	9,692	579,094	579,094	76,500	1,316,000	382,500	344,250	1,316,000	229,500	2,272,250
212	7081	沖縄大学生生活協同組合	2,814	41,720	41,720	4,500	255,500	22,500	20,250	255,500	13,500	311,750
213	3100	大学生協事業連合				500	0	2,500	2,250	0	1,500	6,250
214	7100	中国四国事業連合				500	0	2,500	2,250	0	1,500	6,250
215	9980	日本コープ共済生活協同組合連合会				16,000,000	0	80,000,000	72,000,000	0	48,000,000	200,000,000
合 計			1,538,258	130,652,640	130,538,097	33,000,000	240,107,000	165,000,000	148,500,000	240,107,000	99,000,000	652,607,000
								納付1月末	納付3月末	納付6月末	納付7月末	452,594,500

14 旭川大学生生活協同組合は2021/11設立、2021/12加入となりました。

178 山口県立大学生生活協同組合は2021/11設立、2021/12加入となりました。

148 6636 大阪府立大学生協と大阪市立大学生協は、2022年4月1日に合併。大阪公立大学生協となりました。

215 9980 全国大学生協共済生活協同組合連合会は解散となり、2022年4月加入の日本コープ共済生活協同組合連合会の会費は2022年9月理事会にて決定しました。

6. 2023 年度 連合会への出資金増資要請、および減資

(会員別出資金一覧表 2022 年度 9 月 30 日現在出資額)

2023 年度 大学生協連への出資金増資要請

●出資は、「定款」「会員規約」および「出資要請基準」(2005年改定)の定めによります。

●第49回総会(2005年)で決定した「全国大学生協連の会員生協への出資(増資)要請基準」に基づき、要請未達残額の増資を要請します。

2023 年度の出資要請は、 19 会員、 合計 2,084 千円です。

○出資要請額の算定方法

(1) 「出資要請額」と、要請基準の“経過措置”に基づく「年度の出資要請額」があります。

①「出資要請額」

基準による算定額(基準額)と現在の出資額との差額を増資要請する

②経過措置に基づく「年度の出資要請額」

①の基準額×50%まで増資を要請する当年度の出資要請額

(2) 基準額の算定方法と経過措置

- ・会員の事業高(供給高)・会員の組合員出資金額・会員の組合員数の各々に、基準の定める係数を乗じた額の合計が基準額となります。
- ・新基準に対し現行の出資金額が50%以下の会員生協は、新基準の50%に達するまで差額を増資することを毎年度要請しています。
- ・新規加入会員には、2か年度基準額を下げています。

(3) 2023 年度の出資算定基礎数値

会員の供給高……………2021年12月31日を含む事業年度末の決算書類より(RGデータ)

会員の組合員出資金額…… 同上

会員の組合員数……………「会員基本調査」により2022年9月末日現在で報告のあった数

連合会への出資金残額…………… 2022年9月末時点の連合会出資金額

(4) 特記事項

- ・新規加入から2か年度以内で基準額を減免する会員はありません。
- ・2022年11月理事会において、2023年度の出資要請について以下の決定を行いました。
 - ①「出資金基準」に定められた算出と運用を行います。
 - ②2023年度は減資は行わないことにします。(2021年度に実施)
 - ③2023年度の出資要請額は、基準に定められた経過措置を適用します。

○全国大学生協連「定款」より出資関連条文

第7条 この会の会員になろうとする者は、この会の定める加入申込書に引き受けようとする出資口数に相当する出資金額及び次の書類を添付してこの会に提出しなければならない。(以下略)

(出資1口の金額及びその払込み方法)

第14条 会員は、出資1口以上を有しなければならない。

2 1会員の有することのできる出資口数の限度は、会員の総出資口数の4分の1とする。

3 会員は、出資金額の払込みについて、相殺をもってこの会に対抗することができない。

4 会員の責任は、その出資金額を限度とする。

(出資1口の金額及びその払込み方法)

第15条 出資1口の金額は、金千円とし、全額一時払込みとする。

(出資口数の増加)

第16条 会員は、その出資口数を増加することができる。

2 出資口数を増加しようとする会員は、この会の定める出資口数増加申込書に、増加しようとする出資口数に相当する出資金額を添え、これをこの会に提出しなければならない。

(出資口数の減少)

第17条 会員は、やむを得ない理由があるときは、事業年度の末日の90日前までに減少しようとする出資口数をこの会に予告し、当該事業年度の終りにおいて出資口数を減少することができる。

2 会員は、その出資口数が会員の総出資口数の4分の1を超えたときは4分の1以下に達するまで、その出資口数を減少しなければならない。

3 出資口数を減少した会員は、減少した出資口数に応ずる払込済出資額の払戻しをこの会に請求することができる。

4 第13条第3項の規定は、出資口数を減少する場合について準用する。

○会員規約より

第5条 会員は、総会が定めた出資要請基準による出資金額を満たすよう努力しなければならない。

2 会員は、総会が特別事業のための特別出資要請を行ったときは、その要請を満たすよう努めるものとする。

○第49回総会(2005年)で決定した「全国大学生協連の会員生協への出資(増資)要請基準」

(第29回総会:1986年で決定した連合会出資基準を改定しました。)

1) 既存会員

連合会への出資金総額 = A + B + C

A = 基準年度会員事業高 × 0.15%

B = 基準年度組合員出資金全国平均額 × 組合員数 × 0.75%

C = 基準年度会員生協組合員出資金 × 2.5%

(注) 1) 基準年度会員事業高は会員の事業年度事業高

2) 基準年度組合員出資金は会員の事業年度末残高

3) 基準年度組合員出資金全国平均額は、基準年度末組合員出資金 ÷ 大学生協連
当事業年度末会員生協組合員数

2) 新規加入会員の出資金要請基準

新規加入会員の出資金基準は、加入時の加入出資金を1口1,000円とし、

1年度は出資基準の3分の1、2年度は出資基準の2分の1、3年度は出資基準の全額に達するまで増資をする。係数に乗ずる各数値はそれぞれの前年度の額を対象とする。

2. 出資金の改訂にともなう経過措置

(1) 新基準に対し現行の出資金額が上回っている会員生協は、差額を減資する。

(2) 新基準に対し現行の出資金額が50%以下の会員生協は、新基準の50%に達するまでの差額を増資する。

(3) 経過措置にかかる減資および増資要請の取扱いは理事会で決定する。

3. 出資(増資)要請基準の今後の取扱いについて

(1) 会員間の連合会出資金の格差是正のために、今後は5年毎に基準の見直しを行い、格差が減少するよう調整をはかる。

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 出資金要請一覧(要請会員のみ)

連合会 C D	加入 経過 年度	加入翌年度=1、その次年度=2、次々年度=3 →	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	加入 経過 率	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	50%以下 充足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額		
			会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C											2021年度	2021年度末
			(円)	(円)	(人)	(円)	(円)	(円)											(円)	(円)
			A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率
1	1051	公立はこだて未来大学生生活協同組合	125,282	187,924	1,269	160,022	22,095,000	552,375	900,321		900,321	408,000	45%	-492,321	493,000	450,161	-42,161	43,000		
2	1060	旭川大学生生活協同組合	117,232	175,848	750	94,576	5,830,000	145,750	416,174	0.33	138,725	1,000	0.7%	-415,174	416,000	69,363	-68,363	69,000		
3	3404	長野県立大学生生活協同組合	100,786	151,179	1,016	128,118	14,030,000	350,750	630,047		630,047	287,000	46%	-343,047	344,000	315,024	-28,024	29,000		
4	3415	松本大学生生活協同組合	138,612	207,918	2,820	355,603	42,255,000	1,056,375	1,619,896		1,619,896	774,000	48%	-845,896	846,000	809,948	-35,948	36,000		
5	4006	名城大学生生活協同組合	848,331	1,272,497	12,456	1,570,706	190,500,000	4,762,500	7,605,703		7,605,703	3,621,000	48%	-3,984,703	3,985,000	3,802,852	-181,852	182,000		
6	4051	静岡文化芸術大学生生活協同組合	145,057	217,586	1,667	210,210	31,415,000	785,375	1,213,171		1,213,171	571,000	47%	-642,171	643,000	606,586	-35,586	36,000		
7	5101	富山県立大学生生活協同組合	344,371	516,557	2,333	294,193	44,460,000	1,111,500	1,922,250		1,922,250	877,000	46%	-1,045,250	1,046,000	961,125	-84,125	85,000		
8	5207	京都橘学園生活協同組合	488,011	732,017	8,198	1,033,771	87,088,000	2,177,200	3,942,988		3,942,988	1,781,000	45%	-2,161,988	2,162,000	1,971,494	-190,494	191,000		
9	5252	滋賀大学彦根地区生活協同組合	209,428	314,142	2,755	347,407	35,803,200	895,080	1,556,629		1,556,629	731,000	47%	-825,629	826,000	778,315	-47,315	48,000		
10	5303	大阪公立大学生生活協同組合	1,527,488	2,291,233	17,526	2,210,035	746,918,500	18,672,963	23,174,231		23,174,231	11,305,000	49%	-11,869,231	11,870,000	11,587,116	-282,116	283,000		
11	5324	大阪電気通信大学生生活協同組合	366,610	549,916	5,061	638,194	154,104,000	3,852,600	5,040,710		5,040,710	2,496,000	50%	-2,544,710	2,545,000	2,520,355	-24,355	25,000		
12	6001	就実生活協同組合	149,248	223,873	2,061	259,893	43,680,000	1,092,000	1,575,766		1,575,766	714,000	45%	-861,766	862,000	787,883	-73,883	74,000		
13	6012	福山市立大学生生活協同組合	70,388	105,583	1,022	128,875	20,545,000	513,625	748,083		748,083	1,000	0.1%	-747,083	748,000	374,042	-373,042	374,000		
14	6023	梅光学院大学生生活協同組合	230,400	345,600	1,558	196,465	34,734,000	868,350	1,410,415		1,410,415	624,000	44%	-786,415	787,000	705,208	-81,208	82,000		
15	6024	山口県立大学生生活協同組合	111,853	167,780	935	117,904	2,690,000	67,250	352,934	0.33	117,645	1,000	0.9%	-351,934	352,000	58,823	-57,823	58,000		
16	6040	島根大学生生活協同組合	831,740	1,247,610	6,759	852,313	123,228,000	3,080,700	5,180,623		5,180,623	2,298,000	44%	-2,882,623	2,883,000	2,590,312	-292,312	293,000		
17	7001	福岡教育大学生生活協同組合	297,223	445,835	2,680	337,949	42,750,000	1,068,750	1,852,534		1,852,534	802,000	43%	-1,050,534	1,051,000	926,267	-124,267	125,000		
18	7004	福岡女子大学生生活協同組合	82,153	123,230	996	125,596	20,149,550	503,739	752,565		752,565	358,000	48%	-394,565	395,000	376,283	-18,283	19,000		
19	7031	長崎県立大学佐世保校生活協同組合	256,476	384,715	2,310	291,292	44,086,000	1,102,150	1,778,157		1,778,157	858,000	48%	-920,157	921,000	889,079	-31,079	32,000		

2,084,000

6024 旭川大学生協および山口県立大学生協には、大学生協連加入翌年度の軽減措置(出資金基準額の3分の1)が適用されます。

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

		組合員出資金全国平均B1 16,813							減資対象数 93		増資要請対象数 119		要請会員数 19													
連合会 C/D	加入経過年度 加入年翌年度=1、その次年度=2、次々年度=3	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽 減 入 率 過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額									
		2021年度	2022年9月	2021年度末	2022年9月	2021年度末	2022年9月											(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X	
1000	北海道大学生生活協同組合	2,850,329	4,275,494	25,460	3,210,515	383,650,901	9,591,273	17,077,282		17,077,282	24,351,000	143%	7,273,718	0	8,538,641	15,812,359	0									
1001	北海学園大学生生活協同組合	648,705	973,058	9,318	1,175,003	131,688,000	3,292,200	5,440,261		5,440,261	5,962,000	110%	521,739	0	2,720,131	3,241,870	0									
1002	酪農学園大学生生活協同組合	483,844	725,766	5,083	640,968	73,996,000	1,849,900	3,216,634		3,216,634	3,849,000	120%	632,366	0	1,608,317	2,240,683	0									
1003	札幌学院大学生生活協同組合	256,748	385,123	3,634	458,249	60,550,000	1,513,750	2,357,122		2,357,122	4,233,000	180%	1,875,878	0	1,178,561	3,054,439	0									
1004	北星学園大学生生活協同組合	369,136	553,705	5,647	712,089	58,929,000	1,473,225	2,739,019		2,739,019	2,944,000	107%	204,981	0	1,369,510	1,574,491	0									
1030	北海道教育大学生生活協同組合	402,358	603,538	5,168	651,687	96,784,000	2,419,600	3,674,825		3,674,825	4,271,000	116%	596,175	0	1,837,413	2,433,588	0									
1031	小樽商科大学生活協同組合	191,262	286,893	2,846	358,882	43,645,500	1,091,138	1,736,913		1,736,913	1,544,000	89%	-192,913	193,000	868,457	675,544	0									
1032	札幌大学生生活協同組合	177,413	266,120	2,596	327,357	56,865,650	1,421,642	2,015,119		2,015,119	1,657,000	82%	-358,119	359,000	1,007,560	649,441	0									
1033	室蘭工業大学生生活協同組合	685,536	1,028,305	4,402	555,094	119,585,048	2,989,627	4,573,026		4,573,026	5,157,000	113%	583,974	0	2,286,513	2,870,487	0									
1040	帯広畜産大学生生活協同組合	257,364	386,047	1,769	223,072	32,303,000	807,575	1,416,694		1,416,694	1,608,000	114%	191,306	0	708,347	899,653	0									
1041	北見工業大学生生活協同組合	384,926	577,389	2,293	289,149	37,548,000	938,700	1,805,238		1,805,238	1,818,000	101%	12,762	0	902,619	915,381	0									
1042	釧路公立大学生生活協同組合	160,404	240,607	1,497	188,773	27,655,000	691,375	1,120,755		1,120,755	701,000	63%	-419,755	420,000	560,378	140,623	0									
1051	公立はこだて未来大学生生活協同組合	125,282	187,924	1,269	160,022	22,095,000	552,375	900,321		900,321	408,000	45%	-492,321	493,000	450,161	-42,161	43,000									
1060	旭川大学生生活協同組合	117,232	175,848	750	94,576	5,830,000	145,750	416,174	0.33	138,725	1,000	0.7%	-415,174	416,000	69,363	-68,363	69,000									
2000	弘前大学生生活協同組合	1,800,507	2,700,761	9,328	1,176,264	267,834,000	6,695,850	10,572,875		10,572,875	8,306,000	79%	-2,266,875	2,267,000	5,286,438	3,019,563	0									
2001	弘前学院大学生生活協同組合	68,425	102,638	764	96,341	10,330,000	258,250	457,229		457,229	474,000	104%	16,771	0	228,615	245,386	0									
2010	岩手大学生生活協同組合	996,986	1,495,480	6,961	877,785	125,381,500	3,134,538	5,507,803		5,507,803	5,679,000	103%	171,197	0	2,753,902	2,925,099	0									
2011	盛岡大学生生活協同組合	232,747	349,121	2,498	314,999	25,725,000	643,125	1,307,245		1,307,245	1,135,000	87%	-172,245	173,000	653,623	481,378	0									
2012	岩手県立大学生生活協同組合	371,007	556,511	2,717	342,615	33,820,000	845,500	1,744,626		1,744,626	1,324,000	76%	-420,626	421,000	872,313	451,687	0									
2020	秋田大学生生活協同組合	883,321	1,324,982	6,278	791,658	158,180,500	3,954,513	6,071,153		6,071,153	5,043,000	83%	-1,028,153	1,029,000	3,035,577	2,007,424	0									
2030	山形大学生生活協同組合	1,280,892	1,921,339	10,980	1,384,582	226,491,600	5,662,290	8,968,211		8,968,211	9,899,000	110%	930,789	0	4,484,106	5,414,895	0									
2040	みやぎインターカレッジコープ	345,881	518,823	4,310	543,493	42,850,000	1,071,250	2,133,566		2,133,566	2,170,000	102%	36,434	0	1,066,783	1,103,217	0									
2041	東北大学生生活協同組合	3,671,785	5,507,678	23,350	2,944,443	539,204,400	13,480,110	21,932,231		21,932,231	24,938,000	114%	3,005,769	0	10,966,116	13,971,885	0									
2042	東北学院大学生生活協同組合	889,748	1,334,622	11,556	1,457,216	239,387,000	5,984,675	8,776,513		8,776,513	8,858,000	101%	81,487	0	4,388,257	4,469,744	0									
2043	東北工業大学生生活協同組合	274,917	412,376	3,059	385,741	60,590,000	1,514,750	2,312,867		2,312,867	2,493,000	108%	180,133	0	1,156,434	1,336,567	0									
2044	宮城教育大学生生活協同組合	218,541	327,812	1,642	207,057	34,635,500	865,888	1,400,757		1,400,757	1,356,000	97%	-44,757	45,000	700,379	655,622	0									
2045	宮城大学生生活協同組合	234,001	351,002	2,152	271,368	21,700,000	542,500	1,164,870		1,164,870	1,207,000	104%	42,130	0	582,435	624,565	0									
2046	宮城学院大学生生活協同組合	432,204	648,307	3,892	490,783	34,945,000	873,625	2,012,715		2,012,715	2,232,000	111%	219,285	0	1,006,358	1,225,643	0									
2060	尚綱学院大学生生活協同組合	139,160	208,740	1,779	224,333	35,450,000	886,250	1,319,323		1,319,323	1,208,000	92%	-111,323	112,000	659,662	548,339	0									
2070	福島大学生生活協同組合	665,271	997,908	6,213	783,462	143,642,800	3,591,070	5,372,440		5,372,440	5,154,000	96%	-218,440	219,000	2,686,220	2,467,780	0									
3100	慶應義塾大学生生活協同組合	2,682,073	4,023,110	38,188	4,815,520	658,630,000	16,465,750	25,304,380		25,304,380	25,120,000	99%	-184,380	185,000	12,652,190	12,467,810	0									
3101	東京海洋大学生生活協同組合	178,691	268,037	2,483	313,108	36,971,500	924,288	1,505,433		1,505,433	1,448,000	96%	-57,433	58,000	752,717	695,284	0									
3102	東京農業大学生生活協同組合	863,065	1,294,598	13,455	1,696,680	240,200,000	6,005,000	8,996,278		8,996,278	8,430,000	94%	-566,278	567,000	4,498,139	3,931,861	0									
3103	東京工業大学生生活協同組合	1,216,740	1,825,111	10,995	1,386,474	143,187,500	3,579,688	6,791,273		6,791,273	8,488,000	125%	1,696,727	0	3,395,637	5,092,364	0									
3104	明治学院消費生活協同組合	540,479	810,719	10,167	1,282,062	200,894,400	5,022,360	7,115,141		7,115,141	8,159,000	115%	1,043,859	0	3,557,571	4,601,430	0									
3105	東京都立大学生生活協同組合	912,541	1,368,812	9,181	1,157,728	131,742,500	3,293,563	5,820,103		5,820,103	6,149,000	106%	328,897	0	2,910,052	3,238,949	0									
3106	和光学園大学生生活協同組合	139,494	209,242	3,762	474,390	80,569,200	2,014,230	2,697,862		2,697,862	2,887,000	107%	189,138	0	1,348,931	1,538,069	0									
3107	桜美林学園消費生活協同組合	256,950	385,426	7,556	952,815	132,106,000	3,302,650	4,640,891		4,640,891	3,348,000	72%	-1,292,891	1,293,000	2,320,446	1,027,555	0									
3108	麻布大学生生活協同組合	188,208	282,313	2,731	344,380	49,338,000	1,233,450	1,860,143		1,860,143	1,617,000	87%	-243,143	244,000	930,072	686,929	0									
3109	宇宙科学研究所生活協同組合	203,783	305,675	337	42,496	3,285,000	82,125	430,296		430,296	510,000	119%	79,704	0	215,148	294,852	0									
3110	横浜国立大学生生活協同組合	747,634	1,121,451	8,238	1,038,815	121,240,500	3,031,013	5,191,279		5,191,279	7,944,000	153%	2,752,721	0	2,595,640	5,348,361	0									

全国大学生協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

連合会 C/D	加入 経過 年度	加入 経過 年度	組合員出資金全国平均B1 16,813								減資対象数		増資要請対象数		要請会員数			
			基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽 減 入 率 過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充 足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額
			2021年度	(円)	2022年9月	(円)	2021年度末	(円)										
			A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%	[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X	(円)	(円)
3111	横浜市立大学生協同組合	456,387	684,581	6,337	799,098	155,698,800	3,892,470	5,376,149	5,376,149	3,644,000	68%	-1,732,149	1,733,000	2,688,075	955,926	0		
3112	星薬科大学生活協同組合	148,474	222,712	1,930	243,374	28,495,000	712,375	1,178,461	1,178,461	848,000	72%	-330,461	331,000	589,231	258,770	0		
3113	東京工芸大学生協同組合	343,668	515,503	4,117	519,156	75,145,000	1,878,625	2,913,284	2,913,284	2,950,000	101%	36,716	0	1,456,642	1,493,358	0		
3114	芝浦工業大学消費生活協同組合	702,127	1,053,191	8,767	1,105,522	293,470,000	7,336,750	9,495,463	9,495,463	6,488,000	68%	-3,007,463	3,008,000	4,747,732	1,740,269	0		
3115	日本赤十字看護大学生協同組合	95,696	143,545	1,075	135,558	17,590,000	439,750	718,853	718,853	512,000	71%	-206,853	207,000	359,427	152,574	0		
3116	神奈川大学生協同組合	1,093,717	1,640,576	16,791	2,117,351	233,975,000	5,849,375	9,607,302	9,607,302	7,123,000	74%	-2,484,302	2,485,000	4,803,651	2,319,349	0		
3117	昭和大学生協同組合	352,921	529,382	4,425	557,994	48,243,000	1,206,075	2,293,451	2,293,451	2,341,000	102%	47,549	0	1,146,726	1,194,275	0		
3200	東京大学消費生活協同組合	4,990,954	7,486,431	50,572	6,377,146	783,342,800	19,583,570	33,447,147	33,447,147	37,470,000	112%	4,022,853	0	16,723,574	20,746,427	0		
3201	東京理科大学消費生活協同組合	895,406	1,343,110	12,736	1,606,014	190,958,400	4,773,960	7,723,084	7,723,084	10,336,000	134%	2,612,916	0	3,861,542	6,474,458	0		
3202	東京電機大学生協同組合	483,621	725,431	7,524	948,779	135,460,000	3,386,500	5,060,710	5,060,710	4,740,000	94%	-320,710	321,000	2,530,355	2,209,645	0		
3203	千葉商科大学生活協同組合	185,231	277,846	5,155	650,048	88,192,000	2,204,800	3,132,694	3,132,694	3,470,000	111%	337,306	0	1,566,347	1,903,653	0		
3204	千葉大学生協同組合	1,316,507	1,974,761	13,120	1,654,437	174,382,000	4,359,550	7,988,748	7,988,748	9,300,000	116%	1,311,252	0	3,994,374	5,305,626	0		
3205	東邦大学消費生活協同組合	306,199	459,299	3,592	452,953	65,941,400	1,648,535	2,560,787	2,560,787	2,179,000	85%	-381,787	382,000	1,280,394	898,607	0		
3206	お茶の水女子大学消費生活協同組合	299,032	448,548	3,301	416,258	32,902,500	822,563	1,687,369	1,687,369	2,369,000	140%	681,631	0	843,685	1,525,316	0		
3207	東京医科歯科大学生活協同組合	430,826	646,239	6,979	880,055	82,572,000	2,064,300	3,590,594	3,590,594	2,496,000	70%	-1,094,594	1,095,000	1,795,297	700,703	0		
3208	武蔵学園生活協同組合	175,873	263,810	4,990	629,241	61,335,000	1,533,375	2,426,426	2,426,426	2,711,000	112%	284,574	0	1,213,213	1,497,787	0		
3209	日本女子大学生協同組合	424,699	637,049	6,655	839,198	90,469,000	2,261,725	3,737,972	3,737,972	4,450,000	119%	712,028	0	1,868,986	2,581,014	0		
3210	東洋大学生協同組合	1,177,854	1,766,781	27,932	3,222,235	299,814,000	7,495,350	12,784,366	12,784,366	8,207,000	64%	-4,577,366	4,578,000	6,392,183	1,814,817	0		
3211	東京芸術大学生協同組合	87,599	131,399	2,972	374,771	32,466,000	811,650	1,317,820	1,317,820	1,688,000	128%	370,180	0	658,910	1,029,090	0		
3212	大東文化学園生活協同組合	379,404	569,106	9,890	1,247,133	133,658,000	3,341,450	5,157,689	5,157,689	3,115,000	60%	-2,042,689	2,043,000	2,578,845	536,156	0		
3213	埼玉大学生協同組合	629,298	943,948	9,439	1,190,261	120,186,800	3,004,670	5,138,879	5,138,879	7,779,000	151%	2,640,121	0	2,569,440	5,209,561	0		
3214	跡見学園女子大学生協同組合	146,424	219,637	4,047	510,328	44,650,000	1,116,250	1,846,215	1,846,215	1,619,000	88%	-227,215	228,000	923,108	695,893	0		
3215	十文字学園生活協同組合	112,315	168,473	2,858	360,395	48,590,000	1,214,750	1,743,618	1,743,618	1,265,000	73%	-478,618	479,000	871,809	393,191	0		
3216	淑徳大学みずほ台生活協同組合	73,030	109,545	1,065	134,297	20,870,000	521,750	765,592	765,592	1,466,000	191%	700,408	0	382,796	1,083,204	0		
3300	早稲田大学生協同組合	3,051,566	4,577,349	51,674	6,516,108	844,664,100	21,116,603	32,210,060	32,210,060	35,899,000	111%	3,688,940	0	16,105,030	19,793,970	0		
3301	東京インターカレッジコープ	544,169	816,255	16,884	2,129,078	88,040,000	2,201,000	5,146,333	5,146,333	4,908,000	95%	-238,333	239,000	2,573,167	2,334,834	0		
3302	法政大学生協同組合	1,124,823	1,687,235	26,204	3,304,333	521,196,200	13,029,905	18,021,473	18,021,473	16,621,000	92%	-1,400,473	1,401,000	9,010,737	7,610,264	0		
3303	工学院大学学園生活協同組合	581,949	872,924	8,288	1,045,120	190,559,100	4,763,978	6,682,022	6,682,022	4,911,000	73%	-1,771,022	1,772,000	3,341,011	1,569,989	0		
3304	東京外国語大学生協同組合	335,875	503,813	5,117	645,256	65,524,800	1,638,120	2,787,189	2,787,189	2,946,000	106%	158,811	0	1,393,595	1,552,406	0		
3305	東京工業高等専門学校生活協同組合	78,281	117,422	1,164	146,781	12,325,000	308,125	572,328	572,328	508,000	89%	-64,328	65,000	286,164	221,836	0		
3306	東京経済大学生協同組合	305,148	457,722	5,979	753,954	83,249,700	2,081,243	3,292,919	3,292,919	5,037,000	153%	1,744,081	0	1,646,460	3,390,541	0		
3307	一橋大学消費生活協同組合	435,240	652,860	6,470	815,870	74,991,000	1,874,775	3,343,505	3,343,505	3,762,000	113%	418,495	0	1,671,753	2,090,248	0		
3308	東京学芸大学生協同組合	443,167	664,752	5,785	729,491	75,518,400	1,887,960	3,282,203	3,282,203	4,558,000	139%	1,275,797	0	1,641,102	2,916,899	0		
3309	電気通信大学生協同組合	356,698	535,048	4,737	597,338	64,753,200	1,618,830	2,751,216	2,751,216	4,335,000	158%	1,583,784	0	1,375,608	2,959,392	0		
3310	東京農工大学消費生活協同組合	515,101	772,652	6,438	811,834	82,834,000	2,070,850	3,655,336	3,655,336	3,966,000	108%	310,664	0	1,827,668	2,138,332	0		
3311	津田塾大学生協同組合	170,964	256,447	3,009	379,436	41,653,000	1,041,325	1,677,208	1,677,208	1,991,000	119%	313,792	0	838,604	1,152,396	0		
3312	東京薬科大学生活協同組合	514,271	771,407	3,834	483,469	57,736,000	1,443,400	2,698,276	2,698,276	3,046,000	113%	347,724	0	1,349,138	1,696,862	0		
3313	白梅学園生活協同組合	100,878	151,318	1,662	209,579	19,842,000	496,050	856,947	856,947	919,000	107%	62,053	0	428,474	490,527	0		
3314	日本社会事業大学生協同組合	39,873	59,810	853	107,564	15,123,000	378,075	545,449	545,449	562,000	103%	16,551	0	272,725	289,276	0		
3315	日本獣医生命科学大学生協同組合	118,253	177,379	1,890	238,330	25,115,000	627,875	1,043,584	1,043,584	911,000	87%	-132,584	133,000	521,792	389,208	0		
3316	明治薬科大学生活協同組合	200,497	300,746	2,448	308,694	35,885,000	897,125	1,506,565	1,506,565	1,566,000	104%	59,435	0	753,283	812,718	0		

全国大学生協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

		組合員出資金全国平均B1		16,813				50%以下		93		119		19													
連合会 C/D	加入 経過 年度	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	加 減 入 率	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充 足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額										
		加入年度=1、その次年度=2、次々年度=3	2021年度	2022年9月	組合員数	基準B	組合員出資金											基準C	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X		
3400	前橋工科大学生活協同組合	121,431	182,148	1,379	173,893	25,995,000	649,875	1,005,916		1,005,916	775,000	77%	-230,916	231,000	502,958	272,042	0										
3401	清泉女学院生活協同組合	86,799	130,199	668	84,236	14,120,000	353,000	567,435		567,435	458,000	81%	-109,435	110,000	283,718	174,283	0										
3402	山梨県立大学生生活協同組合	72,386	108,579	1,092	137,702	12,450,000	311,250	557,531		557,531	652,000	117%	94,469	0	278,766	373,235	0										
3403	新潟青陵大学・短期大学生生活協同組合	141,551	212,326	1,691	213,236	18,810,000	470,250	895,812		895,812	837,000	93%	-58,812	59,000	447,906	389,094	0										
3404	長野県立大学生生活協同組合	100,786	151,179	1,016	128,118	14,030,000	350,750	630,047		630,047	287,000	46%	-343,047	344,000	315,024	-28,024	29,000										
3405	新潟大学生生活協同組合	1,284,138	1,926,207	14,504	1,828,960	198,067,500	4,951,688	8,706,855		8,706,855	9,677,000	111%	970,145	0	4,353,428	5,323,573	0										
3406	信州大学生生活協同組合	1,556,265	2,334,398	14,855	1,873,221	172,222,000	4,305,550	8,513,169		8,513,169	9,842,000	116%	1,328,831	0	4,256,585	5,585,416	0										
3407	長野大学生生活協同組合	133,164	199,747	1,440	181,585	18,879,000	471,975	853,307		853,307	1,184,000	139%	330,693	0	426,654	757,347	0										
3408	山梨大学生生活協同組合	266,673	400,010	5,064	638,573	67,403,200	1,685,080	2,723,663		2,723,663	3,353,000	123%	629,337	0	1,361,832	1,991,169	0										
3409	群馬大学生生活協同組合	621,065	931,598	8,750	1,103,378	145,478,500	3,636,963	5,671,939		5,671,939	7,049,000	124%	1,377,061	0	2,835,970	4,213,031	0										
3410	足利大学生生活協同組合	116,368	174,552	1,642	207,057	26,217,000	655,425	1,037,034		1,037,034	1,903,000	184%	865,966	0	518,517	1,384,483	0										
3411	宇都宮大学消費生活協同組合	453,278	679,917	5,772	727,852	72,085,000	1,802,125	3,209,894		3,209,894	4,117,000	128%	907,106	0	1,604,947	2,512,053	0										
3412	茨城大学生生活協同組合	725,112	1,087,669	9,323	1,175,634	129,678,000	3,241,950	5,505,253		5,505,253	6,190,000	112%	684,747	0	2,752,627	3,437,374	0										
3413	高崎経済大学生生活協同組合	383,847	575,771	4,203	530,000	73,402,000	1,835,050	2,940,821		2,940,821	2,725,000	93%	-215,821	216,000	1,470,411	1,254,590	0										
3414	茨城キリスト教学園生活協同組合	217,483	326,225	2,588	326,348	37,250,000	931,250	1,583,823		1,583,823	1,362,000	86%	-221,823	222,000	791,912	570,089	0										
3415	松本大学生生活協同組合	138,612	207,918	2,820	355,603	42,255,000	1,056,375	1,619,896		1,619,896	774,000	48%	-845,896	846,000	809,948	-35,948	36,000										
3416	新潟県立大学生生活協同組合	113,735	170,604	1,282	161,661	21,050,000	526,250	858,515		858,515	517,000	60%	-341,515	342,000	429,258	87,743	0										
3417	長野県看護大学生生活協同組合	78,803	118,205	456	57,502	4,445,000	111,125	286,832		286,832	279,000	97%	-7,832	8,000	143,416	135,584	0										
3418	太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合	96,861	145,292	1,729	182,028	18,585,000	464,625	827,945		827,945	551,000	67%	-276,945	277,000	413,973	137,028	0										
4050	静岡大学生生活協同組合	1,452,239	2,178,359	11,461	1,445,236	213,513,600	5,337,840	8,961,435		8,961,435	10,490,000	117%	1,528,565	0	4,480,718	6,009,283	0										
4020	愛知大学生生活協同組合	636,235	954,354	9,351	1,179,165	201,617,500	5,040,438	7,173,957		7,173,957	6,561,000	91%	-612,957	613,000	3,586,979	2,974,022	0										
4001	名古屋大学消費生活協同組合	3,118,641	4,677,963	25,442	3,208,245	407,990,000	10,199,750	18,085,958		18,085,958	18,864,000	104%	778,042	0	9,042,979	9,821,021	0										
4021	愛知教育大学生生活協同組合	600,704	901,577	4,949	624,071	90,674,000	2,266,850	3,791,978		3,791,978	4,155,000	110%	363,022	0	1,895,989	2,259,011	0										
4002	名古屋工業大学生生活協同組合	747,301	1,120,952	6,641	837,433	164,574,300	4,114,358	6,072,743		6,072,743	6,174,000	102%	101,257	0	3,036,372	3,137,629	0										
4003	名古屋市立大学生生活協同組合	677,402	1,016,103	6,055	763,538	124,456,800	3,111,420	4,891,061		4,891,061	3,102,000	63%	-1,789,061	1,790,000	2,445,531	656,470	0										
4004	愛知県公立大学生生活協同組合	423,003	634,505	4,719	595,068	120,519,600	3,012,990	4,242,563		4,242,563	2,734,000	64%	-1,508,563	1,509,000	2,121,282	612,719	0										
4022	日本福祉大学生生活協同組合	440,406	660,610	7,041	887,873	191,981,500	4,799,538	6,348,021		6,348,021	6,261,000	99%	-87,021	88,000	3,174,011	3,086,990	0										
4060	岐阜大学消費生活協同組合	1,176,322	1,764,483	8,993	1,134,021	176,629,600	4,415,740	7,314,244		7,314,244	7,760,000	106%	445,756	0	3,657,122	4,102,878	0										
4070	三重大学生生活協同組合	984,055	1,476,083	8,846	1,115,484	201,389,000	5,034,725	7,626,292		7,626,292	6,819,000	89%	-807,292	808,000	3,813,146	3,005,854	0										
4071	三重短期大学生生活協同組合	91,806	137,709	636	80,200	9,275,000	231,875	449,784		449,784	352,000	78%	-97,784	98,000	224,892	127,108	0										
4005	中京大学生生活協同組合	733,641	1,100,461	16,618	2,095,536	331,045,000	8,276,125	11,472,122		11,472,122	6,591,000	57%	-4,881,122	4,882,000	5,736,061	854,939	0										
4006	名城大学生生活協同組合	848,331	1,272,497	12,456	1,570,706	190,500,000	4,762,500	7,605,703		7,605,703	3,621,000	48%	-3,984,703	3,985,000	3,802,852	-181,852	182,000										
4061	岐阜市立女子短期大学生生活協同組合	72,763	109,146	418	52,710	9,255,000	231,375	393,231		393,231	498,000	127%	104,769	0	196,616	301,385	0										
4023	自然科学研究機構岡崎生活協同組合	170,084	255,127	406	51,197	5,155,000	128,875	435,199		435,199	417,000	96%	-18,199	19,000	217,600	199,401	0										
4007	金城学院大学生生活協同組合	379,795	569,692	4,983	628,358	96,710,000	2,417,750	3,615,800		3,615,800	2,835,000	78%	-780,800	781,000	1,807,900	1,027,100	0										
4072	三重県立看護大学生生活協同組合	77,830	116,746	522	65,825	9,330,000	233,250	415,821		415,821	371,000	89%	-44,821	45,000	207,911	163,090	0										
4000	インターカレッジコープ愛知	258,866	388,299	4,393	553,959	39,750,000	993,750	1,936,008		1,936,008	2,276,000	118%	339,992	0	968,004	1,307,996	0										
4051	静岡文化芸術大学生生活協同組合	145,057	217,586	1,667	210,210	31,415,000	785,375	1,213,171		1,213,171	571,000	47%	-642,171	643,000	606,586	-35,586	36,000										
4025	日本赤十字豊田看護大学生生活協同組合	64,968	97,452	592	74,652	11,470,000	286,750	458,854		458,854	235,000	51%	-223,854	224,000	229,427	5,573	0										
5100	富山大学生生活協同組合	1,321,735	1,982,603	9,285	1,170,842	175,431,500	4,385,788	7,539,233		7,539,233	6,262,000	83%	-1,277,233	1,278,000	3,769,617	2,492,384	0										
5101	富山県立大学生生活協同組合	344,371	516,557	2,333	294,193	44,460,000	1,111,500	1,922,250		1,922,250	877,000	46%	-1,045,250	1,046,000	961,125	-84,125	85,000										

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

		組合員出資金全国平均B1 16,813							減資対象数 50%以下		増資要請対象数 93		要請会員数 119		要請会員数 19												
連合会 C/D	会 員 名	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	加 減 入 率	出資金要請 基準額	連合会出資金 残 高	充 足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額										
		2021年度	2022年9月	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C											(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X		
5102	富山高専門学校生活協同組合	165,440	248,160	1,417	178,685	12,460,000	311,500	738,345		738,345	535,000	72%	-203,345	204,000	369,173	165,828	0										
5110	金沢大学生生活協同組合	1,118,812	1,678,218	11,299	1,424,808	198,521,500	4,963,038	8,066,064		8,066,064	9,749,000	121%	1,682,936	0	4,033,032	5,715,968	0										
5111	石川工業高専門学校生活協同組合	103,865	155,797	1,179	148,673	11,835,000	295,875	600,345		600,345	567,000	94%	-33,345	34,000	300,173	266,828	0										
5120	福井大学生生活協同組合	539,391	809,087	5,430	684,725	94,526,400	2,363,160	3,856,972		3,856,972	2,766,000	72%	-1,090,972	1,091,000	1,928,486	837,514	0										
5200	京都大学生生活協同組合	4,417,486	6,626,229	35,040	4,418,556	496,667,600	12,416,690	23,461,475		23,461,475	24,243,000	103%	781,525	0	11,730,738	12,512,263	0										
5201	同志社生活協同組合	2,949,557	4,424,336	38,558	4,862,177	843,882,900	21,097,073	30,383,586		30,383,586	19,336,000	64%	-11,047,586	11,048,000	15,191,793	4,144,207	0										
5202	立命館生活協同組合	3,753,552	5,630,329	53,005	6,683,948	746,918,500	18,672,963	30,987,240		30,987,240	22,090,000	71%	-8,897,240	8,898,000	15,493,620	6,596,380	0										
5203	京都府立医科大学生活協同組合	630,709	946,064	8,579	1,081,815	97,140,000	2,428,500	4,456,379		4,456,379	4,694,000	105%	237,621	0	2,228,190	2,465,811	0										
5204	龍谷大学生生活協同組合	1,514,893	2,272,340	24,700	3,114,678	231,290,000	5,782,250	11,169,268		11,169,268	7,354,000	66%	-3,815,268	3,816,000	5,584,634	1,769,366	0										
5205	京都教育大学生生活協同組合	174,973	262,461	1,771	223,324	33,674,000	841,850	1,327,635		1,327,635	1,424,000	107%	96,365	0	663,818	760,183	0										
5206	京都工芸繊維大学生生活協同組合	401,829	602,744	4,304	542,736	69,105,500	1,727,638	2,873,118		2,873,118	3,138,000	109%	264,882	0	1,436,559	1,701,441	0										
5207	京都橘学園生活協同組合	488,011	732,017	8,198	1,033,771	87,088,000	2,177,200	3,942,988		3,942,988	1,781,000	45%	-2,161,988	2,162,000	1,971,494	-190,494	191,000										
5209	京都経済短期大学生生活協同組合	33,550	50,326	491	61,916	11,848,000	296,200	408,442		408,442	207,000	51%	-201,442	202,000	204,221	2,779	0										
5240	奈良女子大学生生活協同組合	330,569	495,855	3,991	503,267	37,540,000	938,500	1,937,622		1,937,622	1,543,000	80%	-394,622	395,000	968,811	574,189	0										
5241	奈良教育大学生生活協同組合	123,777	185,666	1,322	166,705	18,072,500	451,813	804,184		804,184	943,000	117%	138,816	0	402,092	540,908	0										
5242	奈良県立大学生生活協同組合	33,042	49,563	666	83,983	6,580,000	164,500	298,046		298,046	265,000	89%	-33,046	34,000	149,023	115,977	0										
5243	奈良工業高専門学校生活協同組合	78,038	117,058	1,210	152,582	12,332,000	308,300	577,940		577,940	597,000	103%	19,060	0	288,970	308,030	0										
5250	滋賀県立大学生生活協同組合	366,988	550,483	3,040	383,345	59,801,000	1,495,025	2,428,853		2,428,853	1,251,000	52%	-1,177,853	1,178,000	1,214,427	36,574	0										
5251	滋賀大学大津地区生活協同組合	82,783	124,175	1,173	147,916	16,320,000	408,000	680,091		680,091	1,691,000	249%	1,010,909	0	340,046	1,350,955	0										
5252	滋賀大学彦根地区生活協同組合	209,428	314,142	2,755	347,407	35,803,200	895,080	1,556,629		1,556,629	731,000	47%	-825,629	826,000	778,315	-47,315	48,000										
5253	滋賀医科大学生活協同組合	198,897	298,346	1,839	231,899	21,460,000	536,500	1,066,745		1,066,745	752,000	70%	-314,745	315,000	533,373	218,628	0										
5300	大阪インターカレッジコープ	97,538	146,308	2,120	267,333	13,925,000	348,125	761,766		761,766	434,000	57%	-327,766	328,000	380,883	53,117	0										
5301	大阪経済大学生生活協同組合	173,159	259,739	6,365	802,629	125,448,000	3,136,200	4,198,568		4,198,568	4,438,000	106%	239,432	0	2,099,284	2,338,716	0										
5302	大阪教育大学生生活協同組合	393,760	590,640	4,483	565,308	112,762,000	2,819,050	3,974,998		3,974,998	2,726,000	69%	-1,248,998	1,249,000	1,987,499	738,501	0										
5303	大阪公立大学生生活協同組合	1,527,488	2,291,233	17,526	2,210,035	746,918,500	18,672,963	23,174,231		23,174,231	11,305,000	49%	-11,869,231	11,870,000	11,587,116	-282,116	283,000										
5320	近畿大学生生活協同組合	1,166,320	1,749,480	25,541	3,220,729	514,487,000	12,862,175	17,832,384		17,832,384	9,161,000	51%	-8,671,384	8,672,000	8,916,192	244,808	0										
5322	阪南大学生生活協同組合	185,755	278,633	3,914	493,557	92,812,000	2,320,300	3,092,490		3,092,490	2,335,000	76%	-757,490	758,000	1,546,245	788,755	0										
5323	大阪大学生生活協同組合	3,012,750	4,519,125	32,301	4,073,167	479,498,400	11,987,460	20,579,752		20,579,752	18,996,000	92%	-1,583,752	1,584,000	10,289,876	8,706,124	0										
5324	大阪電気通信大学生生活協同組合	366,610	549,916	5,061	638,194	154,104,000	3,852,600	5,040,710		5,040,710	2,496,000	50%	-2,544,710	2,545,000	2,520,355	-24,355	25,000										
5325	大阪千代田短期大学生生活協同組合	25,628	38,443	268	33,795	3,565,000	89,125	161,363		161,363	307,000	190%	145,637	0	80,682	226,319	0										
5326	千里金蘭大学生生活協同組合	75,071	112,607	2,108	265,820	26,640,000	666,000	1,044,427		1,044,427	987,000	95%	-57,427	58,000	522,214	464,787	0										
5327	大阪樟蔭女子大学生生活協同組合	145,526	218,290	2,379	299,993	55,195,000	1,379,875	1,898,158		1,898,158	1,233,000	65%	-665,158	666,000	949,079	283,921	0										
5340	和歌山大学消費生活協同組合	361,140	541,711	4,243	535,044	82,452,000	2,061,300	3,138,055		3,138,055	1,617,000	52%	-1,521,055	1,522,000	1,569,028	47,973	0										
5341	和歌山県立医科大学生活協同組合	205,910	308,865	1,485	187,259	28,110,000	702,750	1,198,874		1,198,874	652,000	54%	-546,874	547,000	599,437	52,563	0										
5350	神戸大学生生活協同組合	1,565,049	2,347,574	22,459	2,832,088	379,381,000	9,484,525	14,664,187		14,664,187	15,840,000	108%	1,175,813	0	7,332,094	8,507,907	0										
5351	神戸市外国語大学消費生活協同組合	210,702	316,054	3,224	406,548	62,940,000	1,573,500	2,296,102		2,296,102	1,941,000	85%	-355,102	356,000	1,148,051	792,949	0										
5352	甲南大学生生活協同組合	740,901	1,111,353	10,637	1,341,330	293,139,000	7,328,475	9,781,158		9,781,158	9,871,000	101%	89,842	0	4,890,579	4,980,421	0										
5353	神戸薬科大学生活協同組合	198,401	297,602	1,891	238,456	54,695,000	1,367,375	1,903,433		1,903,433	1,495,000	79%	-408,433	409,000	951,717	543,284	0										
5354	神戸親和女子大学生生活協同組合	76,748	115,123	1,270	160,148	23,760,000	594,000	869,271		869,271	1,089,000	125%	219,729	0	434,636	654,365	0										
5355	甲南女子大学生生活協同組合	207,479	311,219	4,437	559,508	101,330,000	2,533,250	3,403,977		3,403,977	2,584,000	76%	-819,977	820,000	1,701,989	882,012	0										
5356	神戸市立工業高専門学校生活協同組合	108,488	162,733	1,256	158,383	12,950,000	323,750	644,866		644,866	350,000	54%	-294,866	295,000	322,433	27,567	0										

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

		組合員出資金全国平均B1 16,813							減資対象数 50%以下		増資要請対象数 93		要請会員数 119		要請会員数 19												
連合会 C/D	加入年 加入経過年度	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽減入 経過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残高	充足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額										
		会員事業高	基準A	組合員数	基準B	組合員出資金	基準C											(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		2021年度	(円)	2022年9月	(円)	2021年度末	(円)											(円)	(円)	[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X
A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%	[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X	(円)	(円)	(円)											
5370	関西学院大学生生活協同組合	2,081,219	3,121,829	32,259	4,067,871	447,239,500	11,180,988	18,370,688		18,370,688	14,345,000	78%	-4,025,688	4,026,000	9,185,344	5,159,656	0										
5371	兵庫県立大学生生活協同組合	721,740	1,082,611	6,559	827,093	143,780,000	3,594,500	5,504,204		5,504,204	5,515,000	100%	10,796	0	2,752,102	2,762,898	0										
5372	大手前大学生生活協同組合	82,913	124,371	2,708	341,480	52,350,000	1,308,750	1,774,601		1,774,601	2,719,000	153%	944,399	0	887,301	1,831,700	0										
5373	園田学園女子大学生生活協同組合	150,972	226,458	2,540	320,295	38,955,000	973,875	1,520,628		1,520,628	1,453,000	96%	-67,628	68,000	760,314	692,686	0										
6000	岡山大学生生活協同組合	1,538,830	2,308,245	14,455	1,822,781	263,244,000	6,581,100	10,712,126		10,712,126	9,132,000	85%	-1,580,126	1,581,000	5,356,063	3,775,937	0										
6001	就実生活協同組合	149,248	223,873	2,061	259,893	43,680,000	1,092,000	1,575,766		1,575,766	714,000	45%	-861,766	862,000	787,883	-73,883	74,000										
6010	広島大学消費生活協同組合	2,419,035	3,628,553	16,747	2,111,803	241,025,000	6,025,625	11,765,981		11,765,981	10,453,000	89%	-1,312,981	1,313,000	5,882,991	4,570,010	0										
6011	広島修道大学生生活協同組合	413,501	620,252	6,402	807,295	90,595,000	2,264,875	3,692,422		3,692,422	3,255,000	88%	-437,422	438,000	1,846,211	1,408,789	0										
6012	福山市立大学生生活協同組合	70,388	105,583	1,022	128,875	20,545,000	513,625	748,083		748,083	1,000	0.1%	-747,083	748,000	374,042	-373,042	374,000										
6020	下関市立大学生生活協同組合	294,475	441,713	2,632	331,897	41,848,000	1,046,200	1,819,810		1,819,810	1,038,000	57%	-781,810	782,000	909,905	128,095	0										
6021	山口大学生生活協同組合	1,146,353	1,719,530	10,666	1,344,987	163,654,000	4,091,350	7,155,867		7,155,867	4,224,000	59%	-2,931,867	2,932,000	3,577,934	646,067	0										
6022	水産大学校生活協同組合	98,475	147,713	998	125,849	19,434,000	485,850	759,412		759,412	667,000	88%	-92,412	93,000	379,706	287,294	0										
6023	梅光学院大学生生活協同組合	230,400	345,600	1,558	196,465	34,734,000	868,350	1,410,415		1,410,415	624,000	44%	-786,415	787,000	705,208	-81,208	82,000										
6024	山口県立大学生生活協同組合	111,853	167,780	935	117,904	2,690,000	67,250	352,934	0.33	117,645	1,000	1%	-351,934	352,000	58,823	-57,823	58,000										
6030	鳥取大学生生活協同組合	876,236	1,314,355	6,491	818,518	100,723,000	2,518,075	4,650,948		4,650,948	4,440,000	95%	-210,948	211,000	2,325,474	2,114,526	0										
6040	島根大学生生活協同組合	831,740	1,247,610	6,759	852,313	123,228,000	3,080,700	5,180,623		5,180,623	2,298,000	44%	-2,882,623	2,883,000	2,590,312	-292,312	293,000										
6050	香川大学生生活協同組合	911,149	1,366,725	7,103	895,691	128,406,000	3,210,150	5,472,566		5,472,566	4,219,000	77%	-1,253,566	1,254,000	2,736,283	1,482,717	0										
6051	四国学院生活協同組合	82,561	123,842	1,125	141,863	24,254,000	606,350	872,055		872,055	1,038,000	119%	165,945	0	436,028	601,973	0										
6060	松山大学生生活協同組合	902,639	1,353,959	6,320	796,955	113,251,000	2,831,275	4,982,189		4,982,189	5,509,000	111%	526,811	0	2,491,095	3,017,906	0										
6061	愛媛大学生生活協同組合	1,349,680	2,024,520	10,655	1,343,599	207,212,000	5,180,300	8,548,419		8,548,419	8,796,000	103%	247,581	0	4,274,210	4,521,791	0										
6062	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学生生活協同組合口	66,931	100,396	970	122,318	27,825,000	695,625	918,339		918,339	797,000	87%	-121,339	122,000	459,170	337,831	0										
6070	徳島大学生生活協同組合	975,631	1,463,448	9,559	1,205,393	127,279,000	3,181,975	5,850,816		5,850,816	4,676,000	80%	-1,174,816	1,175,000	2,925,408	1,750,592	0										
6080	高知大学生生活協同組合	571,914	857,872	6,536	824,192	111,188,500	2,779,713	4,461,777		4,461,777	3,335,000	75%	-1,126,777	1,127,000	2,230,889	1,104,112	0										
6081	高知県立大学生生活協同組合	328,937	493,406	4,130	520,795	58,591,000	1,464,775	2,478,976		2,478,976	1,692,000	68%	-786,976	787,000	1,239,488	452,512	0										
7000	福岡インターカレッジコープ	4,958	7,438	621	78,309	15,170,000	379,250	464,997		464,997	1,006,000	216%	541,003	0	232,499	773,502	0										
7001	福岡教育大学生生活協同組合	297,223	445,835	2,680	337,949	42,750,000	1,068,750	1,852,534		1,852,534	802,000	43%	-1,050,534	1,051,000	926,267	-124,267	125,000										
7002	九州工業大学生生活協同組合	774,153	1,161,230	6,436	811,582	119,230,000	2,980,750	4,953,562		4,953,562	3,799,000	77%	-1,154,562	1,155,000	2,476,781	1,322,219	0										
7003	北九州市立大学生生活協同組合	668,570	1,002,856	8,244	1,039,572	132,672,000	3,316,800	5,359,228		5,359,228	3,854,000	72%	-1,505,228	1,506,000	2,679,614	1,174,386	0										
7004	福岡女子大学生生活協同組合	82,153	123,230	996	125,596	20,149,550	503,739	752,565		752,565	358,000	48%	-394,565	395,000	376,283	-18,283	19,000										
7005	九州大学生生活協同組合	2,377,431	3,566,146	24,313	3,065,878	507,704,600	12,692,615	19,324,639		19,324,639	17,476,000	90%	-1,848,639	1,849,000	9,662,320	7,813,681	0										
7006	西南学院大学生生活協同組合	761,281	1,141,922	9,941	1,253,564	53,474,500	1,336,863	3,732,349		3,732,349	5,391,000	144%	1,658,651	0	1,866,175	3,524,826	0										
7007	福岡県立大学生生活協同組合	124,323	186,485	1,191	150,186	19,095,800	477,395	814,066		814,066	697,000	86%	-117,066	118,000	407,033	289,967	0										
7008	九州国際大学生生活協同組合	87,077	130,616	1,963	247,535	26,350,000	658,750	1,036,901		1,036,901	1,707,000	165%	670,099	0	518,451	1,188,550	0										
7009	西南女学院大学生生活協同組合	131,096	196,644	1,924	242,618	31,380,000	784,500	1,223,762		1,223,762	1,440,000	118%	216,238	0	611,881	828,119	0										
7020	佐賀大学生生活協同組合	677,163	1,015,745	7,531	949,662	143,184,000	3,579,600	5,545,007		5,545,007	5,010,000	90%	-535,007	536,000	2,772,504	2,237,497	0										
7030	長崎大学生生活協同組合	1,589,200	2,383,800	15,091	1,902,980	225,510,500	5,637,763	9,924,543		9,924,543	8,523,000	86%	-1,401,543	1,402,000	4,962,272	3,560,729	0										
7031	長崎県立大学佐世保校生活協同組合	256,476	384,715	2,310	291,292	44,086,000	1,102,150	1,778,157		1,778,157	858,000	48%	-920,157	921,000	889,079	-31,079	32,000										
7032	純心大学生生活協同組合	92,839	139,260	1,176	148,294	20,295,000	507,375	794,929		794,929	1,090,000	137%	295,071	0	397,465	692,536	0										
7033	長崎県立大学シーボルト校生活協同組合	142,355	213,533	1,321	166,579	21,935,000	548,375	928,487		928,487	1,060,000	114%	131,513	0	464,244	595,757	0										
7040	熊本大学生生活協同組合	981,955	1,472,934	11,791	1,486,849	199,323,000	4,983,075	7,942,858		7,942,858	8,930,000	112%	987,142	0	3,971,429	4,958,571	0										
7041	熊本インターカレッジコープアカデミア	54,761	82,142	2,352	296,588	9,810,000	245,250	623,980		623,980	814,000	130%	190,020	0	311,990	502,010	0										

全国大学生生活協同組合連合会 2023年度 出資金要請額 算出明細

加入年翌年度=1、その次年度=2、次々年度=3 →		組合員出資金全国平均B1		16,813		減資対象数		増資要請対象数		要請会員数																
連合会 C D	会 員 名	基準[A]の算出		基準[B]の算出		基準[C]の算出		出資金要請 基準額	軽 減 入 経 過	出資金要請 基準額	連合会出資金 残 高	充 足 率	基準額と 残高の差額	増資要請額	経過措置 基準額×50%	左記基準額と 残高との差額	2023年度 増資要請額									
		2021年度	(円)	2022年9月	(円)	2021年度末	(円)											(円)	(円)	2022/9/末	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		A (千円)	A×0.15%	B2(人)	B1×B2×0.75%	C (円)	C×2.5%											[A]+[B]+[C]	[A]+[B]+[C]×軽減率	E	E/基準	[A]+[B]+[C]-E	千円単位切上げ	X	E-X	(円)
7050	大分大学生生活協同組合	607,043	910,566	5,893	743,110	108,796,000	2,719,900	4,373,576		4,373,576	4,125,000	94%	-248,576	249,000	2,186,788	1,938,212	0									
7060	宮崎大学生生活協同組合	756,865	1,135,298	6,582	829,993	115,504,800	2,887,620	4,852,911		4,852,911	4,084,000	84%	-768,911	769,000	2,426,456	1,657,545	0									
7061	南九州学園生活協同組合	58,154	87,232	1,259	158,761	17,835,000	445,875	691,868		691,868	965,000	139%	273,132	0	345,934	619,066	0									
7070	鹿児島大学生生活協同組合	1,231,023	1,846,535	14,198	1,790,373	244,905,300	6,122,633	9,759,541		9,759,541	11,236,000	115%	1,476,459	0	4,879,771	6,356,230	0									
7071	鹿児島県立短期大学生生活協同組合	65,372	98,058	724	91,297	12,638,000	315,950	505,305		505,305	478,000	95%	-27,305	28,000	252,653	225,348	0									
7080	琉球大学生生活協同組合	579,094	868,641	9,692	1,222,165	105,306,440	2,632,661	4,723,467		4,723,467	5,665,000	120%	941,533	0	2,361,734	3,303,267	0									
7081	沖縄大学生生活協同組合	41,720	62,581	2,814	354,847	27,058,000	676,450	1,093,878		1,093,878	782,000	71%	-311,878	312,000	546,939	235,061	0									
8000	大学生協事業連合										189,000			0	0	189,000	0									
6999	大学生協中国・四国事業連合										21,000			0	0	21,000	0									
9000	日本コープ共済生活協同組合連合会										1,000,000			0	0	1,000,000	0									
合 計		130,652,640	195,979,071	1,538,258	193,974,934	25,863,310,289	646,582,774	1,036,536,779		1,036,024,041	967,265,000	93%	-70,481,779	143,172,000	518,012,021	449,252,980	2,084,000									

1060

6024 旭川大学生協および山口県立大学生協には、大学生協連加入翌年度の軽減措置(出資金基準額の3分の1)が適用されます。

5303 大阪府立大学生協と大阪市立大学生協は、2022年4月1日に合併。大阪公立大学生協となりました。

全国大学生協共済生活協同組合連合会は解散となり、2022年4月加入の日本コープ共済生活協同組合連合会が会員となりました。